PIXUS MP390
基本操作ガイド

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

J HT1-1166-000-V.1.0

ごあいさつ

このたびは、キヤノン《PIXUS MP390》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用の前に取扱説明書をひととおりお読みください。また、お読みになったあとは、必ず保管してください。操作中に使いかたがわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器に関する日本および米国共通の省エネルギーのためのプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費が比較的少なく、その消費を効果的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ、複写機、スキャナおよび複合機（コンセントから電力を供給されるものに限る）で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、日米で統一されています。

Exif Print について

本機は、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。

Exif Print は、デジタルカメラとプリンタの連携を強化した規格です。

Exif Print 対応デジタルカメラと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力結果を得ることができます。

商標について

- Canon は、キヤノン株式会社の登録商標です。
- PIXUS、ScanGear、BJ および Bubble Jet は、キヤノン株式会社の商標です。
- Microsoft® 、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書では、Microsoft® Windows® XP、Microsoft® Windows® Millennium Edition、Microsoft® Windows® 2000、Microsoft® Windows® 98 をそれぞれ Windows XP、Windows Me、Windows 2000、Windows 98 と略して記載しています。
- CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、SanDisk Corporation の商標です。
- MEMORY STICK（メモリースティック）は、ソニー株式会社の商標です。
- SmartMedia™（スマートメディア）は、株式会社東芝の商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は一般に各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、最寄りのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- 本書の記載内容以外でご使用になった場合は、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- PictBridge に準拠したデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを接続して印刷する場合の操作方法については、『PictBridge でかんたん写真印刷！』を参照してください。

取扱説明書について

セットアップガイド（印刷物）

必ず、最初にお読みください。

本機をご購入後、開梱、設置、取り付けからご使用になるまでに必要な説明が記載されています。

基本操作ガイド（本書）

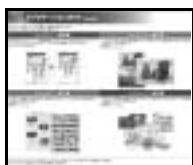
本機を使いはじめるときにお読みください。

コピー、写真プリント（フォトプリント）、ファクス、パソコンを使った印刷やスキャンの操作、日常のお手入れ、および困ったときの対処方法など、本機をお使いいただく上で基本となる操作と機能について説明しています。

ソフトウェアガイド
（電子マニュアル）

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

パソコンからの印刷やスキャンについて、もっと詳しい説明が知りたいときや、パソコンからファクスを送信するときにお読みください。MP ドライバや MP Toolbox の各機能の詳細や応用的な使用方法、またファクスドライバについて説明しています。この取扱説明書は、付属の『セットアップ CD-ROM』に収録されています。
「セットアップ CD-ROM に収録されている 電子マニュアルを表示するには」（→ 6 ページ）を参照してください。

アプリケーションガイド
（電子マニュアル）

パソコンの画面で見る取扱説明書です。

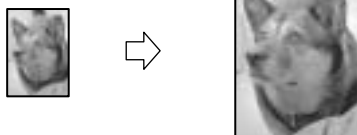
『セットアップ CD-ROM』に含まれているアプリケーション（ZoomBrowser EX / PhotoRecord や Easy-PhotoPrint など）について、画像データの読み込み方法や各種印刷方法、機能の詳細について説明しています。この取扱説明書はソフトウェアガイドと同じく、付属の『セットアップ CD-ROM』に収録されています。
「セットアップ CD-ROM に収録されている 電子マニュアルを表示するには」（→ 6 ページ）を参照してください。

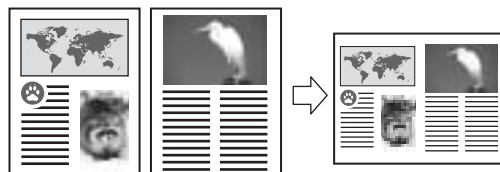
こんなことができます

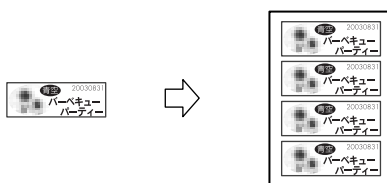
MP390 では、次のようなことができます。

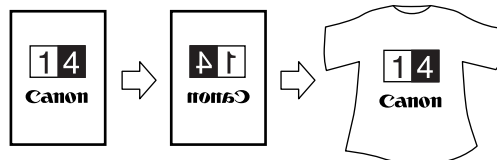
コピー機能

読み取った写真やパンフレットを拡大／縮小したり、2枚の原稿を1枚に印刷したりできます。また、さまざまな機能があり、思いどおりのコピーがかんたんに作れます。

■写真や雑誌の切り抜きなどを大きく引き伸ばしたい

→「拡大／縮小 コピーする」(→ 38 ページ)

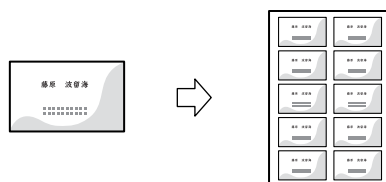
■用紙を節約したい

→「2 枚の原稿を 1 枚にコピーする(2 in 1 コピー)」(→ 41 ページ)

■招待状を作りたい

→「画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする(イメージリピートコピー)」(→ 52 ページ)

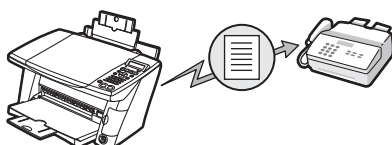
■オリジナルの T シャツを作りたい

→「左右反転してコピーする(ミラープリント)」(→ 55 ページ)

■思い出の写真を絵はがきにしたい

→「絵はがきを作る(絵はがきプリント)」(→ 43 ページ)

■オリジナルの名刺を作りたい

→「名刺を印刷する(名刺プリント)」(→ 46 ページ)

ファクス機能

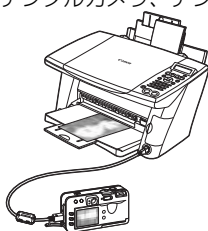
白黒の原稿やカラーの原稿をファクスで送信または受信することができます。またパソコンから送信することもできます。

読み込み（スキャン）機能

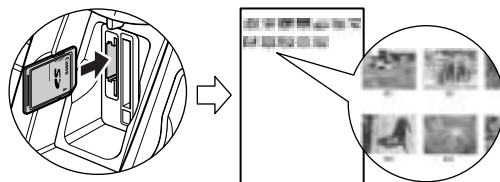
残しておきたい写真やイラストなどをパソコンに読み込んで（スキャンして）、データとして保存することができます。さらに、付属のソフトウェア（MP Toolbox や各種アプリケーション）をインストールすれば、読み込んだデータを電子アルバムに保存したり、文字原稿をテキストデータに変換することができます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

写真プリント機能

デジタルカメラで撮った写真をパソコンを使わずに、印刷することができます。

■カメラで撮った画像をすぐに印刷したい

“PictBridge”対応またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ

→「デジタルカメラから直接 印刷する」（→ 88 ページ）

■メモリカードの写真を確認してから印刷したい

→「画像の一覧を印刷する（インデックス印刷）」（→ 71 ページ）

■かんたんな操作で写真を焼き増ししたい

→「フォトナビシートを使って印刷しよう」（→ 62 ページ）

本書の読みかた

マークについて

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考　操作の参考になることや補足説明が書かれています。

→『セットアップガイド』
『セットアップガイド』を参照してください。

→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）
『セットアップ CD-ROM』に収録されている『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）を参照してください。

（→ nn ページ）　関連事項について説明しているページを参照してください。

FAX　本機をファクス機としてご使用になる場合にお読みください。

PC　本機をパソコンに接続してご使用になる場合にお読みください。

（手順内の見出し）
一連の操作手順内で、場合によって操作手順が異なることを表す見出しです。

1.（場合分けの操作手順）
特定の操作手順内で、場合によって異なる操作手順を説明します。

キーについて

本書で使用するキー名称、メッセージの表示のしかたについて説明します。

［キー名称］　本機の操作パネル上のキーや、パソコン画面上のボタンは、カッコ［ ］で囲まれています。
例：［カラースタート］

〈メッセージ〉　LCD ディスプレイ（液晶ディスプレイ）に表示されるメッセージや選択項目は、カッコ〈 〉で囲まれています。
例：〈プロフォト〉、〈シナイ〉

本書で使用する用語について

本書で使用する用語、略語について説明します。

本機　PIXUS MP390 を指します。

工場出荷時の設定
お客様が変更する前の、最初の設定です。

原稿　本機でコピーやファクス、また読み込んだりする書類や写真、本などを指します。

用紙　本機で使える紙を指します。

メニュー　設定や変更をするときに使う選択項目の一覧です。メニューの項目は、LCD ディスプレイに表示されます。

FAX **受付番号**　ファクスを送信または受信したときに、自動的につけられる 4 桁の番号を指します。

PC **クリック、ダブルクリック**
パソコンの画面上で、マウスを使ってメニュー項目やコマンドを選ぶことを指します。

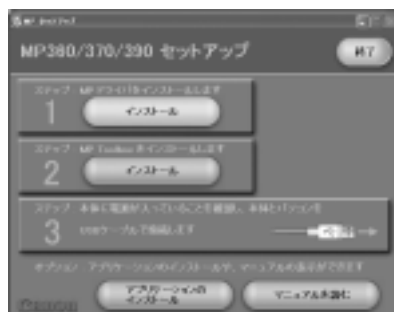
PC **右クリック**　マウスの右ボタンをクリックすることを指します。

/（スラッシュ）　OS や機種名を併記するときに使います。たとえば、「Windows 2000/XP」は、Windows 2000 と Windows XP という意味です。

セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルを表示するには

1 セットアップ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

［セットアップ］画面が表示されます。

この画面が表示されないときは、デスクトップの［マイ コンピュータ］をダブルクリックして開き（Windows XP のときは、［スタート］をクリックし、［マイ コンピュータ］をクリックして）、CD-ROM のアイコンを開き、［Setup（setup.exe）］をダブルクリックします。

重要

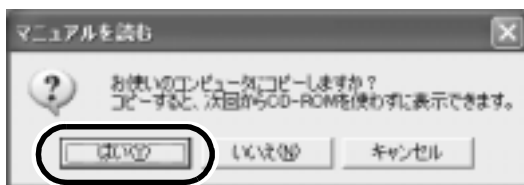
- セットアップ CD-ROM に収録されている電子マニュアルには、PDF 形式のものと、HTML 形式のものがあります。
- PDF形式のマニュアルを見るには、Adobe Acrobat Readerをインストールする必要があります。まだインストールしていない場合は、［MP セットアップ］画面で、［アプリケーションのインストール］をクリックして、「Adobe Acrobat Reader」をインストールしてください。

2 ［セットアップ］画面で、［マニュアルを読む］をクリックします。

3 ［マニュアルを読む］画面で、表示したい電子マニュアルのボタンをクリックします。

『ソフトウェアガイド』や『アプリケーションガイド』の電子マニュアルは、パソコンのハードディスクにコピーして、起動用のアイコンをデスクトップに作ることができます。

電子マニュアルをコピーするには、ハードディスクに 35 MB 以上の空き容量が必要です。

電子マニュアルをコピーする場合：

1. ［はい］をクリックします。
   パソコンのハードディスクにコピーされて、電子マニュアルが表示されます。

   コピーされると同時に、デスクトップに起動用のアイコンが作成されます。

   デスクトップのアイコンをダブルクリックすると、電子マニュアルが表示されます。

   コピーした電子マニュアルを削除する場合は、次のフォルダから削除してください。
   ￥Program Files￥Canon￥MP Drivers￥MP390360

電子マニュアルをコピーしない場合：

1. ［いいえ］をクリックします。
   パソコンのハードディスクにコピーされずに、電子マニュアルが表示されます。

PC ソフトウェアガイドについて

ソフトウェアガイドは、『セットアップ CD-ROM』に収録されている PDF 形式の電子マニュアルです。次のような説明が記載されています。

第 1 章 インストール (使うための準備をする)
・必要な機器・ソフトウェア
・ソフトウェアをインストールする
・インストールの確認をする
・メモリカードの読み込み／書き込み
・通常使うプリンタに設定する
・ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

第 2 章 印刷（文書をプリントする）
・文書を印刷する
・どのように印刷されるかをプレビューで確認する
・印刷の設定をかえる（設定画面の開きかた）
・用紙や印刷品質を設定する／［基本設定］タブ
・用紙サイズや部数を設定する／［ページ設定］タブ
・スタンプを選ぶ /［スタンプ／背景］タブ
・背景を選ぶ /［スタンプ／背景］タブ
・特殊効果を設定する／［特殊効果］タブ
・設定をお気に入りに登録する／［お気に入り］タブ
・クリーニングや本機の設定をする／［ユーティリティ］タブ
・BJ ステータスモニタで本機の状態を知る
・プリンタを共有し、ネットワークで使う

第 3 章 スキャン（画像を読み込む）
・本機の操作パネルを使って読み込む
・MP Toolbox を使って読み込む
・MP Toolbox の設定
・アプリケーションから画像を読み込む
・2 枚以上の A4 などの原稿をひとつの PDF ファイルにする
・2 枚以上の小さな原稿をいちどに読み込む
・ScanGear MP で細かく設定して読み込む
・WIA ドライバで読み込む（Windows XP のみ）

第4章 ファクス（パソコンから送信する）
・ファクスを送信する
・ファクス番号に使える文字と記号
・送信先をアドレス帳から選ぶ
・送信先をアドレス帳に加える
・ファクス設定を変更する
・アドレス帳に送信先を登録する、変更する
・はじめてアドレス帳を開いたとき
・アドレス帳に送信先（WAB 連絡先）を登録する
・送信先の検索・削除
・別の Windows アドレス帳を使う
・アドレス帳のインポート

困ったときには
用語解説
索引

PC アプリケーションガイドについて

アプリケーションガイドは、『セットアップ CD-ROM』に含まれている HTML 形式の電子マニュアルです。このガイドには、本機に付属するアプリケーションの機能や使いかたが記載されています。アプリケーションガイドの最初に表示される画面で、見たいアプリケーションをクリックすると、そのアプリケーションの説明画面に進めます。この画面で調べたい項目をクリックすると、機能の詳しい説明、設定シート、設定手順などが表示されます。

PC 付属のアプリケーションについて

ZoomBrowser EX / PhotoRecord

ZoomBrowser EX は、デジタルカメラで撮影した画像の管理や表示、編集ができるソフトウェアです。
PhotoRecord は、かんたんな操作で、写真の加工、文字入力や飾りつけなどの処理ができ、手軽に印刷が楽しめるソフトウェアです。

Easy-PhotoPrint/Easy-PhotoPrint Plus

Easy-PhotoPrint は、デジタルカメラで撮影した画像と用紙を選ぶだけで、高画質なフチなし印刷がかんたんにできるソフトウェアです。
Easy-PhotoPrint Plus は、撮った写真をより美しく印刷するために画像を加工するソフトウェアです。

Easy-WebPrint

Internet Explorer から、難しい設定をしなくても、ページ全体を高速印刷することができるソフトウェアです。

ArcSoft PhotoStudio

スキャナやデジタルカメラから画像を取り込み、画像に色々な処理を加えたり、合成をしたり、ファイルの種類を変換したり、アルバムに登録したりすることができる画像処理ソフトウェアです。

e.Typist エントリー

画像として読み込んだ雑誌や新聞などの活字を、ワープロなどで編集可能なテキスト（文字）データに変換する「OCR（オーシーアール）」と呼ばれるソフトウェアです。

Adobe Acrobat Reader

PDF（Portable Document Format）形式の書類を見るためのソフトウェアです。

PC オンラインヘルプの使いかたについて

アプリケーションから本機を使って印刷する場合、印刷を実行するときに表示される印刷設定（プロパティ）画面には、オンラインヘルプ機能が付いています。オンライン機能を使うと、プロパティ画面で設定するいろいろな項目についての説明をパソコンの画面上に表示できます。
オンラインヘルプを表示させるには、プロパティ画面の右下にある［ヘルプ］ボタンをクリックします。ヘルプ画面が表示されるので、この画面上で調べたい項目をクリックします。または、プロパティ画面の右上にある［?］ボタンをクリックしたあと、調べたい項目にカーソルを合わせてクリックすると、その項目について説明するボックスが表示されます。

目次

1章 本機について

本機でできること

本機は、1 台でさまざまな役割を果たしてくれる複合機です。

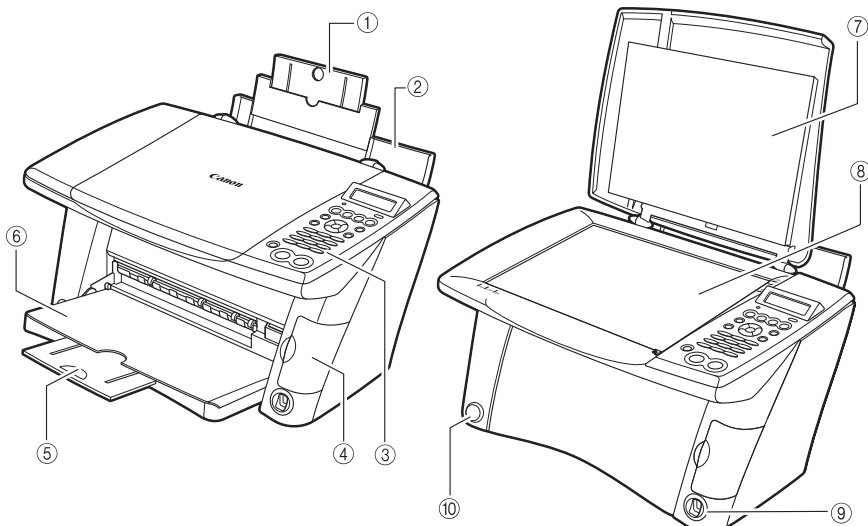
写真プリンタとして - - - - - - -	パソコンを使わずにデジタルカメラやメモリカードの写真データを直接印刷できます。
コピー機として - - - - - - - - - -	カラーコピーと白黒コピーができます。コピー機能は細かく設定できます。
FAX ファクス機として - - - - -	本機で直接受信したり、カラーで送受信することもできます。パソコンから送信することもできます。
PC プリンタとして - - - - - -	パソコンからカラー印刷と白黒印刷ができます。
PC スキャナとして - - - - - -	解像度の高い画像をパソコンに読み込めます。付属のアプリケーションを使えば、画像データをかんたんに加工できます。

本機はパソコンと接続しなくても、操作パネルのキー操作だけで写真プリンタ、コピー機、ファクス機として使用できます。また、パソコンに接続すると、プリンタ、コピー機、ファクス機、スキャナ、写真プリンタの機能をすべて備えた複合機として使えます。付属のアプリケーションを使うと、パソコンからさまざまな操作ができます。

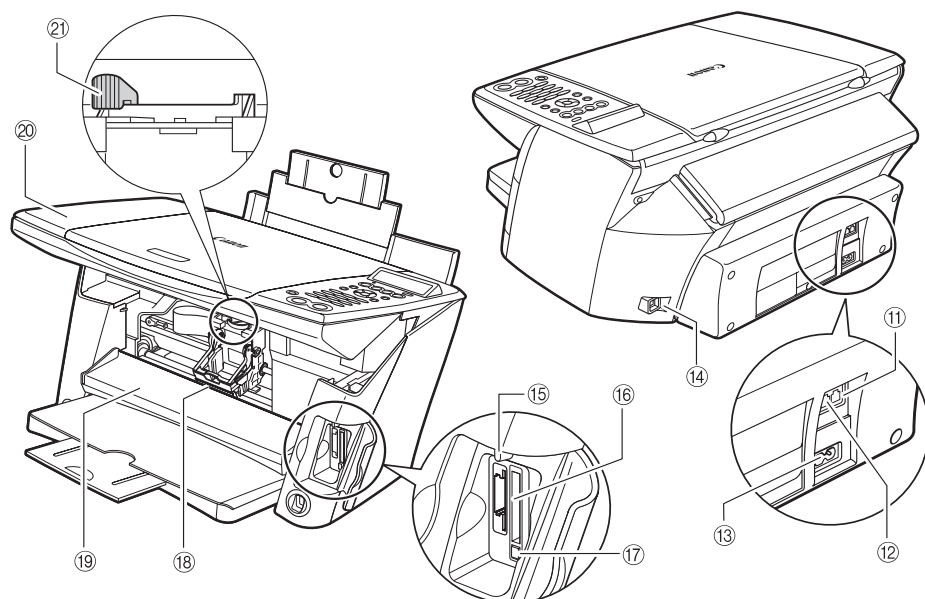
各部の名称と役割

本機の各部の名称と役割について説明します。

本体各部

外観

① **用紙補助トレイ**	セットした用紙を支えます。用紙をセットする前に、まるいくぼみに指をかけて止まるまで引き出してください。
② **用紙トレイ**	用紙をセットします。
③ **操作パネル**	本機の動作や状態を表示したり、機能の設定を変更・確認したりするときに使用します。詳しくは 15 ページをご覧ください。
④ **カードスロットカバー**	メモリカードまたはCFカードアダプタを差し込むときに開けます。
⑤ **排紙補助トレイ**	排出された用紙を支えます。コピーや印刷を行う前に、くぼみを押しながらつまむように引き出してください。印刷しないときは閉じておいてください。
⑥ **排紙トレイ**	コピーや印刷を行う前に排紙トレイオープンボタンを押して開けます。排紙トレイが閉じていても、コピーや印刷が開始されたときは自動的に開きます。 使用しないときは閉じておいてください。
⑦ **原稿台カバー**	原稿台ガラスに原稿をセットするときに開けます。
⑧ **原稿台ガラス**	原稿をセットします。
⑨ **USB ケーブル接続部（カメラ接続部）**	“PictBridge”対応またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷するときに使用します。詳しくは 87 ページをご覧ください。
⑩ **排紙トレイオープンボタン**	本機に収納されている排紙トレイを開ける（手前に倒す）ときに押します。

かたむいている場所に設置すると排紙トレイが開かなくなります。

背面および内部

⑪ 外付け機器接続部　電話機や留守番電話機を接続します。

⑫ 電話回線接続部　電話回線を接続します。

⑬ 電源コード接続部　本機の電源コードをここに接続します。

⑭ USB ケーブル接続部（パソコン接続部）　本機とパソコンを接続して印刷やスキャンなどをするときに使用します。

⑮ アクセスランプ　メモリカードを差し込むと認識中は点灯し、読み取り／書き込み中は点滅します。メモリカードの読み取り／書き込みが終わると消灯します。

⑯ カードスロット　メモリカードまたは CF カードアダプタを差し込みます。スロットは 2 種類あります。

⑰ メモリカード取り出しボタン　コンパクトフラッシュ、CF カードアダプタを取り出すときに押します。（→ 61 ページ）

⑱ プリントヘッドホルダ　プリントヘッドを取り付けます。

⑲ 内カバー　紙間選択レバーを切りかえるときや、インクタンクを交換するとき、紙づまりを処理するときに開けます。

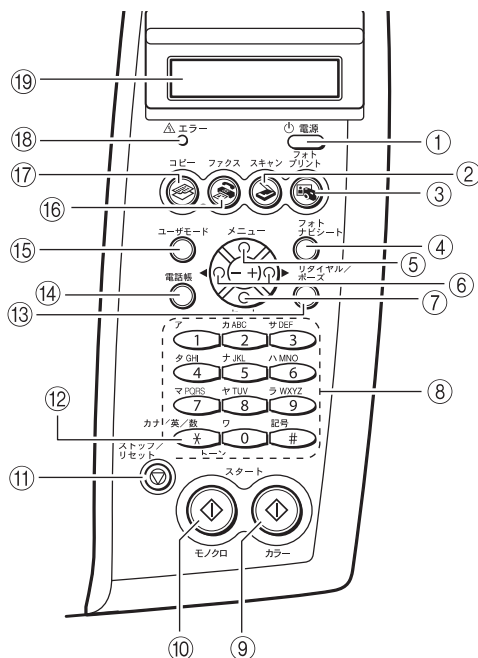
⚠ 注意

内カバーを開けたまま印刷すると、けがをする恐れがあります。

⑳ スキャンユニット　内カバーを開けるときに止まるまで持ち上げます。

㉑ 紙間選択レバー　用紙の種類に合わせてプリントヘッドと用紙の間隔を切りかえます。使用する用紙に合わせてレバーの位置をかえてください。

操作パネル

操作パネル上にある各キーの名称と役割について説明します。

① [電源] キー	本機の電源を入れるとき、切るときに使います。電源を入れるときはスキャンユニットを閉めてください。電源を切るとき、および電源を入れるときは、1 秒以上押してください。
② [スキャン] キー	スキャンモードに切りかえます。スキャンモードでは、あらかじめ指定した設定で、原稿を読み込みます（スキャンします)。パソコンと接続している場合に使います。
③ [フォトプリント] キー	フォトプリントモードに切りかえます。
④ [フォトナビシート] キー	フォトナビシートモードに切りかえます。
⑤ [メニュー] キー	メニューを選んだり、設定をかえるときに使います。
⑥ [◀(−)]、[▶(+)] キー	コピー部数やメニュー項目、写真の画像番号などを選ぶときに使います。
⑦ [セット] キー	メニュー項目を選んだり設定を確認したりします。また、印刷途中でのエラーから復帰するときや、紙づまりを取り除いたあと、復帰するときに使います。
⑧ テンキー	数値やコピー部数などを入力します。またファクス／電話番号や文字も入力できます。
⑨ [カラースタート] キー	カラーコピー、カラーファクス送信、またはカラースキャンを開始します。
⑩ [モノクロスタート] キー	白黒コピー、白黒ファクス送信、または白黒スキャンを開始します。
⑪ [ストップ／リセット] キー	操作を取り消して、スタンバイモードに戻します。

⑫［トーン］キー	一時的にプッシュ信号に切りかえます。また文字を入力するときにモードを切りかえます。
⑬［リダイヤル／ポーズ］キー	最後に送信した番号をリダイヤルします。また、ダイヤルするときやデータを登録するときに、番号と番号の間にポーズを入れます。
⑭［電話帳］キー	電話帳に登録したファクス／電話番号にダイヤルするときに使います。
⑮［ユーザモード］キー	インク残量やファクスのいろいろな設定、メンテナンスなどができるユーザモードに切りかえます。
⑯［ファクス］キー	ファクスモードに切りかえます。
⑰［コピー］キー	コピーモードに切りかえます。
⑱ エラーランプ	本機の電源を入れるときや切るとき、エラーが発生したとき、または用紙やインクがなくなったときなどに点滅します。
⑲ LCD ディスプレイ（液晶ディスプレイ）	メッセージ、メニュー項目、動作状況が表示されます。

重要

- **電源を切るときは、必ず［電源］キーを押してください。［電源］キーを押すと、プリントヘッドが乾燥しないようにキャップで保護されます。電源コードを抜くときは、［電源］キーで電源を切ったあとで抜いてください。**
- **長時間使わないときは、プリントヘッドが劣化しないように、1 か月に 1 回程度、白黒とカラーの両方で印刷やコピーを行うか、プリントヘッドをクリーニングすることをおすすめします。**
- **プリントヘッドには、高精度の印刷のために多くのノズルがあります。フェルトペンやマジックを長時間使わないと、キャップをしていても、自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同じように、プリントヘッドのノズルもインクで目詰まりすることがあります。定期的に印刷やクリーニングを行うと、このような目詰まりを未然に防ぐことができます。**

- 動作中は、［電源］キーを押しても、電源を切ることはできません。
- 本機は電源コードを差し込んだあと、最初の印刷を行う前にプリントヘッドのクリーニングを行います。印刷品質は維持されますが、クリーニングのたびに少量のインクが消費されます。
- 本機は電源を切るとファクスを受信することができません。

メニュー一覧

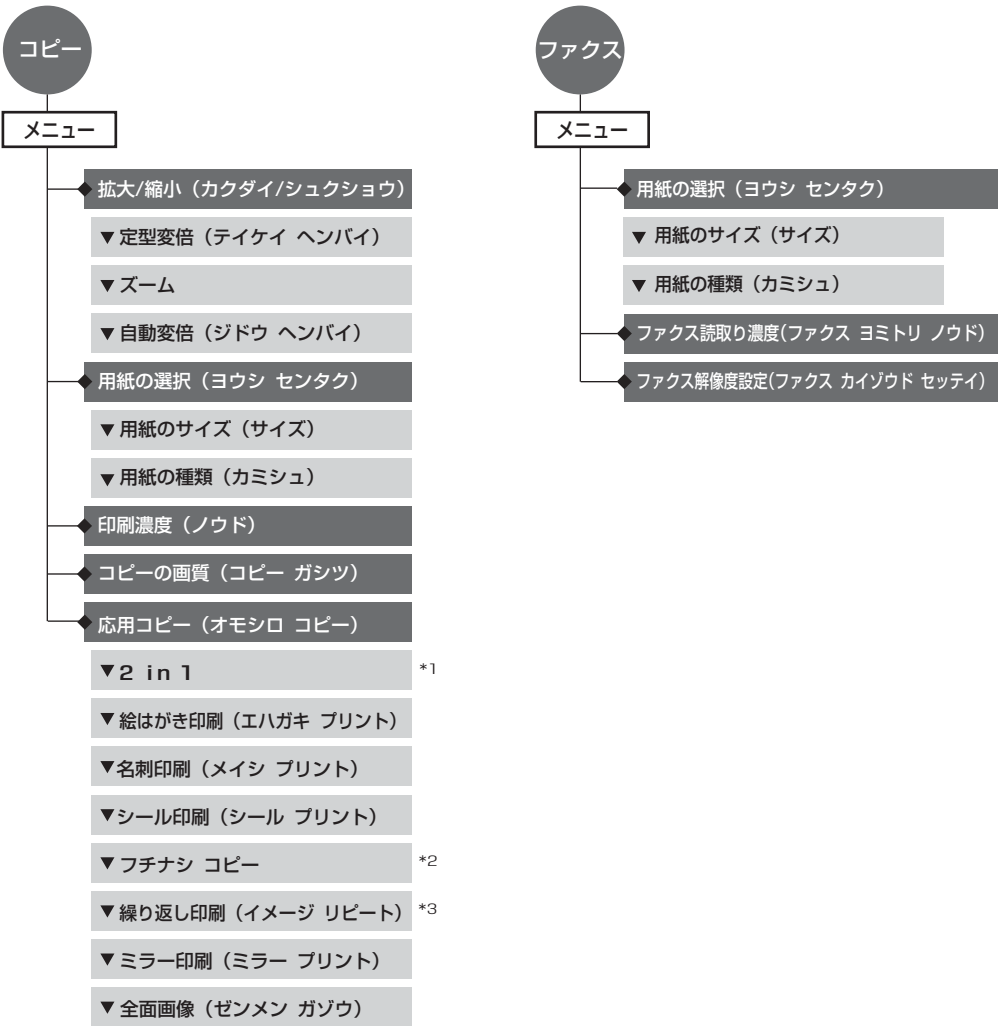
本機の機能を設定するときに、この一覧表を参考にしてください。

応用コピーの詳細については、4 章をご覧ください。

コピー

- メニュー
  - ◆拡大/縮小（カクダイ/シュクショウ）
    - ▼定型変倍（テイケイ ヘンバイ）
    - ▼ズーム
    - ▼自動変倍（ジドウ ヘンバイ）
  - ◆用紙の選択（ヨウシ センタク）
    - ▼用紙のサイズ（サイズ）
    - ▼用紙の種類（カミシュ）
  - ◆印刷濃度（ノウド）
  - ◆コピーの画質（コピー ガシツ）
  - ◆応用コピー（オモシロ コピー）
    - ▼2 in 1 *1
    - ▼絵はがき印刷（エハガキ プリント）
    - ▼名刺印刷（メイシ プリント）
    - ▼シール印刷（シール プリント）
    - ▼フチナシ コピー *2
    - ▼繰り返し印刷（イメージ リピート） *3
    - ▼ミラー印刷（ミラー プリント）
    - ▼全面画像（ゼンメン ガゾウ）

ファクス

- メニュー
  - ◆用紙の選択（ヨウシ センタク）
    - ▼用紙のサイズ（サイズ）
    - ▼用紙の種類（カミシュ）
  - ◆ファクス読取り濃度(ファクス ヨミトリ ノウド)
  - ◆ファクス解像度設定(ファクス カイゾウド セッテイ)

*1 この機能は、用紙サイズを〈A4〉か〈LTR〉に設定したときだけ使うことができます。
*2 この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈LTR〉、〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉に設定したときだけ使うことができます。
*3 繰り返し印刷（イメージリピート）で手動を選んだときは、縦方向と横方向の繰り返し回数（1〜4回）を選択できます。

フォトプリントとフォトナビシートの詳細については、5 章をご覧ください。

- フォトプリント
  - メニュー
    - インデックス
      - ▼ 用紙サイズ（ヨウシ サイズ センタク）
      - ▼ 用紙の種類（ヨウシ シュルイ センタク）
      - ▼ 日付の印刷（ヒヅケ インサツ）
      - ▼ VIVID 写真印刷（VIVID フォト プリント）
    - 全画像（ゼンガゾウ）
      - ▼用紙サイズ（ヨウシ サイズ センタク）
      - ▼用紙の種類（ヨウシ シュルイ センタク）
      - ▼ フチなし印刷（フチナシ プリント）
      - ▼ 日付の印刷（ヒヅケ インサツ）
      - ▼ VIVID 写真印刷（VIVID フォト プリント）
    - 1 画像（1ガゾウ）
      - ▼ ファイルの選択（ファイル センタク）
      - ▼ 部数（ブスウ）
      - ▼用紙サイズ（ヨウシ サイズ センタク）
      - ▼用紙の種類（ヨウシ シュルイ センタク）
      - ▼ フチなし印刷（フチナシ プリント）
      - ▼ 日付の印刷（ヒヅケ インサツ）
      - ▼ VIVID 写真印刷（VIVID フォト プリント）
    - 範囲指定印刷（ハンイ シテイ） *2
      - ◀画像番号(ガゾウ バンゴウ)
        - ▼最初の画像（サイショノ ガゾウ）
        - ▼最後の画像（サイゴノ ガゾウ）
      - ◀日付（ヒヅケ）
        - ▼この日付から（コノ ヒヅケ カラ）
        - ▼この日付まで（コノ ヒヅケ マデ）
      - ▼ 用紙サイズ（ヨウシ サイズ センタク）
      - ▼ 用紙の種類（ヨウシ シュルイ センタク）
      - ▼フチなし印刷（フチナシ プリント）
      - ▼日付の印刷（ヒヅケ インサツ）
      - ▼VIVID 写真印刷（VIVID フォト プリント）
    - DPOF
      - ▼ 用紙サイズ（ヨウシ サイズ センタク）
      - ▼ 用紙の種類（ヨウシ シュルイ センタク）
      - ▼フチなし印刷（フチナシ プリント）
      - ▼VIVID 写真印刷（VIVID フォト プリント）

- フォトナビシート
  - プリント／スキャン
    - スキャン → スキャン
      - フォトナビシートをスキャンして、メモリカード内の指定された画像を印刷します。
    - プリント
      - 全ページ（ゼンページ） *1
      - 最新の画像（サイシン ノ ガゾウ） *1
      - 範囲指定（ハンイ シテイ） *1
        - ▼この日付から（コノ ヒヅケ カラ）
        - ▼この日付まで（コノ ヒヅケ マデ）

*1 フォトナビシートの全ページ、最新の画像、範囲指定は、メモリカードに31枚以上の画像がある場合に選択できます。
*2 フォトプリントの範囲指定印刷は、画像番号か日付で範囲が指定できます。

- ユーザモードの詳細については、15 章をご覧ください。
- 太字は工場出荷時の設定です。

◆ファクス仕様設定（ファクス シヨウ セッテイ）

▼受信モード （ジュシンモード）
- **自動受信モード （ジドウ ジュシン モード）**
- 手動受信モード （シュドウ ジュシン モード）
- 留守番電話接続モード （ルスTEL セツゾク モード）
- ファクス/電話切替え （FAX/TEL キリカエ）

▼メモリ照会 （メモリ ショウカイ）
- ファクス再出力（ファクスサイシュツリョク）
- 原稿プリント （ゲンコウ プリント）
- 原稿リスト （ゲンコウ リスト）
- 原稿クリア （ゲンコウ クリア）

▼レポート/リスト （レポート/リスト）
- 通信管理レポート （ツウシンカンリ レポート）
- 電話帳 （デンワチョウ）
- ユーザデータリスト （ユーザデータリスト）
- 原稿リスト（ゲンコウ リスト）

▼電話番号登録 （デンワバンゴウ トウロク） *1

*1 電話番号は40件（01〜40）まで登録できます。

▼基本設定 （キホン セッテイ）
- 日付/時刻設定 （ヒヅケ/ジコク セット）
- 日付/時刻タイプ （ヒヅケ/ジコク タイプ）
- ユーザ電話登録 （ユーザ TEL トウロク）
- ユーザ略称登録 （ユーザ リャクショウ トウロク）
- 発信元記録 （ハッシンモト キロク）
  - **付ける （ツケル）**
    - 発信元記録位置 （ハッシンモト キロク イチ）
    - 電話番号マーク （デンワバンゴウ マーク）
  - 付けない （ツケナイ）
- オフフック アラーム （オフフックアラーム）
- 音量調整 （オンリョウ チョウセイ）
  - 呼出し音量（ヨビダシ オンリョウ）
  - 通信音量 （ツウシン オンリョウ）
- 呼出音質 （ヨビダシオン オンシツ）
- 回線種別自動 （カイセンシュベツ ジドウ）
  - しない （シナイ）
    - 回線種類選択 （カイセン シュルイ センタク）
      - **ダイヤル回線 （ダイヤル カイセン）**
      - プッシュ回線 （プッシュ カイセン）
  - **する （スル）**
- 通信管理レポート（ツウシンカンリ レポート）

▼送信機能設定（ソウシン キノウ セッテイ）
- ECM送信（ECM ソウシン）
- ポーズ時間設定（ポーズ ジカン セット）
- 自動リダイヤル （ジドウ リダイヤル）
  - **する （スル）**
  - しない （シナイ）
- 送信スタートスピード （ソウシン スタート スピード）
- 送信結果レポート （ソウシンケッカ レポート）
  - **送信エラー時のみプリント （エラージ ノミ プリント）**
  - プリントする （プリント スル）
  - プリントしない （プリント シナイ）

▼受信機能設定（ジュシン キノウ セッテイ）
- ECM受信 （ECM ジュシン）
- FAX/TEL切替え （FAX/TEL キリカエ）
  - 呼出し開始時間 （ヨビダシ カイシ ジカン）
  - 呼出し時間 （ヨビダシ ジカン）
  - 呼出し後の動作 （ヨビダシゴノ ドウサ）
- 着信呼出し（チャクシン ヨビダシ）
  - **しない （シナイ）**
  - する （スル）
- 自動受信切替え（ジドウ ジュシン キリカエ）
  - **しない （シナイ）**
  - する （スル）
- リモート受信 （リモート ジュシン）
  - **する （スル）**
  - しない （シナイ）
- 画像縮小 （ガゾウ シュクショウ）
  - **する （スル）**
  - しない （シナイ）
- 受信スタートスピード （ジュシン スタート スピード）
- 受信結果レポート （ジュシンケッカ レポート）

次ページに
続きます。

前ページより

- インク残量（インク ザンリョウ）
  - ▼インク残量警告（インク ザンリョウ ケイコク）
  - ▼インクカウンタ リセット
- メンテナンス
  - ▼プリンタ ノズル チェック
  - ▼ヘッド クリーニング
  - ▼ヘッド リフレッシング
  - ▼ヘッド位置調整（ヘッド イチ チョウセイ）
  - ▼キロク ローラ クリーニング
  - ▼色合い補正（キャリブレーション）
- 静かに印刷（シズカニ インサツ）
- フチなしはみ出し量（フチナシ ハミダシリョウ）
- ブザーの設定（ブザーノ セッテイ）
- カード書き込み禁止（カード カキコミ キンシ）
- パワーセーブ タイマーセット

2章 原稿を用意しよう

こんな原稿が使えます

原稿台ガラスにセットして、コピー、ファクス、またはスキャンできる原稿は、次のとおりです。

原稿の種類	• 書類 / 写真 / 本
サイズ（幅×長さ）	最大 216 mm × 297 mm
枚数	• 1 枚 • PC マルチスキャンは 10 枚まで
厚さ	最大 20 mm

PC マルチスキャンとは、2 枚以上の原稿（小さいサイズの原稿）を、一度にまとめて読み込む機能です。詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

原稿をセットしよう

原稿台ガラスにコピー、ファクス、またはスキャンしたい原稿をセットします。

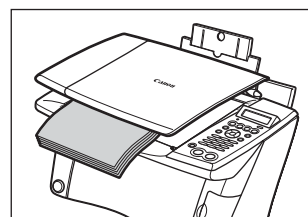
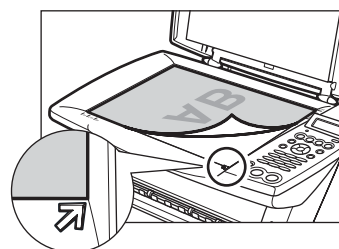
- 原稿にのり、インク、修正液などを使ったときは、完全に乾いてからセットしてください。

1 原稿台カバーを開けます。

2 原稿を原稿台ガラスにセットします。

原稿はコピー、ファクス、またはスキャンする面を下向きにして原稿台にのせてください。

原稿の左上隅を原稿台ガラスの右下隅にある矢印（原稿位置合わせマーク）に合わせます。

- 原稿台ガラスの手前側と右側の端から約3 mmは読み込めません。
- 本などの厚い原稿（最大 20 mm）を読み込むこともできます。原稿をセットするときと同じように、原稿台ガラスにセットします。

3 原稿台カバーをゆっくり閉じます。

用紙をセットしよう

用紙にはこんな種類があります

本機で使える用紙の種類について説明します。用紙トレイに用紙をセットするときは、次の条件に合ったものをお使いください。

用紙の名称	型番	積載枚数	紙間選択レバーの位置	PC プリンタドライバの設定［用紙の種類］
普通紙	—	約 100 枚	左	普通紙
封筒	—	約 10 枚	右	封筒
官製はがき／インクジェット官製はがき／往復はがき *2	—	約 40 枚	左	［用紙の種類］でセットするはがきの種類を選択（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
カラー BJ 用普通紙 *1	LC-301 A4 LC-301 B5	約 100 枚	左	普通紙
プロフェッショナルフォトペーパー *1	PR-101 A4 PR-101 L PR-101 2L	10 枚 20 枚 10 枚	左	プロフォトペーパー
プロフェッショナルフォトはがき *1	PH-101	20 枚	左	プロフォトペーパー（通信面） 普通紙（宛名面）
スーパーフォトペーパー *1	SP-101 A4 SP-101 L SP-101 2L SP-101 P*3	10 枚 20 枚 10 枚 10 枚	左	スーパーフォトペーパー
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101 A4 SG-101 L	10 枚 20 枚	左	スーパーフォトペーパー
プロフェッショナルフォトカード *1	PC-101 L PC-101 2L PC-101 D PC-101 W PC-101 C	20 枚 10 枚 10 枚 10 枚 20 枚	左	プロフォトペーパー
マットフォトペーパー *1	MP-101 A4 MP-101 L	10 枚 20 枚	左	マットフォトペーパー
キヤノン光沢紙 *1	GP-401 A4	10 枚	左	光沢紙

*1 キヤノン製専用紙
*2 パソコンからの印刷にのみ使用できます。
*3 印刷したパノラマ用紙が、うまく排紙されない場合があります。
あらかじめ排紙トレイに A4 サイズの用紙を敷いてください。

用紙の名称	型番	積載枚数	紙間選択レバーの位置	PC プリンタドライバの設定［用紙の種類］
エコノミーフォトペーパー *1	EC-101 L	20 枚	左	光沢紙
フォト光沢はがき *1	KH-201N	20 枚	左	光沢紙（通信面） 普通紙（宛名面）
高品位専用紙 *1	HR-101S A4 HR-101S B5	約 80 枚	左	高品位専用紙
T シャツ転写紙 *1	TR-301	1 枚	右	T シャツ転写紙
OHP フィルム *1	CF-102 A410 CF-102 A4N	30 枚	左	OHP フィルム
フォトシールセット *1	PSHRS	1 枚	左	光沢紙
ピクサスプチシール *1*2	PS-101	1 枚	左	光沢紙
BJ 名刺カード *1	QBJMW QBJMCS	1 枚	左	光沢紙

*1 キヤノン製専用紙
*2 パソコンからの印刷にのみ使用できます。
専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）が必要です。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードしてインストールしてください。

用紙の特徴および用途

本機で使える用紙の特徴や用途について説明します。印刷するときに、使用目的に合う用紙をお使いください。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
普通紙	A4 （210 mm × 297 mm） A5 （148 mm × 210 mm） レター （215.9 mm × 279.4 mm） B5 （182 mm × 257 mm） リーガル （215.9 mm × 355.6 mm）	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー、ファクス	• 質量：64 ～ 105g/m² • 縦向きに印刷ができます。 • 普通のコピー用紙、コットンボンド紙、レターヘッドなども使用できます。 • インクジェット専用紙を使う必要はありません。 • リーガルサイズの用紙はパソコンからの印刷のときにだけ使用できます。 • ファクスを受信するときは、A4 またはレターを使用します。
封筒	洋形４号 （105 mm × 235 mm） 洋形６号 （98 mm × 190 mm） 長形３号 （120 mm × 235 mm） 長形４号 （90 mm × 205 mm）	パソコンからの印刷	• ほかのサイズの封筒にも印刷可能ですが、印刷品質は保証されません。 • 次の封筒は、故障の原因になるので使用しないでください。 – 窓、穴、ミシン目、切り抜きがある封筒や、フタが二重になっている封筒、フタにシールが付いている封筒 – 型押しやコーティングなどの表面加工が施されている封筒 – シールが貼られている封筒 – 手紙が入っている封筒 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
官製はがき／インクジェット官製はがき／往復はがき *2	100 mm × 148 mm 148 mm × 200 mm	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 印刷されたはがきは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • インクが乾くまで印刷面には手を触れないでください。 • MP ドライバの設定は、必ず［用紙の種類］でセットするはがきの種類を指定してください。 • 次のはがきは、故障の原因になるので使用しないでください。 – 写真付きやステッカーが貼ってあるはがき – 折り目のある往復はがき
カラー BJ 用普通紙 *1	A4 （210 mm × 297 mm）	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 水や湿気に強く、インクがほとんどにじまない、高品位の用紙です。 • 表面が特殊加工されているので、カラーの発色がよく、カラーの図やグラフなどの印刷に適しています。
プロフェッショナルフォトペーパー *1	A4 （210 mm × 297 mm） L 判 （89 mm × 127 mm） 2L 判 （127 mm × 178 mm）	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • L 判は排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。 • L 判以外の用紙は排紙トレイに 10 枚以上ためないでください。
プロフェッショナルフォトはがき *1	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのあるはがきサイズの用紙です。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • 排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。
スーパーフォトペーパー *1	A4 （210 mm × 297 mm） L 判 （89 mm × 127 mm） 2L 判 （127 mm × 178 mm） パノラマ （89 mm × 254 mm）	パソコンからの印刷、写真プリント	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

*1　キヤノン製専用紙
*2　パソコンからの印刷にのみ使用できます。

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
スーパーフォトペーパー・シルキー *[1]	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 光沢のある面を上にして、セットしてください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
プロフェッショナルフォトカード *[1]	L 判 (89 mm × 127 mm) 2L 判 (127 mm × 178 mm) 六切判 (190 mm × 254 mm) カードサイズ (54 mm × 85.6 mm) DSC 版 4 面取り (89 mm × 119 mm)	パソコンからの印刷、写真プリント	• 光沢の出るコーティングを施した厚みのある写真印刷用の用紙です。 • ミシン目よりも大きめに印刷してから四辺をカットすることで、白いフチのない写真に仕上がります。 • カラーの発色、速乾性、耐水性に優れています。 • 高画質な写真の印刷に最適です。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 斜めに切られている角が左上になるように、光沢のある面を上にしてセットしてください。 • 印刷前にミシン目を切り離さないでください。 • L 判は排紙トレイに 20 枚以上ためないでください。 • L 判以外の用紙は排紙トレイに 10 枚以上ためないでください。
マットフォトペーパー *[1]	A4 (210 mm × 297 mm) L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコンからの印刷、写真プリント	• 光沢を抑えた厚みのある用紙です。 • カラーの発色、耐水性に優れています。 • ペーパークラフト、カレンダー、つや消し写真の印刷など、さまざまな印刷用途に適しています。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • より白い面を上にセットしてください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
キヤノン光沢紙 *[1]	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • 用紙の白い方の面を上にしてセットしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。

*[1] キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
エコノミーフォトペーパー *[1]	L 判 (89 mm × 127 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• 高品位専用紙よりも厚みがあり、印刷面に光沢のある用紙です。 • 写真に近い仕上がりを実現できます。 • フチなし全面印刷に最適です。 • インクが乾くまでの時間：2 分 • 用紙の白い方の面を上にしてセットしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 10 枚以上ためないでください。 • この用紙に付属しているサポートシートは使わないでください。
フォト光沢はがき *[1]	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 通信面に光沢があり、写真を色鮮やかに再現できます。 • フチなし全面印刷をすることで、余白のない印刷ができます。 • 両面に印刷するときは、通信面を先に印刷して、宛名面をあとで印刷してください。 • インクが乾くまで、印刷面には手を触れないでください。 • うまく給紙されないときは、パッケージに付属している厚紙を用紙の下に敷いてください。 • 排紙トレイに、用紙を 20 枚以上ためないでください。
高品位専用紙 *[1]	A4 (210 mm × 297 mm) B5 (182 mm × 257 mm)	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 普通紙よりもカラーの発色性に優れています。 • カラーの図やグラフなどを多用したビジネス文書や写真などの印刷に最適です。 • 用紙の白い方の面を上にしてセットしてください。 • 排紙トレイに、用紙を 50 枚以上ためないでください。 • 用紙が丸まってしまうときは、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。
T シャツ転写紙 *[1]	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• T シャツ用のアイロンプリントを作る用紙です。 • 写真やイラストを、T シャツ転写紙に左右を反転して印刷し、アイロンを使って T シャツに転写すると正しい向きになります。 • ミラープリントの機能を使用して印刷します。 • 緑色のラインがない面を上にして、用紙をセットしてください。 • 用紙が丸まっているときは、逆方向に丸めて伸ばしてください。 • 印刷後、T シャツへの転写は速やかに行なってください。 • 転写方法については、T シャツ転写紙に付属している取扱説明書を参照してください。 • コピー時の用紙の種類は〈コウヒンイ〉、画質は〈キレイ（フォト）〉を選択してください。

*[1] キヤノン製専用紙

用紙の名称	サイズ	用途	特徴および注意事項
OHP フィルム *[1]	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• オーバーヘッドプロジェクタ（OHP）で使うための、専用の透明フィルムです。 • プレゼンテーションなどの資料作りに効果的です。 • OHP フィルムをセットするときは、いちばん後ろに普通紙を 1 枚つけてください。 • OHP フィルムはどちらの面にも印刷ができます。よりきれいに印刷するには、フィルムの端を持ったときに丸まる方の面に印刷してください。 • 印刷された用紙は、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。 • 印刷面がすれたりフィルムどうしがくっ付いたりしないように、普通紙（コート紙は不可）をかぶせて印刷面を保護してください。 • インクが乾くまで、印刷面に手を触れたり、フィルムどうしを重ねたりしないでください。 • 長期間保管する場合は、普通紙をかぶせて印刷面を保護してください。
フォトシールセット *[1]	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷、写真プリント、コピー	• 入数：1 セット（16 枚） – 2 面× 2 枚 – 4 面× 2 枚 – 9 面× 2 枚 – 16 面× 10 枚
ピクサスプチシール *[1]	100 mm × 148 mm	パソコンからの印刷	• 専用のソフトウェア（プチプリント for PIXUS）が必要です。ホームページ（http://www.canon.jp/pixus）よりダウンロードしてインストールしてください。
BJ 名刺カード *[1]	A4 (210 mm × 297 mm)	パソコンからの印刷、コピー	• A4 用紙に名刺 10 枚分を印刷できる専用紙です。 • ホワイトとカラーの 2 種類があります。

*[1] キヤノン製専用紙

用紙の取り扱いと保管

使用できない用紙について

次のような用紙は使えません。

- 折れている／カールしている／しわが付いている用紙
- フラップ（ふた）が二重、またはシールになっている封筒
- 濡れている用紙
- 穴のあいている用紙（例：パンチで穴をあけた用紙など）
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（重さ 105 g/m^2 を超えるもの）※ キヤノン純正紙以外
- 写真やステッカーを貼ったはがき
- 型押しやコーティングなどの加工された封筒

用紙の取り扱いについて

- できるだけ用紙の端を持ち、印刷する面には触れないでください。印刷する面が傷ついたり、汚れたりすると、きれいに印刷できません。
- インクが乾くまで、印刷した面には触れないでください。
- 大量にインクを使う印刷をすると、用紙が丸まったり、印刷した面が汚れたりすることがあります。このような場合は、紙間選択レバーを右側にセットしてください。丸まりやすい用紙には、写真や図の入った文書は印刷しないで、テキストだけの文書を印刷するようにしてください。
- 用紙が丸まっているときは、反対方向に丸めて伸ばしてください。
- 使わない用紙は、元の袋や包装紙に入れて、直射日光の当たらない、涼しく湿気の少ない場所に保管してください。
- はがきサイズやL判サイズなど、A5サイズより小さい用紙に印刷するときは、次のような用紙は使わないでください。
  – 官製はがきより薄い紙
  – メモ用紙やチラシなどを裁断して作った紙

プロフェッショナルフォトペーパーの取り扱いと保管

- インクが乾くまで（約30分）印刷した面には触れないでください。色の濃い画像を印刷すると、画像がはっきりしないことがありますが、30分程度で正常な発色になります。
- インクが完全に乾く前にアルバムに貼るとインクがにじむことがあります。1日（24時間）おいてからアルバムに貼ることをおすすめします。
- 印刷した面をドライヤーで乾かしたり、直射日光に当てたりしないでください。
- 印刷した用紙を、温度の高い場所や湿気のある場所に置かないでください。また、熱や直射日光に当てないでください。
- 外気や日光にさらされないように、アルバムや写真立て、プレゼンテーション用のバインダーなどに入れて保管してください。
- 粘着タイプのアルバムシートには、貼らないでください。はがせなくなることがあります。
- プラスチックのクリアフォルダーやアルバムに保管すると、用紙の端が黄ばむことがあります。

紙間選択レバーの設定

紙間選択レバーは、セットする用紙の厚さに合わせて、プリントヘッドと用紙の間隔を調整するときに使います。印刷する前に、使用する用紙の種類に合わせて、必ずこのレバーを設定してください。

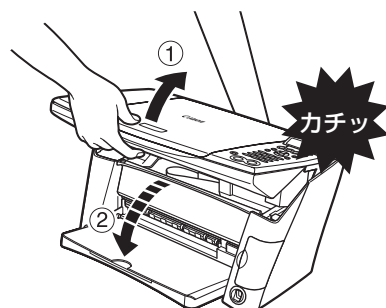
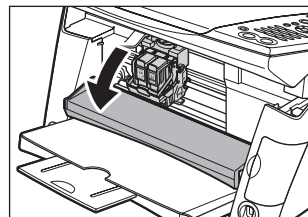
重要

ファクスを受信するときは、紙間選択レバーを左にしてください。

次のように操作してください。

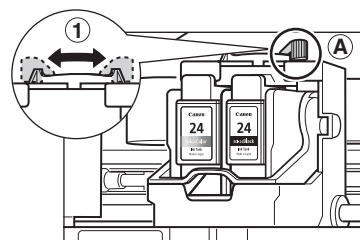
1 スキャンユニットを止まるまで持ち上げます①。

電源が入っているときは、スキャンユニットを持ち上げると自動的に排紙トレイが開きます②。排紙トレイが自動で開かないときは、左下にある排紙トレイオープンボタンを押して排紙トレイを開けます。

プリントヘッドホルダが中央へ移動します。

2 内カバーを開きます。

3 紙間選択レバーⒶを、用紙の種類に合わせて、右または左にします①。

用紙の種類に合わせた紙間選択レバーの設定位置については、22 ページをご覧ください。

4 内カバーを閉じます。

⚠ 注意

- 内カバーの中央部をカチッと音がするまで押して閉じてください。
- 内カバーを開けたまま印刷するとけがをする恐れがあります。

5 スキャンユニットをもとの位置に戻します。

LCD ディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

```
インクヲ　コウカン　シマシタカ?
 －　ハイ　　　　　　　イイエ　＋
```

6 [►] を押します。

インクタンクを交換していないときは必ず [►] キーを押し、それ以外のキーを押さないでください。

用紙のサイズと種類を設定しよう

コピーや写真プリントをするときは、用紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルで設定してください。

- コピーするときは、4 章を参照して用紙サイズを設定してください。
- 写真プリントをするときは、5 章を参照して用紙のサイズを設定してください。
- PC パソコンから印刷するときは、パソコンで用紙のサイズと種類を設定できます。
（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

用紙をセットする

封筒やはがき以外の用紙をセットする場合

重要

ファクスを受信するときは、普通紙（A4 またはレター）をセットしてください。

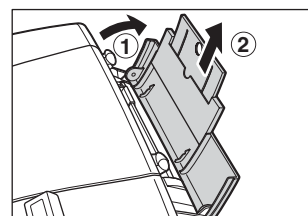
次のように操作してください。

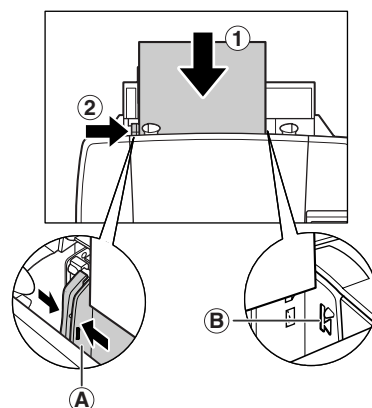
1 使用する用紙の種類に合わせて紙間選択レバーを設定します。

参考

- 用紙の種類に合わせた紙間選択レバーの設定位置については、22 ページをご覧ください。
- 紙間選択レバーの詳しい設定手順については、28 ページをご覧ください。

2 用紙トレイを開け①、用紙補助トレイを引き上げます②。

用紙補助トレイは、2 段階まで引き出せます。

3 用紙の束を（印刷する面を上にして）用紙トレイにセットして①、用紙ガイドⒶをつまんで動かし、用紙の左端にぴったりと合わせます②。

最大用紙量のマークⒷを超えないように注意してください。

封筒をセットする場合

次のように操作してください。

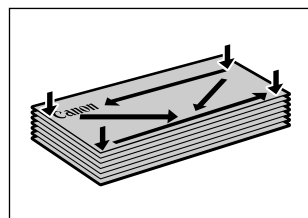
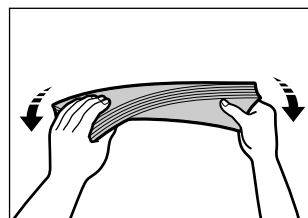
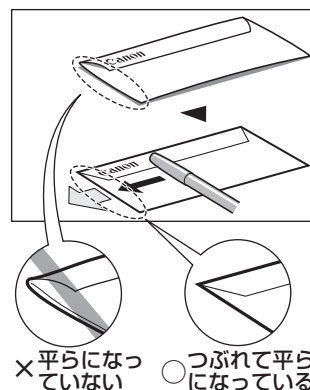
1 紙間選択レバーを右側にします。

紙間選択レバーの詳しい設定手順については、28 ページをご覧ください。

2 用紙トレイを開け、用紙補助トレイを引き上げます。

3 封筒を用意します。

重要

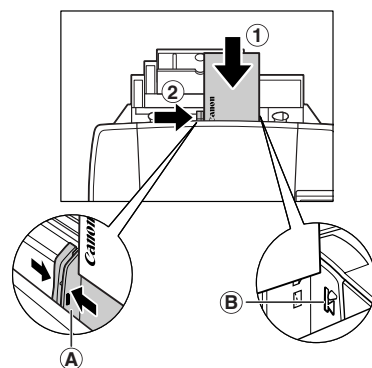
- 封筒の四隅を押して端をそろえます。また、洋形封筒の場合はフタの部分も押して、まっすぐ伸ばしてください。

- 封筒が反っているときは、封筒の対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。

- 封筒の先端がふくらんでいたり、反っていたりするときは、平らな場所に置いて、ペンの軸などを使って、しっかりとつぶします。封筒の中央から左右にしごいてください。
- 反りやふくらみがなく、厚さが 3 mm 以内になるようにします。

封筒の先端の部分

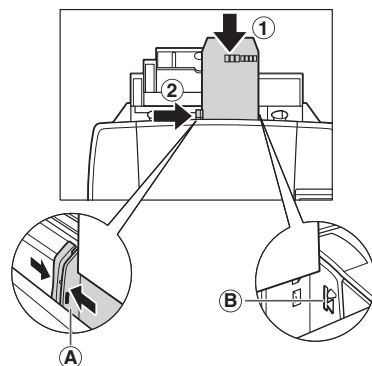
4 封筒の束を（印刷する面を上にして）用紙トレイにセットして①、用紙ガイドⒶをつまんで動かし、封筒の長い辺にぴったりと合わせます②。

重要

最大用紙量のマークⒷを超えないように注意してください。

洋形封筒の場合：

フタの部分を左側にして用紙トレイに差し込んでください。

長形封筒の場合：

フタの部分を折らずに郵便番号を上にして、用紙トレイに差し込んでください。

はがきをセットする場合

次のように操作してください。

1 紙間選択レバーを左側にします。

紙間選択レバーの詳しい設定手順については、28 ページをご覧ください。

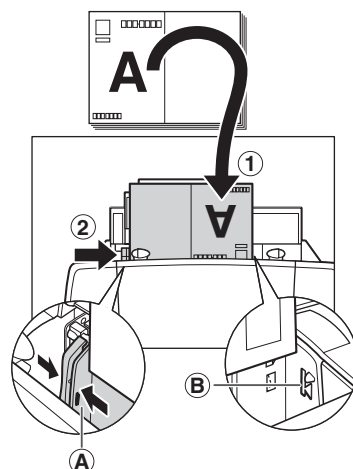
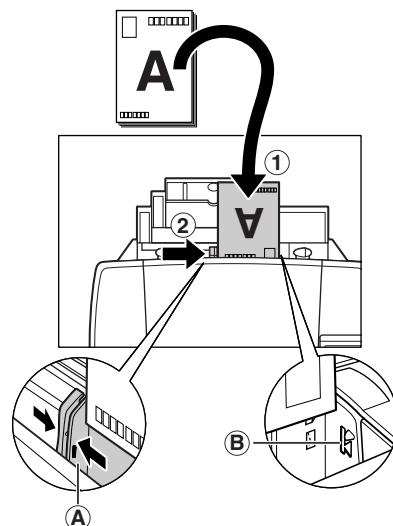
2 用紙トレイを開け、用紙補助トレイを引き上げます。

3 セットするはがきの四隅をそろえます。

はがきが丸まっているときは、逆向きに曲げて直してください。

4 はがきを（印刷する面を上にして）用紙トレイにセットして①、用紙ガイドⒶをつまんで動かし、はがきの左側にぴったりと合わせます②。

はがきの短い辺を下にして用紙トレイに差し込んでください。

写真付きはがき、ステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

参考

- 一般の官製はがき、インクジェット官製はがき、お年玉付き年賀はがき、往復はがきをセットできます。
- 往復はがきは折り曲げないでください。折り目がつくと、正しく給紙できず、紙づまりの原因になります。

重要

- **最大用紙量のマークⒷを超えないように注意してください。**
- **普通紙など、はがきより薄い紙をはがきの大きさに切り、試し印刷をしないでください。紙づまりによって、本機の故障の原因になることがあります。**

4章 コピーをとろう

コピーできる原稿は

コピーできる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、2 章をご覧ください。

用紙のサイズと種類を設定しよう

コピーをするときは、用紙トレイにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルで設定してください。

用紙の種類については、22 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 [コピー] を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

```
2.ヨウシ　センタク
```

3 [セット] を押します。

例：

```
サイズ゛　：〈　　　＊A4　　　〉
カミシュ　：　　　＊フツウシ
```

4 [◀] か [▶] で、用紙のサイズを選びます。

A4：　A4 サイズ
LTR：　レターサイズ
B5：　B5 サイズ
A5：　A5 サイズ
ハガキ：　はがき
L バン：　写真 L 判
2L バン：　写真 2L 判

5 ［セット］を押します。

例：

```
サイズ゛   :         ＊A4
カミシュ   : 〈      ＊フツウシ     〉
```

6 ［◄］か［►］で、用紙の種類を選びます。

フツウシ：	普通紙に適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
コウヒンイ：	高品位専用紙に適しています。
OHP フィルム：	OHP フィルムに適しています。
プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
スーパーフォト：	スーパーフォトペーパーに適しています。
ソノタ フォト：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにコピーしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをおすすめします。
インクジェット：	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト：	プロフェッショナルフォトはがきに適しています。

用紙サイズで〈ハガキ〉を選んだときは〈フツウシ〉、〈インクジェット〉、または〈フォト〉が選べます。（→ 34 ページ）

7 ［セット］を押します。

コピーしてみよう

カラーコピーまたは白黒コピーするときは、画質や濃度をかえたり、原稿を拡大／縮小させることもできます。

電源を入れたあとやパワーセーブ（→ 141 ページ）から復帰したあとすぐにコピーすると、画像をきれいに読み込めないことがあります。1 分以上たってからコピーしてください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

原稿をセットする方法については、21 ページをご覧ください。

2 ［コピー］を押します。

3 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

例：

100% A4 フツウ	03
◐□■□◑ フツウシ	

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- 用紙サイズと種類の設定は、34 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、38 ページをご覧ください。

5 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーが開始されます。

- コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- コピーモード（［コピー］を押したあとの状態）でも、ファクスは受信されます。

画質をかえる

コピーしたい原稿に合わせて画質を調整することができます。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

例：

4 .コピ゜ー ガ゛シツ
◄ ＊フツウ ►

3 ［◀］か［▶］で、画質を選びます。

フツウ：	通常の文字だけの原稿に適しています。
キレイ（フォト）：	写真のコピーに適しています。
ハヤイ：	低解像度での高速コピーに適しています。

- 用紙の種類で〈コウタク〉、〈プロフォト〉、〈スーパーフォト〉、〈ソノタ フォト〉、または〈コウヒンイ〉を選んだとき〈フツウ〉は選べません。（→ 34 ページ）
- 用紙の種類で〈フツウシ〉を選んだときだけ〈ハヤイ〉が選べます。（→ 34 ページ）

4 ［セット］を押します。

参考

- 〈ハヤイ〉を選んで思ったような画質で印刷できないときは、〈フツウ〉または〈キレイ（フォト）〉を選んで、もう一度印刷してみてください。
- グレースケールでコピーしたいときは〈キレイ（フォト）〉を選んでください。
  グレースケールとは二値（2 階調）で表現している白黒に対し、グレーの濃淡を数多くの階調で表現したものです。

濃度（明るさ）をかえる

濃度（明るさ）とは原稿を印刷するときの濃さを意味します。濃度を濃くすると暗い部分はより黒く、明るい部分はより白くなります。また、濃度を薄くするほど暗い部分と明るい部分の差がなくなります。濃度は 9 段階に切りかえることができます。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

例：
```
3.ノウド
 －ウスク◖□□□□■□□□□◗ コク＋
```

3 ［◀］か［▶］で、濃度を選びます。

［◀］を押すと薄くなり、［▶］を押すと濃くなります。

4 ［セット］を押します。

拡大／縮小コピーする

原稿を拡大または縮小してコピーできます。拡大／縮小してコピーするには 3 通りの方法があります。

定型変倍	あらかじめ設定された倍率で拡大／縮小コピーすることができます。
ズーム	1% きざみで倍率を指定して、拡大／縮小コピーすることができます。
自動変倍	セットした用紙サイズにおさまるように自動的に拡大／縮小コピーします。

次に、それぞれの機能の使いかたを説明します。

あらかじめ設定された倍率を使って拡大／縮小する（定型変倍コピー）

定型変倍コピーは A4 から A5 への縮小、B5 から A4 への拡大など、用紙サイズを変更するときに便利です。

次のように操作してください。

1 ［コピー］を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

```
1.カクダ゛イ/シュクショウ
◀      テイケイ  ヘンバ゛イ      ▶
```

3 ［◀］か［▶］で、〈テイケイ ヘンバイ〉を選びます。

4 ［セット］を押します。

例：

```
テイケイ  ヘンバ゛イ
 −          100%          +
```

5 [◀] か [▶] で、倍率を選びます。

25% サイショウ： 原稿を 25% 縮小してコピーします。
47% A4 →ハガキ： A4 サイズの原稿をはがきサイズに縮小してコピーします。
70% A4 → A5： A4 サイズの原稿を A5 サイズに縮小してコピーします。
86% A4 → B5： A4 サイズの原稿を B5 サイズに縮小してコピーします。
100%： サイズは変更されません。
115% B5 → A4： B5 サイズの原稿を A4 サイズに拡大してコピーします。
141% A5 → A4： A5 サイズの原稿を A4 サイズに拡大してコピーします。
200% ハガキ→ A4：はがきサイズの原稿をA4サイズに拡大してコピーします。
400% サイダイ： 原稿を 400% 拡大してコピーします。

定型変倍を設定中にテンキーを使うと、パーセントで細かく指定する方法（ズームコピー）に切りかわります。

6 [セット] を押します。

パーセントで細かく指定する方法（ズームコピー）

ズームコピーはパーセントを指定して拡大／縮小コピーします。原稿を微妙に拡大または縮小するときに便利です。

次のように操作してください。

1 [コピー] を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

```
1.カクダ゛イ/シュクショウ
◀      テイケイ ヘンバ゛イ      ▶
```

3 [◀] か [▶] で、〈ズーム〉を選びます。

```
1.カクダ゛イ/シュクショウ
◀          ズ゛ーム          ▶
```

4 [セット] を押します。

例：

ズ ーム 25-400%
- 100% +

5 [◀] か [▶] またはテンキーで、コピー倍率 (25% ～ 400%) を指定します。

[◀] を押すと倍率が小さくなり、[▶] を押すと大きくなります。
[◀] か [▶] を押したままにするとコピー倍率を早く切りかえることができます。

6 [セット] を押します。

用紙におさまるようにコピーする（自動変倍コピー）

自動変倍コピーは、用紙トレイにセットした用紙サイズにおさまるように原稿を自動的に拡大、または縮小してコピーします。

原稿によっては、サイズを正しく検知できないことがあります。正しく検知できないときは定型変倍コピーかズームコピーを選んでください。

次のように操作してください。

1 [コピー] を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

1.カクダ イ/シュクショウ
◀ テイケイ ヘンバ イ ▶

3 [◀] か [▶] で、〈ジドウ ヘンバイ〉を選びます。

1.カクダ イ/シュクショウ
◀ ジ ド ウ ヘンバ イ ▶

4 [セット] を押します。

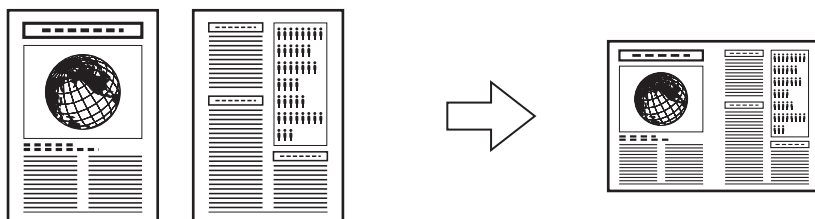
便利な機能

本機には、次の便利な機能があります。

2 in 1 コピー	2 枚の原稿を 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーすることができます。
絵はがきプリント	オリジナルの絵はがきを作ることができます。
名刺プリント	オリジナルの名刺を作ることができます。
シールプリント	オリジナルのシールを作ることができます。
フチなしコピー	用紙の全体に印刷することができます。
イメージリピートコピー	1 つの画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーできます。
ミラープリント	画像を左右反転させて転写紙に印刷し、オリジナルの T シャツなどを作ることができます。
全面画像コピー	原稿の周囲が欠けないように少しだけ縮小してコピーします。

次に、それぞれの機能の使いかたを説明します。

2 枚の原稿を 1 枚にコピーする（2 in 1 コピー）

この機能を使うと 2 枚の原稿が 1 枚の用紙におさまるように縮小してコピーされます。

読み込み中に〈メモリガ イッパイデス〉と表示された場合は、画質を〈フツウ〉に設定して、再度コピーしてください。（→ 36 ページ）

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに 1 枚めの原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 [◀] か [▶] またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- この機能は、用紙サイズを〈A4〉か〈LTR〉に設定したときだけ使うことができます。
- 用紙サイズと種類の設定は、34 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小は設定できません。

5 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

```
5.オモシロ コピ゚ー
◀      2 in 1      ▶
```

6 [セット] を押します。

例：

```
 66%  A4   フツウ    01
2 in 1
```

〈A4〉、〈LTR〉以外の用紙サイズが選ばれているときは、次のように表示されます。

例：

```
サイズ゙  : 〈   ＊A4    〉
カミシュ  :     ＊フツウシ
```

[◀] か [▶] で、〈A4〉か〈LTR〉を選んで [セット] を押します。

[◀] か [▶] で、用紙の種類を選んで [セット] を押します。

7 カラーコピーをする場合は [カラースタート] を押し、白黒コピーをする場合は [モノクロスタート] を押します。

```
ヨミトリ チュウ        01
```

8 次のメッセージが表示されたあと、原稿台ガラスに 2 枚めの原稿をセットします。

ツギ゛ノ ヘ゜ーシ゛　：スタート
ヨミトリ シュウリョウ　：セット

1 枚の原稿で読み取りを終了するには、［セット］を押します。

9 ［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。

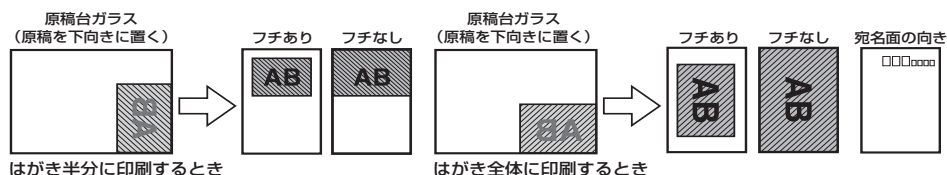
7 の操作で押したキーと同じキーを押してください。

7 の操作で押したキーと 9 の操作で押したキーが同じでない場合は、コピーが開始されません。

参考

- コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- 続けて 2 in 1 コピーをとる場合は、7 ～ 9 の操作をくり返します。

絵はがきを作る（絵はがきプリント）

L 判サイズの写真やイラストを利用して、オリジナルの絵はがきを作ることができます。

- フチなしコピーは、インクジェット官製はがき、またはプロフェッショナルフォトはがきのみ有効になります。
- 原稿が L 判サイズより大きい場合は、はがきからはみ出て印刷されます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 用紙トレイにはがきをセットします。

参考

- はがきのセットのしかたについては、32 ページをご覧ください。
- はがきの種類については、22 ページをご覧ください。

4 ［◀］か［▶］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

5 必要に応じて、設定を調整します。

参考

- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。

- 画質、拡大／縮小は設定できません。

6 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

```
5.オモシロ コピ゜ー
◀      2 in 1      ▶
```

7 ［◀］か［▶］で、〈エハガキ プリント〉を選びます。

```
5.オモシロ コピ゜ー
◀   エハガ゛キ プ゜リント   ▶
```

8 ［セット］を押します。

例：

```
レイアウト  :〈  ゼ゛ンタイ  〉
フチ      :    アリ
```

9 ［◀］か［▶］で、レイアウトを選びます。

ゼンタイ：はがき全体に印刷します。
ハンブン：はがきの上半分に印刷します。

10 ［セット］を押します。

例：

レイアウト	：	ゼ゛ンタイ
フチ	：〈	アリ 〉

11 ［◄］か［►］で、フチを付けるかどうかを選びます。

アリ：フチを付けて印刷します。
ナシ：フチなしで印刷します。

- フチなしで全面印刷をすると、画像ははがき全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチありで全面印刷をすると、画像はほぼ原寸でコピーされますが、フチの分だけ画像の周囲が欠けます。
- カラーコピーのときだけフチなしコピーができます。

〈アリ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：

エハガ゛キ（ゼ゛ンタイ） 04
◖□■□◗ フツウシ

2. 12 の操作に進みます。

〈ナシ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。
   用紙の種類で〈フツウシ〉が選ばれているときは、次のように表示されます。

例：

サイズ゛	：	＊ハガ゛キ
カミシュ	：〈	＊インクジ゛ェット 〉

［◄］か［►］で、〈インクジェット〉か〈フォト〉を選びます。

2. ［セット］を押します。

例：

エハガ゛キ（ゼ゛ンタイ）■ 01
◖□■□◗ フォト

3. 12 の操作に進みます。

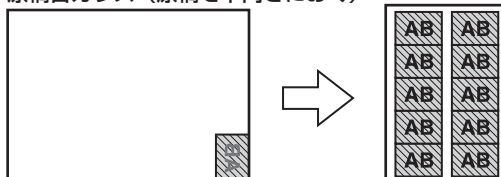
12 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

名刺を印刷する（名刺プリント）

1 枚の名刺があれば、A4 サイズの専用紙 1 枚に 10 枚コピーできます。

名刺サイズは 90.5 mm × 55 mm まで読み込むことができます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスの右下に名刺を縦にセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 用紙トレイに名刺用の専用紙をセットします。

- 用紙トレイに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- 画質は〈キレイ（フォト）〉しか選べません。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小は設定できません。

5 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

6 [◄] か [►] で、〈メイシ プリント〉を選びます。

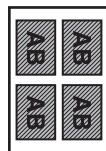
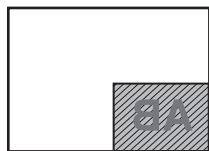
7 [セット] を押します。

例：
8 カラーコピーをする場合は [カラースタート] を押し、白黒コピーをする場合は [モノクロスタート] を押します。

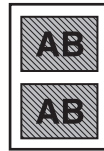
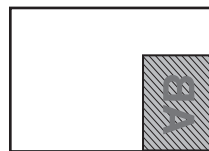
コピーを中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。

シールを作る（シールプリント）

L 判サイズの写真やイラストで、かんたんにシールを作ることができます。
シールタイプは４種類あります。

原稿台ガラス（原稿を下向きにおく）

シールタイプ：2×2

シールタイプ：4×4、3×3、2×2の場合

原稿台ガラス（原稿を下向きにおく）

シールタイプ：2×1の場合

２ × １： １枚に２面コピーされます。
２ × ２： １枚に４面コピーされます。
３ × ３： １枚に９面コピーされます。
４ × ４： １枚に 16 面コピーされます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 用紙トレイにシール専用紙をセットします。

- 用紙トレイに一度にセットできる枚数は 1 枚です。
- 用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- 画質は〈キレイ（フォト）〉しか選べません。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小は設定できません。

5 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

6 [◀] か [▶] で、〈シール プリント〉を選びます。

7 [セット] を押します。

例： ヨミトリハンイ:〈シャシン ゼ゛ンメン〉
シールタイプ゜: 4 × 4

8 [◀] か [▶] で、読み取り範囲を選びます。

シャシン ゼンメン： 画像全体が印刷されます。
シャシン チュウオウ：画像の中央部分だけが印刷されます。

⚠ 注意

〈シャシン ゼンメン〉を選んでも、原稿の端がやや欠けて印刷されます。

9 [セット] を押します。

例： ヨミトリハンイ: シャシン ゼ゛ンメン
シールタイプ゜:〈 4 × 4 〉

10 [◀] か [▶] で、シールの種類を選びます。

4 × 4 （16 面）
3 × 3 （9 面）
2 × 2 （4 面）
2 × 1 （2 面）

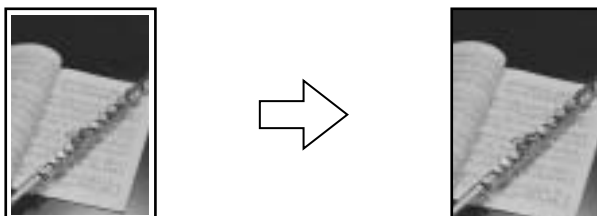
11 [セット] を押します。

例：

12 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

フチなし全面コピー（フチなしコピー）

フチなし全面コピーでは、画像のまわりにフチがでないように、用紙全体にコピーします。

- この機能は、カラーコピーのときだけ使えます。
- 画像は、用紙全体にコピーされるように少し拡大されるため、画像の周囲がわずかに欠けます。
- フチなし全面コピーを選ぶと、〈100%+〉、〈70%+〉のように「＋」記号が LCD ディスプレイに表示されます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- この機能は、用紙サイズを〈A4〉、〈LTR〉、〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉に設定したときだけ使うことができます。（→ 34 ページ）
- この機能は、用紙の種類を〈プロフォト〉、〈スーパーフォト〉、〈ソノタ フォト〉、〈コウタク〉または〈コウヒンイ〉に設定したときだけ使えます。（→ 34 ページ）
- 用紙の種類で〈ハガキ〉に設定したときは、インクジェット官製はがき、プロフェッショナルフォトはがきをお使いください。
- 画質は、〈キレイ（フォト）〉に設定されます。〈キレイ（フォト）〉以外を選ぶことはできません。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、38 ページをご覧ください。

5 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

```
5.オモシロ コピ゜ー
◀      2 in 1       ▶
```

6 ［◀］か［▶］で、〈フチナシ コピー〉を選びます。

```
5.オモシロ コピ゜ー
◀    フチナシ コピ゜ー    ▶
```

7 ［セット］を押します。

例：

```
100%+ A4     キレイ    01
フチナシ コピ゜ー
```

フチなしコピーで印刷できない用紙サイズや種類が選ばれているときは、次のように表示されます。

例：

```
サイズ゛  ： 〈   ＊A4     〉
カミシュ  ：    ＊プ゜ロフォト
```

［◀］か［▶］で〈A4〉、〈LTR〉〈ハガキ〉、〈L バン〉、〈2L バン〉の中から用紙サイズを選んで［セット］を押します。

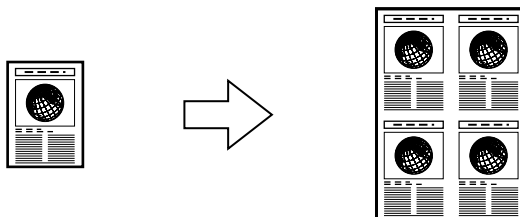
［◀］か［▶］で〈プロフォト〉、〈スーパーフォト〉、〈ソノタ フォト〉、〈コウタク〉、〈コウヒンイ〉の中から用紙の種類を選んで［セット］を押します。

8 ［カラースタート］を押します。

- 画像の大きさに合わせて、はみ出し量を調整できます。（→ 84 ページ）
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

画像を 1 枚の用紙にくり返しコピーする（イメージリピートコピー）

用紙に原稿をくり返しコピーできます。くり返す回数は、あらかじめ本機に設定されている回数を選ぶか、または手動で何回コピーするかを指定します。

重 要

- **手動で回数を決める場合は、コピーを開始する前に用紙のサイズを設定する必要があります。（→ 34 ページ）**
- **手動で回数を決める場合、コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を 4 回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。**

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

参考

- 用紙サイズと種類の設定は、34 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、38 ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の〈ジドウ ヘンバイ〉は選択できません。

5 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

6 [◄] か [►] で、〈イメージ リピート〉を選びます。

7 [セット] を押します。

イメーシ゛ リピ゜ート
◄ シ゛ ト゛ ウ ►

8 [◄] か [►] で、〈ジドウ〉または〈シュドウ〉を選びます。

〈ジドウ〉を選んだとき：

1. [セット] を押します。

例：

100%　A4　キレイ　01
リピ゜ート　シ゛ ト゛ ウ

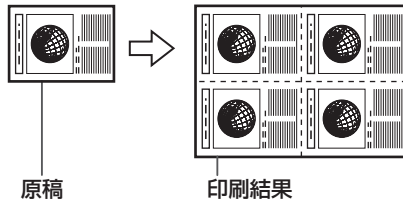
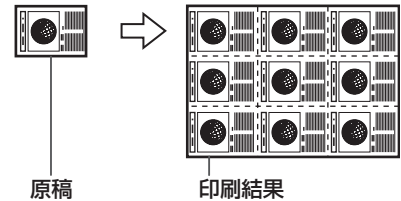
2. 9 の操作に進みます。

〈シュドウ〉を選んだとき：

1. 原稿をくり返しコピーする回数を決めます。

最大で縦４回、横４回です。

重要

コピーする原稿は、一区切り分におさまるサイズでなければなりません。たとえば、等倍で原稿を４回コピーするときの原稿サイズは、用紙サイズの 1/4 以内でなくてはなりません。

● 2×2くり返し　　　● 3×3くり返し

2. ［セット］を押します。

例：

タテ	〈　2　〉
ヨコ	2

3. ［◀］か［▶］で、縦方向にくり返す回数（最大４回）を選びます。

4. ［セット］を押します。

例：

タテ	2
ヨコ	〈　2　〉

5. ［◀］か［▶］で、横方向にくり返す回数（最大４回）を選びます。

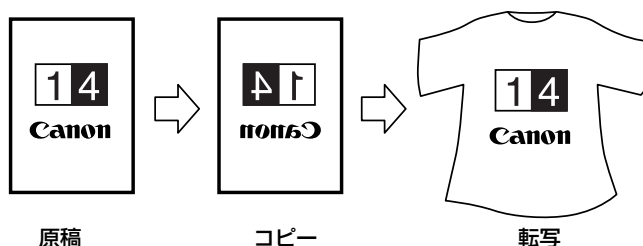
6. ［セット］を押します。

7. 9 の操作に進みます。

9 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

左右反転してコピーする（ミラープリント）

ミラープリントでは、原稿の画像を鏡に映したように左右を反転して印刷できます。ミラープリント機能を使ってTシャツ転写紙に印刷して、オリジナルのTシャツを作ることができます。

Tシャツに印刷したい場合は、Tシャツ転写紙を使用してください。（→22ページ）

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大99枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- 用紙サイズと種類の設定は、34ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、36ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、37ページをご覧ください。
- 拡大／縮小の選びかたは、38ページをご覧ください。

5 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

6 [◀] か [▶] で、〈ミラー プリント〉を選びます。

7 [セット] を押します。

8 カラーコピーをする場合は [カラースタート] を押し、白黒コピーをする場合は [モノクロスタート] を押します。

コピーを中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。

原稿の周囲が欠けないように少しだけ縮小してコピーする（全面画像コピー）

画像の周囲が欠けないようにコピーすることができます。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

2 ［コピー］を押します。

3 ［◄］か［►］またはテンキーで、コピー部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

4 必要に応じて、設定を調整します。

- 用紙サイズと種類の設定は、34 ページをご覧ください。
- 画質の選びかたは、36 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、37 ページをご覧ください。

5 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

6 ［◄］か［►］で、〈ゼンメン ガゾウ〉を選びます。

5.オモシロ コピ゜ー
◀ ゼ゛ンメン ガ゛ゾ゛ウ ▶

7 ［セット］を押します。

例：
90% A4 フツウ 01
ゼ゛ンメン ガ゛ゾ゛ウ

8 カラーコピーをする場合は［カラースタート］を押し、白黒コピーをする場合は［モノクロスタート］を押します。

- コピーを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- 原稿によっては、原稿の一部がコピーされないことがあります。

メモリカードから印刷しよう

本機にメモリカードを差し込み、いろいろな方法で印刷することができます。とくにフォトナビシートを使った印刷方法は、印刷する写真をかんたんに指定したり、設定ができるので便利です。

Step 1

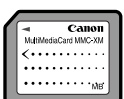
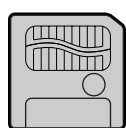
本機の電源コードをコンセントに差し込み、[電源]を押します。

Step 2

用紙トレイに用紙をセットします。(→ 30 ページ)

Step 3

メモリカードを差し込みます。(→ 60 ページ)

Step 4

印刷方法を選択します。
印刷方法は大きく分けて 3 通りあります。

- ●フォトナビシートを使った印刷(→ 62 ページ)
- ●すべての写真を印刷する全画像印刷(→ 66 ページ)
- ●写真を個別に印刷する指定印刷(→ 70 ページ)

使用できるメモリカード

次のメモリカードが使えます。
カードスロットに差し込む位置は、次のようになります。

左側のスロット		右側のスロット	
メモリースティック	マルチメディアカード	コンパクトフラッシュ Type Ⅰ / Ⅱ	xD Picture（ピクチャー）カード
スマートメディア	SD メモリカード	Microdrive メモリカード	

⚠ 警告

xD Picture（ピクチャー）カードを使用する場合は、CF カードアダプタ（市販品）にセットして使用してください。

重 要

- コンパクトフラッシュ Type Ⅰ / Ⅱは、3.3V のカードのみ対応しています。
- スマートメディアは、3.3V のカードのみ対応しています。2MB 以下のカードは、使用できません。
- デジタルカメラが対応していないメモリカードに保存されている画像は、読み込めない場合や画像データが破損する場合があります。デジタルカメラがどのメモリカードに対応しているかは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。
- メモリカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットしたメモリカードは使えないことがあります。
- PC パソコンでメモリカードの読み込みや書き込みを行うときは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。
- PC メモリカードのデータをパソコンで編集したときは、必ずパソコンから印刷してください。パソコンで編集した画像データをメモリカードに保存して、本機で印刷すると、正しく印刷されないことがあります。

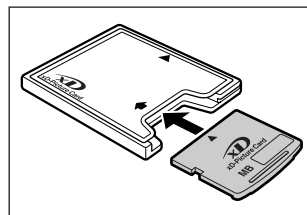
ファイル形式は JPEG（DCF/CIFF/Exif2.2 以下 /JFIF）フォーマットに対応しています。

メモリカードの差し込みかた

本機にメモリカードを差し込むには、メモリカードをそのままカードスロットに差し込む場合と、CF カードアダプタ（市販品）を使って差し込む場合の 2 通りあります。

注意

xD Picture（ピクチャー）カードを使用する場合は、CF カードアダプタ（市販品）に確実に差し込んでから、本機に差し込んでください。

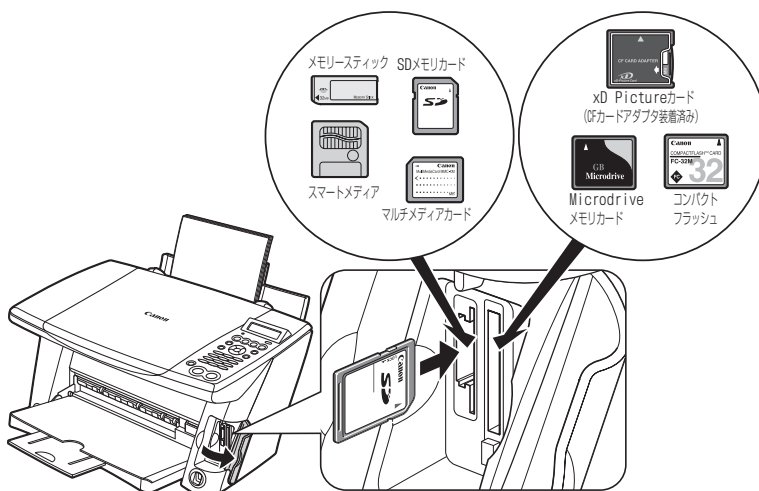
次のように操作してください。

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2 本機の右下にあるカードスロットカバーを開けます。

3 メモリカードまたは CF カードアダプタをカードスロットに差し込みます。

注意

- メモリカードを差し込むときは、無理に差し込まないでください。
- PC SD メモリカードをご使用の場合、差し込みかたによって、まれに書き込み禁止のロックがかかりパソコンからの書き込みができなくなることがあります。そのような場合は、SD メモリカードのロックを解除したあと、書き込み禁止ロックに注意して差し込んでください。

重要

メモリカードまたは CF カードアダプタを差し込むときは、表面（ラベル側）を外側にして差し込んでください。

- メモリカードが読み込まれないときは、次のことを確認してください。
  - メモリカードまたはCFカードアダプタは、カードスロットの奥までしっかりと差し込まれていますか？
  - 互換性のあるメモリカードを使っていますか？
  - メモリカードには画像ファイルが入っていますか？

メモリカードの取り出しかた

次のように操作してください。

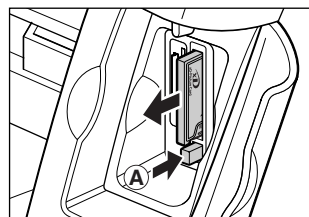
注意

- **メモリカードから印刷中に紙切れなどのエラーが起きたときは、メモリカードまたはCFカードアダプタを取り出さないでください。メモリカードの中のデータが壊れることがあります。**
- **アクセスランプの点灯中や点滅中にメモリカード、または CF カードアダプタを取り出さないでください。メモリカード内のデータが壊れることがあります。**

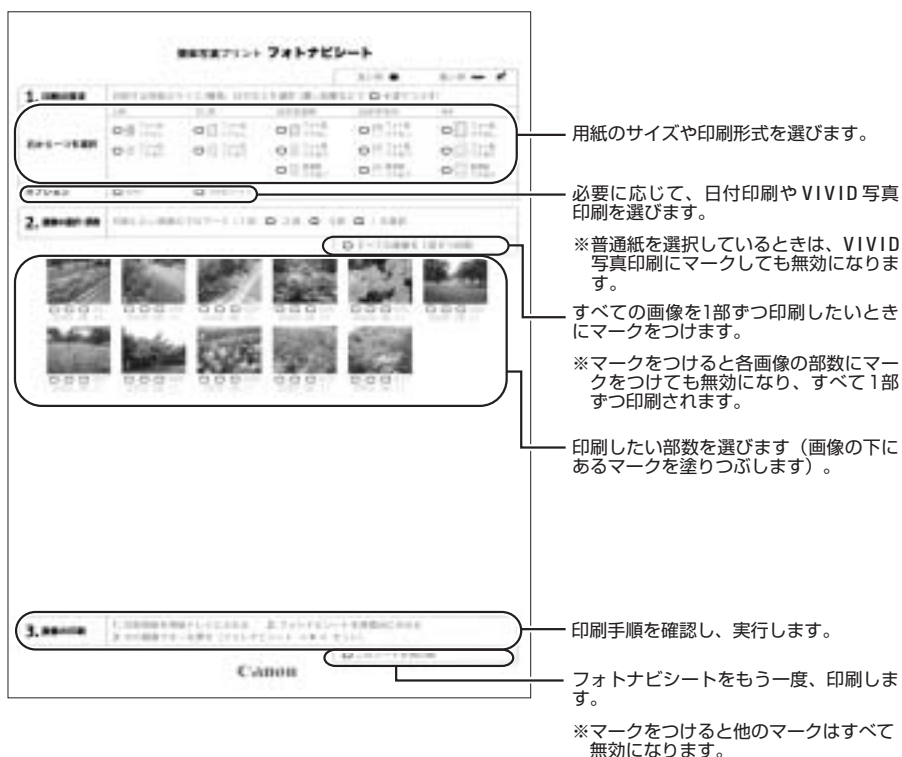
1 ［電源］を押して、本機の電源を切ります。

PC Windows 2000 でメモリカードに書き込んだときは、10 秒待ってから本機の電源を切ってください。

2 メモリカードを取り出します。

CF カードアダプタ、Microdrive メモリカード、またはコンパクトフラッシュを取り出すときは、スロットの下側にあるメモリカード取り出しボタンⒶを押して取り出してください。
メモリースティック、マルチメディアカード、スマートメディア、または SD メモリカードはそのまま取り出します。

例：CF カードアダプタ、Microdrive メモリカード、コンパクトフラッシュの場合

フォトナビシートを使って印刷しよう

本機では、フォトナビシートにマークをつけて印刷の設定をして、印刷したい写真を選ぶことにより、かんたんに写真を印刷することができます。マークをつけたフォトナビシートを読み込む（スキャンする）と、選択された画像が印刷されます。

VIVID 写真印刷とは、青や緑の多い画像を鮮やかに印刷できる機能です。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに A4 の用紙をセットします。

フォトナビシートを印刷するときは、白い紙を使用してください。

- 用紙の種類については 22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトナビシート］を押します。

【ﾌｫﾄ ﾅﾋﾞ ｼｰﾄ】
〈 ﾌﾟﾘﾝﾄ 〉 ｽｷｬﾝ

4 ［◀］か［▶］で、〈プリント〉を選びます。

【ﾌｫﾄ ﾅﾋﾞ ｼｰﾄ】
〈 ﾌﾟﾘﾝﾄ 〉 ｽｷｬﾝ

5 ［セット］を押します。

メモリカード内の画像が 30 枚以下のとき :

1. フォトナビシートが印刷されます。
2. 8 の操作に進みます。

メモリカード内の画像が 31 枚以上あるとき :

ｼｰﾄ (A4)
◀ ｾﾞﾝﾍﾟｰｼﾞ ▶

1. 6 の操作に進みます。

6 ［◀］か［▶］で、フォトナビシートに印刷する画像データの範囲を選びます。

ゼンページ：　すべての画像データをフォトナビシートに印刷します。
サイシン ノ ガゾウ：　最新の日付を基準に枚数を指定して印刷します。
ハンイ シテイ：　画像データの日付の範囲を指定して印刷します。

〈ゼンページ〉を選んだとき：

1. 7 の操作に進みます。

〈サイシン ノ ガゾウ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

ｼｰﾄ (A4)
◀ ｻｲｼﾝ 30 ｶﾞｿﾞｳ ▶

2. ［◀］か［▶］で、最新の画像データを基準にして、何枚めまでを印刷するかを選びます。

サイシン 30 ガゾウ：　最新の画像データから数えて 30 枚めまでを印刷します。
サイシン 60 ガゾウ：　最新の画像データから数えて 60 枚めまでを印刷します。
サイシン 90 ガゾウ：　最新の画像データから数えて 90 枚めまでを印刷します。
サイシン 120 ガゾウ：最新の画像データから数えて 120 枚めまでを印刷します。
サイシン ノ ヒヅケ：　いちばん新しい日付の画像データを印刷します。

3. 7 の操作に進みます。

〈ハンイ シテイ〉を選んだとき：

1.［セット］を押します。

例：
```
コノ ヒヅ゛ケ カラ
◀     2003/06/02     ▶
```

2. ［◀］か［▶］で、最初の日付を選びます。

例：
```
コノ ヒヅ゛ケ カラ
◀     2003/06/04     ▶
```

3.［セット］を押します。

例：
```
コノ ヒヅ゛ケ マデ゛
◀     2003/06/04     ▶
```

4. ［◀］か［▶］で、最後の日付を選びます。

例：
```
コノ ヒヅ゛ケ マデ゛
◀     2003/06/08     ▶
```

5. 7 の操作に進みます。

7 ［セット］を押します。

例：
```
シート （A4）
プ゛リント チュウ　P.001/002
```

フォトナビシートが印刷されます。

31 枚以上の画像を印刷する場合は、複数枚のフォトナビシートが印刷されます。

8 フォトナビシートのマーク（⬭）を、濃い鉛筆などで塗りつぶして写真の選択や設定をします。

良い例

悪い例

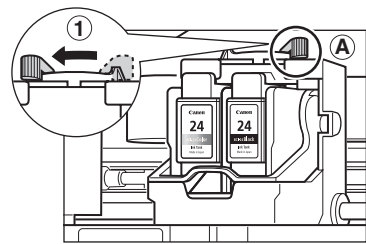
チェックマーク　線のみ　うすい

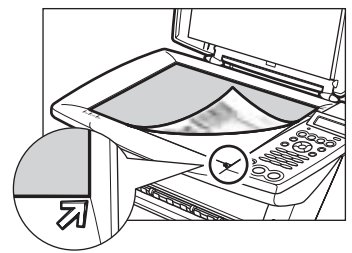
重要

- 各項目で、もれがないように必ずマークを塗りつぶしてください。
- フォトナビシートが複数枚あるときは、それぞれのシートのマークを塗りつぶしてください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。

9 フォトナビシートで選んだ用紙を用紙トレイにセットします。

フォトナビシートを使って画像を印刷する場合の用紙の種類は、L 判、2L 判、はがき、A4 が選べます。

10 紙間選択レバーⒶを左側にします①。

11 フォトナビシートを原稿台の上にセットします。

マークを塗りつぶした面を下にして、フォトナビシートの左上が原稿台ガラスの右下にある矢印にぴったりと合うようにセットします。

⚠ 注意

原稿台の上にセットするときは、方向を間違えないようにしてください。

12 ［フォトナビシート］を押します。

13 ［◄］か［►］で、〈スキャン〉を選びます。

【フォト ナビ゛ シート】
　プ゜リント　　〈 スキャン 〉

14 ［セット］を押します。

フォトナビシートが読み込まれ、指定した写真が印刷されます。

重要

- LCD ディスプレイに〈タダシクヨミトレマセンデシタ〉と表示された場合は、［セット］を押してフォトナビシートにチェックマークもれがないか確認してください。
- 塗りつぶしたマークが薄いと読み込まれないことがあります。
- 印刷中にメモリカードを抜かないでください。
- 原稿台ガラスが汚れている場合、読み込まれないことがあります。（→ 142 ページ）

参考

- 印刷を中止したい場合は、［ストップ／リセット］を押します。
- 2 枚目以降のフォトナビシートを使用して印刷したいときは、8 から操作をしてください。
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

すべての写真を印刷する（全画像印刷）

フォトナビシート（→ 62 ページ）を使わず、メモリカードの中の写真をすべて 1 枚ずつ印刷します。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに写真プリントで使用できる用紙をセットします。

参考

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトプリント］を押します。

4 ［メニュー］を押します。

例：

1．フォト プ゜リント モード゛
◀ ＊インデ゛ックス ▶

5 ［◀］か［▶］で、〈ゼンガゾウ〉を選びます。

1．フォト プ゜リント モード゛
◀ セ゛ンガ゛ゾ゛ウ ▶

6 ［セット］を押します。

例：

2．ヨウシ サイズ゛ センタク
◀ ＊A4 ▶

7 ［◀］か［▶］で、用紙のサイズを選びます。

A4： A4 サイズ
LTR： レターサイズ
L バン： 写真 L 判
2L バン： 写真 2L 判
ハガキ： はがき

〈A4〉、〈LTR〉、〈L バン〉、〈2L バン〉を選んだとき：

1. 8 の操作に進みます。

〈ハガキ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

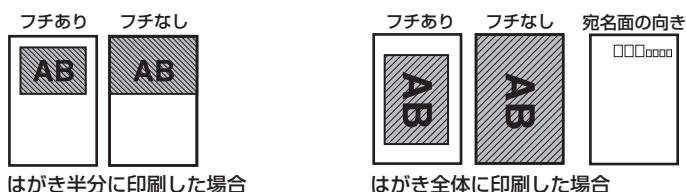
例：

3．レイアウト
◀＊ハガ゛キハンブ゛ンニ プ゜リント ▶

2. [◀] か [▶] で、はがきの半分に印刷するか、全体に印刷するかを選びます。

ハガキハンブンニ プリント：はがきの上半分に写真を印刷します。
ハガキゼンタイニ プリント：はがき全体に写真を印刷します。

フチあり　フチなし
AB　AB
はがき半分に印刷した場合

フチあり　フチなし　宛名面の向き
AB　AB
はがき全体に印刷した場合

フチあり／なしの設定は 11 を参照してください。

3. 8 の操作に進みます。

8 [セット] を押します。

例：

3.ヨウシ　シュルイ　センタク
◀　　＊プ゜ロフォト　　▶

9 [◀] か [▶] で、用紙の種類を選びます。

プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
フツウシ：	普通紙に適しています。
コウヒンイ センヨウシ：	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー：	スーパーフォトペーパーに適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
ソノタ フォトペーパー：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにプリントしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをお勧めします。
フツウシハガキ：	普通紙はがきに適しています。
インクジェットハガキ：	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト ハガキ：	フォト光沢はがきやプロフェッショナルフォトはがきに適しています。

参考

- 7 の操作で、L 判、2L 判を選んだときは、〈プロフォト〉、〈スーパーフォトペーパー〉、または〈ソノタ フォトペーパー〉のみ有効になります。
- 7 の操作で、はがきを選んだときは、〈フツウシハガキ〉、〈インクジェットハガキ〉、または〈フォト ハガキ〉のみ有効になります。

10 [セット] を押します。

11 フチなし全面印刷をするかどうかを選びます。(→ 84 ページ)

参考

- 9 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、フチなし全面印刷は選べません。
- フチなしはみ出し量については、84 ページをご覧ください。

12 [セット] を押します。

13 日付印刷をするかどうかを選びます。(→ 86 ページ)

14 [セット] を押します。

15 VIVID 写真印刷をするかどうかを選びます。(→ 85 ページ)

9 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、VIVID 写真印刷は選べません。

16 [セット] を押します。

例：

```
【ゼンガゾウ】
プロ A4
```

17 [カラースタート] を押します。

- 印刷を中止するときは、[ストップ／リセット] を押します。
- [モノクロスタート] を押しても印刷は開始されません。
- 用紙サイズに合うように、自動的に拡大・縮小して印刷されます。用紙の種類によっては、フチなし全面印刷でなくても、写真の端が切れてしまうことがあります。
- LCD ディスプレイに〈100 マイ イジョウ インサツ〉と表示された場合は、[◀] を押すと印刷が開始され、[▶] を押すと中止されます。

5 メモリカードから印刷しよう

写真を個別に印刷する（指定印刷）

フォトナビシート（→ 62 ページ）を使わず、メモリカードに入っている写真の印刷設定を個別に選び、さまざまな目的に合わせて印刷することができます。主な操作の流れを次に示します。

メモリカード内の画像を一覧にして印刷し、メモリカードに入っている写真を確認する。（インデックス印刷）
インデックス印刷をすると、メモリカードに保存されている画像の一覧を見ることができます。（→ 71 ページ）

↓

印刷方法を指定します。

↓

1 画像印刷
メモリカードに保存されている画像から、指定した画像を印刷します。（→ 73 ページ）

↓

画像番号を指定します。

↓

部数を指定します。

範囲指定印刷
メモリカードに保存されている画像から指定した範囲の画像を印刷します。
（→ 78 ページ）

↓

印刷する範囲を指定します。

デジタルカメラの設定にしたがって印刷する。（DPOF 印刷）
あらかじめ、DPOF 対応のデジタルカメラで印刷方法を設定します。
※セットしたメモリカードにDPOFの設定情報が保存されている場合は、DPOF マークが表示されます。
（→ 82 ページ）

↓

用紙サイズを選択します。

↓

用紙の種類を選択します。

↓

フチあり／なしを選択します。

↓

日付印刷のする／しないを選択します。（1 画像印刷・範囲指定印刷のみ）

↓

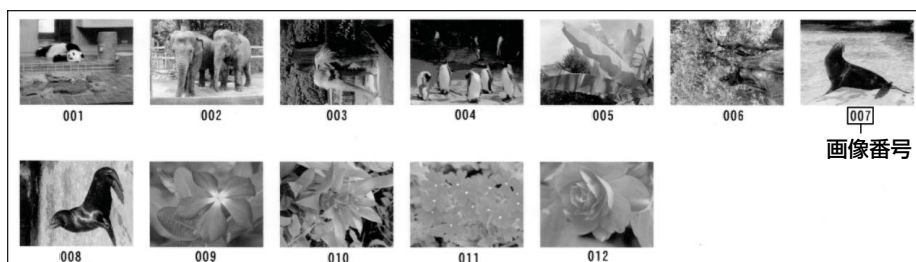
VIVID 写真印刷のする／しないを選択します。

↓

印刷が開始されます。

- ファイルサイズが大きすぎる（解像度が 4800 dpi × 3600 dpi 以上）と、写真を印刷できないことがあります。パソコンを使って印刷してください。（→ 119 ページ）
- VIVID 写真印刷については、85 ページをご覧ください。
- VIVID 写真印刷とフチなし全面印刷は、用紙の種類に普通紙か普通紙はがきを選んだときには、印刷できません。
- 日付印刷は DPOF 印刷、または 1 画像印刷で〈シール〉を選んだときは、印刷できません。（→ 73、82 ページ）

画像の一覧を印刷する（インデックス印刷）

インデックス印刷で、メモリカードに保存されている写真の一覧を印刷できます。1 枚ずつ写真を印刷しなくても、メモリカードにどんな写真が入っているかがわかって便利です。インデックスを印刷すると、それぞれの写真に画像番号が付きます。写真を引き伸ばして印刷するときに、この番号を使います。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトプリント］を押します。

4 ［メニュー］を押します。

例：

1.フォト プ゛リント モート゛
◀ ＊インデ゛ックス ▶

5 ［◀］か［▶］で、〈インデックス〉を選びます。

1.フォト プ゛リント モート゛
◀ ＊インデ゛ックス ▶

5

メモリカードから印刷しよう

6 [セット] を押します。

例：

```
2.ヨウシ サイズ゛ センタク
◀      ＊A4      ▶
```

7 [◀] か [▶] で、用紙のサイズを選びます。

A4： A4 サイズ
LTR： レターサイズ
L バン： 写真 L 判
2L バン： 写真 2L 判
ハガキ： はがき

8 [セット] を押します。

例：

```
3.ヨウシ シュルイ センタク
◀     ＊プ゜ロフォト     ▶
```

9 [◀] か [▶] で、用紙の種類を選びます。

プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
フツウシ：	普通紙に適しています。
コウヒンイ センヨウシ：	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー：	スーパーフォトペーパーに適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
ソノタ フォトペーパー：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。
フツウシハガキ：	普通紙はがきに適しています。
インクジェットハガキ：	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト ハガキ：	フォト光沢はがきやプロフェッショナルフォトはがきに適しています。

参考

- 7 の操作で、L 判、2L 判を選んだときは、〈プロフォト〉、〈スーパーフォトペーパー〉、または〈ソノタ フォトペーパー〉のみ有効になります。
- 7 の操作で、はがきを選んだときは、〈フツウシハガキ〉、〈インクジェットハガキ〉、または〈フォト ハガキ〉のみ有効になります。

10 [セット] を押します。

11 日付印刷をするかどうかを選びます。(→ 86 ページ)

12 ［セット］を押します。

13 VIVID 写真印刷をするかどうかを選びます。（→ 85 ページ）

9 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、VIVID 写真印刷は選べません。

14 ［セット］を押します。

例：

```
【インデ゛ックス】　　　　　13
プ゛ロ　A4
```

15 ［カラースタート］を押します。

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- インデックスは、一度に 1 部しか印刷できません。
- 写真にふられる画像番号は、デジタルカメラによって割り当てられる ID 番号とは異なります。
- 写真の代わりに「？」が印刷されたときは、150 ページをご覧ください。
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

画像を 1 枚だけ選んで印刷する（1 画像印刷）

1 画像印刷では、メモリカードに保存されている写真を 1 枚だけ選んで印刷できます。あらかじめインデックスを印刷して、印刷したい写真を選び、画像番号をチェックしておいてください。インデックスを印刷する方法は、71 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトプリント］を押します。

4 ［メニュー］を押します。

例：

1.フォト プ゜リント モード゛
◀ ＊インデ゛ックス ▶

5 ［◀］か［▶］で、〈1 ガゾウ〉を選びます。

1.フォト プ゜リント モード゛
◀ 1ガ゛ゾ゛ウ ▶

6 ［セット］を押します。

例：

2.ファイル センタク
◀ 001 ▶

7 ［◀］か［▶］またはテンキーで、画像番号を指定します。

［◀］か［▶］を押したままにすると、番号が次々と切りかわります。

1 画像印刷を始める前に、インデックスを印刷して（→ 71 ページ）、画像番号をチェックしておいてください。

8 ［セット］を押します。

例：

3.ブ゛スウ
◀ 1マイ ▶

9 ［◀］か［▶］またはテンキーで、印刷する部数（最大 99 枚）を指定します。

用紙トレイに一度にセットできる枚数については、22 ページをご覧ください。

10 ［セット］を押します。

例：

4.ヨウシ サイズ゛ センタク
◀ ＊A4 ▶

11 ［◀］か［▶］で、用紙のサイズを選びます。

A4：　A4 サイズ
LTR：　レターサイズ
L バン：　写真 L 判
2L バン：　写真 2L 判
ハガキ：　はがき
シール：　シール

〈A4〉、〈LTR〉、〈L バン〉、〈2L バン〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：

```
5. ヨウシ　シュルイ　センタク
◀　　*ソノタ　フォトペ゜ーパ゜ー　▶
```

2. 12 の操作に進みます。

〈ハガキ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：

```
5. レイアウト
◀*ハガ゛キハンフ゛ンニ　フ゜リント　▶
```

2. ［◀］か［▶］で、はがきの上半分に印刷するか、全体に印刷するかを選びます。

ハガキハンブンニ プリント：はがきの上半分に写真を印刷します。
ハガキゼンタイニ プリント：はがき全体に写真を印刷します。

はがき半分に印刷した場合

はがき全体に印刷した場合

フチあり／なしの設定は 14 を参照してください。

3. ［セット］を押します。

例：

```
6. ヨウシ　シュルイ　センタク
◀　　　フツウシハガ゛キ　　　▶
```

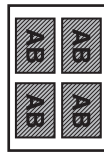
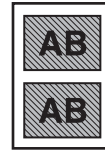
4. 12 の操作に進みます。

〈シール〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：

シールタイプ
◀　　　4 x 4　　　▶

2. ［◀］か［▶］で、シールの種類を選びます。
   4 × 4：16 面
   3 × 3：9 面
   2 × 2：4 面
   2 × 1：2 面

シールタイプ：2×2の場合

シールタイプ：2×1の場合

3. 19 の操作に進みます。

12 ［◀］か［▶］で、用紙の種類を選びます。

プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
フツウシ：	普通紙に適しています。
コウヒンイ センヨウシ：	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー：	スーパーフォトペーパーに適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
ソノタ フォトペーパー：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。
フツウシハガキ：	普通紙はがきに適しています。
インクジェットハガキ：	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト ハガキ：	フォト光沢はがきやプロフェッショナルフォトはがきに適しています。

- 11 の操作で、L 判、2L 判を選んだときは、〈プロフォト〉、〈スーパーフォトペーパー〉、または〈ソノタ フォトペーパー〉のみ有効になります。
- 11 の操作で、はがきを選んだときは、〈フツウシハガキ〉、〈インクジェットハガキ〉、または〈フォト ハガキ〉のみ有効になります。

13 ［セット］を押します。

14 フチなし全面印刷をするかどうかを選びます。（→ 84 ページ）

- 12 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、フチなし全面印刷は選べません。
- フチなしはみ出し量については、84 ページをご覧ください。

15 ［セット］を押します。

16 日付印刷をするかどうかを選びます。（→ 86 ページ）

17 ［セット］を押します。

18 VIVID 写真印刷をするかどうかを選びます。（→ 85 ページ）

12 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、VIVID 写真印刷は選べません。

19 ［セット］を押します。

［◀］か［▶］で、設定内容を確認できます。

例：

【1ガ゛ゾ゛ウ】	【1ガ゛ゾ゛ウ】
フツウシ　A4 ▶	◀ No.001　01

20 ［カラースタート］を押します。

参考

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- 用紙サイズに合うように自動的に拡大・縮小して印刷されます。用紙の種類によっては、フチなし全面印刷でなくても、写真の端が切れてしまうことがあります。
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

連続した画像の範囲を指定して印刷する（範囲指定印刷）

範囲指定印刷では、メモリカードに保存されている写真の中から、連続している一部の写真だけを選んで印刷することができます。あらかじめインデックスを印刷して、何番から何番まで印刷したいかチェックしておいてください。また日付を指定して印刷することもできます。インデックスを印刷する方法は、71 ページをご覧ください。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに用紙をセットします。

参考

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトプリント］を押します。

4 ［メニュー］を押します。

例：
```
1.フォト プ リント モード
◀      *インデ ックス      ▶
```

5 ［◀］か［▶］で、〈ハンイ シテイ〉を選びます。

```
1.フォト プ リント モード
◀      ハンイ シテイ      ▶
```

6 ［セット］を押します。

7 ［◀］か［▶］で、〈ガゾウ バンゴウ〉または〈ヒヅケ〉を選びます。

〈ガゾウ バンゴウ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：
2. ［◀］か［▶］またはテンキーで、最初の写真の画像番号を指定します。
   ［◀］か［▶］を押したままにすると、番号が次々と切りかわります。
   範囲指定印刷を始める前に、インデックスを印刷して（→ 71 ページ）、画像番号をチェックしておいてください。
3. ［セット］を押します。

例：
4. ［◀］か［▶］またはテンキーで、最後の写真の画像番号を指定します。
   ［◀］か［▶］を押したままにすると、番号が次々と切りかわります。
5. 8 の操作に進みます。

〈ヒヅケ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：
3.コノ ヒヅケ カラ
2003/06/02 ▶

2. ［◀］か［▶］で、最初の日付を選びます。
   ［◀］か［▶］を押したままにすると、日付が次々と切りかわります。
   範囲指定印刷を始める前に、インデックスを印刷して（→ 71 ページ）、画像の日付をチェックしておいてください。
3. ［セット］を押します。

例：
4.コノ ヒヅケ マデ
◀ 2003/06/08

4. ［◀］か［▶］で、最後の日付を選びます。
   ［◀］か［▶］を押したままにすると、日付が次々と切りかわります。
5. 8 の操作に進みます。

8 ［セット］を押します。

例：

9 ［◀］か［▶］で、用紙のサイズを選びます。

A4：　A4 サイズ
LTR：　レターサイズ
L バン：　写真 L 判
2L バン：写真 2L 判
ハガキ：　はがき

〈A4〉、〈LTR〉、〈L バン〉、〈2L バン〉を選んだとき：

1. 10 の操作に進みます。

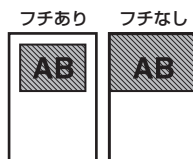
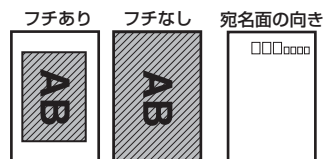
〈ハガキ〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。

例：
6 . レイアウト
◀*ハガ゛キハンブ゛ンニ　プ゜リント ▶

2. ［◀］か［▶］で、はがきの上半分に印刷するか、全体に印刷するかを選びます。

ハガキハンブンニ プリント：はがきの上半分に写真を印刷します。

ハガキゼンタイニ プリント：はがき全体に写真を印刷します。

はがき半分に印刷した場合

はがき全体に印刷した場合

3. 10 の操作に進みます。

10 ［セット］を押します。

11 [◀] か [▶] で、用紙の種類を選びます。

プロフォト：	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
フツウシ：	普通紙に適しています。
コウヒンイ センヨウシ：	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー：	スーパーフォトペーパーに適しています。
コウタク：	フォト光沢紙に適しています。
ソノタ フォトペーパー：	上記用紙以外のフォト紙のとき、または用紙の種類がよくわからないときに選びます。
フツウシハガキ：	普通紙はがきに適しています。
インクジェットハガキ：	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト ハガキ：	フォト光沢はがきやプロフェッショナルフォトはがきに適しています。

参考

- 9 の操作で、L 判、2L 判を選んだときは、〈プロフォト〉、〈スーパーフォトペーパー〉、または〈ソノタ フォトペーパー〉のみ有効になります。
- 9 の操作で、はがきを選んだときは、〈フツウシハガキ〉、〈インクジェットハガキ〉、または〈フォト ハガキ〉のみ有効になります。

12 [セット] を押します。

13 フチなし全面印刷をするかどうかを選びます。(→ 84 ページ)

参考

- 11 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、フチなし全面印刷は選べません。
- フチなしはみ出し量については、84 ページをご覧ください。

14 [セット] を押します。

15 日付印刷をするかどうかを選びます。(→ 86 ページ)

16 [セット] を押します。

17 VIVID 写真印刷をするかどうかを選びます。(→ 85 ページ)

11 の操作で普通紙、または普通紙はがきを選んだときは、VIVID 写真印刷は選べません。

18 ［セット］を押します。

［◀］か［▶］で、設定内容を確認できます。

例：

【ハンイ　シテイ】 プ゜ロ　A4▮　▶	【ハンイ　シテイ】 ◀　No.001-005

19 ［カラースタート］を押します。

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- 用紙サイズに合うように、自動的に拡大・縮小して印刷されます。用紙の種類によっては、フチなし全面印刷でなくても、写真の端が切れてしまうことがあります。
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

カメラの設定にしたがって印刷する（DPOF 印刷）

DPOF（Digital Print Order Format）印刷では、デジタルカメラで DPOF の設定をした写真を印刷します。

DPOF 機能の設定のしかたは、デジタルカメラに付属している取扱説明書をご覧ください。

本機がサポートする DPOF 機能は次のとおりです。
●選んだ画像の印刷
●印刷スタイル（1 枚ずつの写真印刷、インデックス印刷）
●写真ごとの日付印刷／画像番号、インデックスへの日付、または画像番号の印刷
●印刷部数の指定
これ以外の DPOF 機能（撮影情報、トリミングなど）はサポートしていません。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れ、用紙トレイに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

2 メモリカードを差し込みます。（→ 60 ページ）

3 ［フォトプリント］を押します。

DPOF を指定したメモリカードをセットすると、LCD ディスプレイに〈DPOF〉と表示されます。

例：

```
【DPOF】
プ ロ  A4
```

- 用紙のサイズや種類を設定してから印刷したいときは、メモリカードをセットしてから［メニュー］→［セット］の順に押すと設定ができます。設定が終わったら［カラースタート］を押してください。
- 本機では、DPOF の設定と組み合わせて次の機能も設定できます。
  - 用紙サイズ
  - 用紙種類
  - フチなし
  - VIVID 写真印刷

4 ［カラースタート］を押します。

DPOF の設定で印刷されます。

- 印刷を中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。
- ［モノクロスタート］を押しても印刷は開始されません。

お好みにあわせた設定

本機では、写真にフチをつけないで用紙全体に印刷したり、風景写真の青や緑をより鮮明に印刷したりするなど、お好みにあわせて印刷効果を設定できます。

用紙全体に画像データを印刷する（フチなし全面印刷）

フチなし全面印刷にすると、印刷するときに写真にフチをつけないで、用紙全体に印刷することができます。

フチなし

フチあり

フチなし全面印刷の設定をするとき：

1. フォトプリントの設定中に、〈フチナシ プリント〉が表示されます。

例：
```
4．フチナシ　プ゜リント
◀　　　　　シナイ　■　　　▶
```

メニュー番号はフォトプリントの設定によってかわります。

2. ［◀］か［▶］で、フチなし全面印刷をするかどうかを選びます。

シナイ：フチありで印刷します。
スル：　フチなしで印刷します。

- フチなし全面印刷にすると、用紙全体に画像が印刷されます。用紙全体に印刷されるので、印刷される画像の端は、用紙からはみ出て印刷されますが、その幅を調整することもできます。
- フチなし全面印刷はインデックス印刷、または用紙の種類が普通紙、普通紙はがきのときは設定することができません。

全面印刷のはみ出し幅を調整するとき：

1. ［ユーザモード］を押します。
2. ［◀］か［▶］で、〈5. フチナシ ハミダシリョウ〉を選びます。

```
ユーザ゛デ゛ータ
  5．フチナシ　ハミダ゛シリョウ
```

3. ［セット］を押します。

例： フチナシ　ハミダシリョウ
　　　　　　　　　　チイサイ

4. ［◀］か［▶］で、原稿が用紙からはみ出す幅を選びます。

チイサイ：原稿からはみ出す幅が少なくなります。
オオキイ：原稿からはみ出す幅が大きくなります。

5. ［セット］を押します。

6. ［ストップ／リセット］を押して、もとの操作に戻ります。

青や緑の多い画像を鮮やかに印刷する（VIVID 写真印刷）

VIVID 写真印刷にすると、青や緑をより鮮明に印刷することができます。正確な露出で撮影されていない写真にも効果的です。

VIVID 写真印刷の設定をするとき：

1. フォトプリントの設定中に、〈VIVID フォト プリント〉が表示されます。

例： 6.VIVID フォト プリント
◀　　　シナイ　　　▶

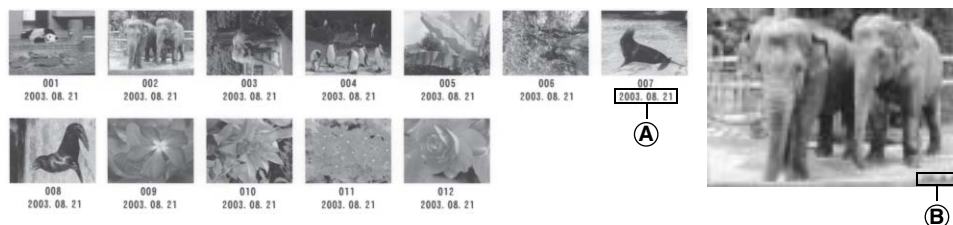
メニュー番号はフォトプリントの設定によってかわります。

2. ［◀］か［▶］で、VIVID 写真印刷をするかどうかを選びます。

シナイ：VIVID 印刷を設定しません。
スル：　VIVID 印刷を設定します。

- VIVID 写真印刷にすると、通常よりも印刷に時間がかかります。
- VIVID 写真印刷は、用紙の種類が普通紙または普通紙はがきのときは、設定することはできません。

デジタルカメラで撮影された日付を印刷する（日付印刷）

デジタルカメラで撮影された日付を、インデックスの各写真の下Ⓐか、写真の右下Ⓑに印刷できます。

日付印刷の設定をするとき：

1. フォトプリントの設定中に、〈ヒヅケ インサツ〉が表示されます。

例：
メニュー番号はフォトプリントの設定によってかわります。

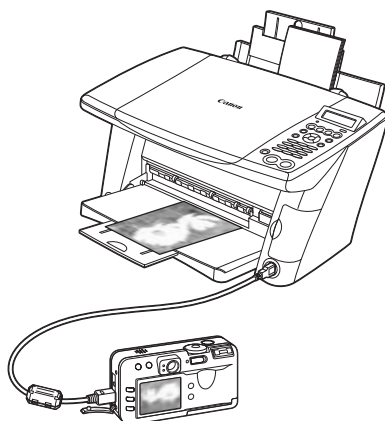
2. ［◀］か［▶］で、日付印刷をするかどうかを選びます。

シナイ：日付をつけないで印刷します。
スル：　日付をつけて印刷します。

- この設定を有効にすると、通常よりも印刷に時間がかかります。
- 日付印刷は DPOF 印刷、または 1 画像印刷の用紙の種類が〈シール〉のときは、設定することができません。（→ 73、82 ページ）

6章 デジタルカメラと直接つないで印刷しよう

本機にデジタルカメラ（デジタルビデオカメラを含む）を接続することで、パソコンを接続しなくても、デジタルカメラからの操作で写真を直接印刷することができます。
接続するには、デジタルカメラ付属のUSBケーブルをお使いください。

参考

- 本機と接続して写真を直接印刷できるのは、"PictBridge"対応、またはキヤノン"Bubble Jet Direct"対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。"PictBridge"について詳しくは、『PictBridgeでかんたん写真印刷』を参照してください。
- デジタルカメラと直接接続して印刷するときは、デジタルカメラで操作します。
- デジタルカメラを接続して印刷する場合、バッテリーが充電されていることを確認してからお使いください。バッテリーが少ないときは家庭用電源をお使いください。

使用できる用紙について

キヤノン製の次の専用紙を使用できます。

デジタルカメラの用紙（ペーパー）設定	本機にセットする用紙
L判	• プロフェッショナルフォトペーパー PR-101　L • スーパーフォトペーパー SP-101　L
2L判	• プロフェッショナルフォトペーパー PR-101　2L • スーパーフォトペーパー SP-101　2L
はがきサイズ	プロフェッショナルフォトはがき　PH-101
A4サイズ	• プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 • スーパーフォトペーパー SP-101
カードサイズ	プロフェッショナルフォトカード PC-101C

重要

用紙を用紙トレイにセットするときは、より光沢のある面を上にしてください。

デジタルカメラから直接印刷する

本機にデジタルカメラを接続して印刷する手順を説明します。

重要

- 本機を使用しているときに、USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- コピー、スキャナ、ファクス、プリントで使用中は本機とデジタルカメラを接続しないでください。

次のように操作してください。

1 本機の電源を入れます。

2 使用する用紙の種類に合わせて紙間選択レバーを切りかえます。

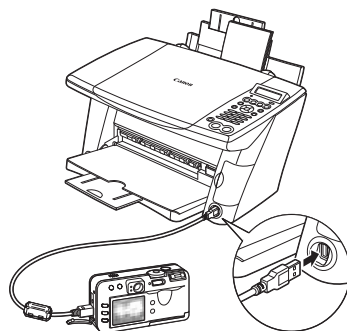
紙間選択レバーの詳しい設定手順については、28 ページをご覧ください。

3 用紙トレイに用紙をセットします。

- 用紙の種類については、22 ページをご覧ください。
- 用紙のセットのしかたについては、30 ページをご覧ください。

4 デジタルカメラの電源がオフになっていることを確認します。

5 デジタルカメラに付属している USB ケーブルを使って、デジタルカメラと本機を接続します。

接続が完了すると、自動的にデジタルカメラの電源が入ります。電源が自動的に入らない機種をお使いの場合は、手動で電源を入れてください。

6 デジタルカメラの再生モードで、印刷したい写真データを表示します。

再生モードに切りかわらないときは、デジタルカメラに付属の取扱説明書にしたがって再生モードに切りかえてください。

正しく接続されると、デジタルカメラの液晶モニターに が表示され、LCD に次のように表示されます。

例：

```
カメラダ゛イレクトモード゛
カラー        クロ
```

7 デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

デジタルカメラの液晶モニターにプリント設定画面が表示されます。

8 ［スタイル］を選び、用紙サイズ（ペーパー）、フチあり／なし、日付印刷のオン／オフなどを指定します。

9 印刷枚数を指定して［プリント］を選び、デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

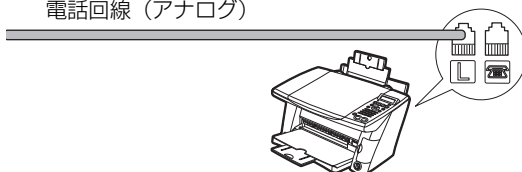
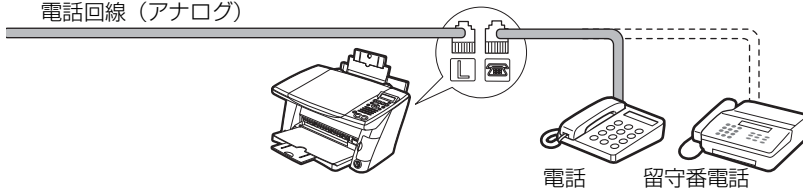
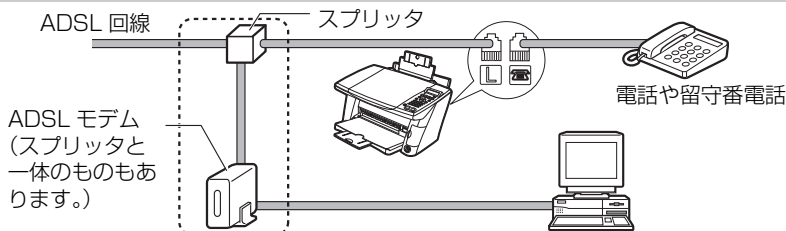
印刷が開始されます。

- デジタルカメラの操作については、デジタルカメラ付属の取扱説明書を参照してください。
- 印刷時のエラー表示と対処方法については、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（→ 167 ページ）を参照してください。
- デジタルビデオカメラの操作、印刷時のエラー表示と対処方法については、デジタルビデオカメラに付属の取扱説明書も参照してください。
- デジタルカメラの操作で、次の印刷ができます。
  - DPOF のプリント設定により、設定した写真を設定枚数印刷したり、インデックスプリントすることができます。
  - Exif2.2対応デジタルカメラで撮影した画像は、オートフォーマットパーフェクト機能で自動的に補正します。
  - デジタルカメラの操作パネルで日付設定を有効にしている画像（インデックスプリントを除く）は、日付付きで印刷されます。
  - デジタルカメラで撮影した画像は、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小して印刷されます。
- デジタルカメラの操作で、次の機能は使用できません。
  - 印刷品位の設定
  - メンテナンス機能
    デジタルカメラ側からプリントヘッドの位置は調整できません。本機の操作パネルから調整してください。（→ 139 ページ）
- デジタルカメラと本機の USB ケーブルを取り外すときは、次のように操作してください。
  1. 本機側の USB ケーブルを取り外す。
  2. デジタルカメラの電源を切る。
  3. デジタルカメラ側の USB ケーブルを取り外す。
- USB ケーブルを取り外すときは、必ずコネクタの側面を持ってください。

7章 ファクスの基本的な設定

基本的な設定 本機の操作パネルを使ってファクスを送受信するための基本的な設定をします。

本機の接続例 本機の接続方法の代表的な例をご紹介します。間違った接続をするとファクスの送受信ができませんので、正しく接続してください。

ファクス専用で使用する

電話や留守番電話と接続して使用する

ADSL 回線に接続して使用する

詳しくは、ADSL モデムに付属している取扱説明書をご覧ください。

この接続方法は代表例です。すべての接続を保証するものではありません。

ISDN 回線に接続して使用する

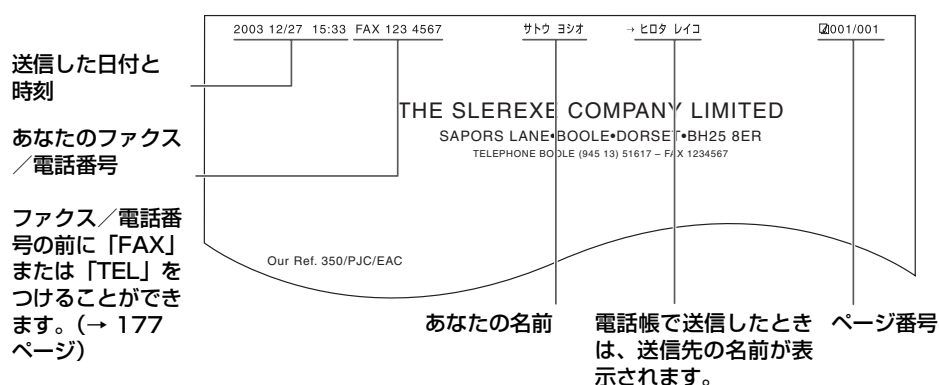
ISDN 回線を使用する場合の接続と設定のしかたについては、ターミナルアダプタまたはダイヤルアップルータに付属している取扱説明書をご覧ください。

電話回線の種類を設定する

本機には電話回線の種類を自動的に設定する機能があります。ただし ADSL モデムに接続する場合は、手動で電話回線の種類を設定してください。(→ 177 ページ)

発信元情報を登録する

ファクスを受信すると、受信した用紙のいちばん上に小さな文字で、送信してきた人の名前や会社名、ファクス／電話番号、送信した日付と時刻が印刷されていることがあります。これが発信元情報です。
本機では、この発信元情報を登録できるので、ファクスを受信した人はあなたの名前や送信日時を知ることができます。

発信元情報は、次のように印刷されます。

- 送信するファクスの画像領域の内側と外側のどちらに発信元情報をつけるかを設定できます。(→ 177 ページ)
- カラーファクス送信のときは、送信先の名前は印刷されません。
- 発信元情報は、操作パネルから入力します。(→ 92 ページ)

日付と時刻を入力する

⚠ 注意

本機の操作パネルで日付と時刻を入力しても、パソコンを接続して使用している場合は、パソコンの起動時や本機の電源を入れたとき、または USB ケーブルを接続するときに、本機の日付と時刻がパソコンに設定されたデータに、書きかえられます。

パソコンを接続して使用する場合は、パソコンの日付と時刻を正しく設定してください。

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈5. キホン セッテイ〉を選びます。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
　5．キホン　セッテイ
```

3 [セット] を 2 回押します。

例：
```
ヒヅ゛ケ/ジ゛コク　セット
2003　08/21　　　18：46
```

4 テンキーで、現在の日付と時刻（24 時間形式）を入力します。

西暦は下 2 桁を入力してください。

参考

- 入力を間違えたときは、[◀] または [▶] を押してカーソルを修正したい位置まで移動させ、正しく入力しなおしてください。
- 日付の表示形式には3通りあり、必要に応じて変更できます。詳しくは176ページをご覧ください。

5 [セット] を押します。

6 [ストップ／リセット] を押します。

ファクス／電話番号と名前を入力する（発信元情報）

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈5. キホン セッテイ〉を選びます。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
　5．キホン　セッテイ
```

3 [セット] を 押します。

```
キホン　セッテイ
　1．ヒヅ゛ケ/ジ゛コク　セット
```

4 ［◀］か［▶］で、〈3. ユーザ TEL トウロク〉を選びます。

```
キホン セッテイ
 3.ユーザ TEL トウロク
```

5 ［セット］を押します。

```
ユーザ TEL トウロク
TEL=
```

6 テンキーで、ファクス／電話番号を入力します。（スペースを含む最大 20 文字）

番号の前にプラス記号（＋）を入力するときは、［#］を押します。

数字を入力する方法や消去する方法については、97 ページをご覧ください。

7 ［セット］を２回押します。

```
ユーザ リャクショウ トウロク :ア
    _
```

8 テンキーで、発信元の名前を入力します。（スペースを含む最大 24 文字）

文字を入力する方法や消去する方法については、97 ページをご覧ください。

9 ［セット］を押します。

10 ［ストップ／リセット］を押します。

ユーザデータリストを印刷すると、登録した発信元情報を確認できます。（→ 99 ページ）

電話帳とは

電話帳とは、送信相手のファクス／電話番号や相手先名を登録できる便利な機能です。
登録した相手にファクス／電話をするときは、電話帳から選ぶだけで、かんたんにダイヤルできます。

電話帳に登録する

次のように操作してください。

1 ［ユーザモード］→［セット］の順に押します。

2 ［◄］か［►］で、〈4. デンワバンゴウ トウロク〉を選びます。

3 ［セット］を押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
*01=
```

4 ［◄］か［►］で、電話帳の番号（01 ～ 40) を選びます。

5 ［セット］を2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=_
```

6 テンキーで、登録したいファクス／電話番号を入力します。（スペース、ポーズ、トーンを含む最大 40 桁）

- 数字の入力または消去する方法については、97 ページをご覧ください。
- ポーズを入力するときは［リダイヤル／ポーズ］を押します。
- トーンを入力するときは［＊］を押します。

7 ［セット］を2回押します。

```
ナマエ                    :ア
   _
```

8 テンキーで、送信先の名前を入力します。（スペースを含む最大16 文字）

文字の入力または消去する方法については、97 ページをご覧ください。

9 ［セット］を押します。

続けてその他の番号や名前を電話帳に登録するには、4の操作からくり返します。

10 ［ストップ／リセット］を押します。

電話帳リストを印刷して、登録した送信先を確認できます。（→ 96 ページ）

電話帳に登録した情報を変更、削除する

次のように操作してください。

登録したファクス／電話番号を変更するとき：

1. 電話帳に登録する（→ 94 ページ）の手順1～5まで操作します。
2. ［◀］を押して、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3. テンキーで新しい番号を入力します。

文字の入力または消去する方法については、97 ページをご覧ください。

4. ［セット］を押します。
5. ［ストップ／リセット］を押します。

登録した名前を変更するとき：

1. 電話帳に登録する（→ 94 ページ）の手順1～4まで操作します。
2. ［セット］を 4 回押します。
3. ［◀］を押しつづけて、登録されている名前を削除します。
4. テンキーで新しい名前を入力します。

文字の入力または消去する方法については、97 ページをご覧ください。

5. ［セット］を押します。
6. ［ストップ／リセット］を押します。

登録をすべて削除するとき：

1. 電話帳に登録する（→ 94 ページ）の手順1～5まで操作します。
2. ［◀］を押しつづけて、登録されているファクス／電話番号を削除します。
3. ［セット］を押します。

4. [ストップ／リセット] を押します。

ファクス／電話番号を削除すると、登録されていた名前は自動的に削除されます。

電話帳に登録されている番号リストを印刷する

電話帳に登録したファクス／電話番号の一覧を印刷できます。このリストを本機のそばに置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◄] か [►] で、〈3. レポート／リスト〉を選びます。

ファクス　シヨウ　セッテイ
　3 . レポ゜ート / リスト

3 [セット] を押します。

レポ゜ート / リスト
　1 . ツウシンカンリ　レポ゜ート

4 [◄] か [►] で、〈2. デンワチョウ〉を選びます。

レポ゜ート / リスト
　2 . デ゛ンワチョウ

5 [セット] を押します。

ソート　シュツリョク
ハイ = (−)　　イイエ = (+)

6 [◄] か [►] で、電話帳に登録した名前の 50 音順で印刷するかどうかを選びます。

ハイ [◄]：　名前の 50 音順（アルファベット順）で印刷します。
イイエ [►]：　電話帳の番号（01 ～ 40）順で印刷します。

電話帳が印刷されます。

文字や数字を入力する

次のように操作してください。

1 [*] を押して、カナモード（：ア)、英字モード（：A)、または数字モード（：1）に切りかえます。

LCD ディスプレイの右上に選択されたモードが表示されます。

例：

ナマエ	：ア
_	

2 テンキーで、文字を入力します。入力する文字が表示されるまでくり返し押します。

次に入力したい文字が同じキーに割り当てられているとき：

1. [▶] を押してから、同じキーをもう一度押します。

スペースを入力するとき：

1. [▶] を２回押します。（数字モード時は１回）

文字を消去するとき：

1. [◀] を押します。

入力した文字をすべて消去するとき：

1. [◀] を押しつづけます。

キー	カナモード（：ア）	英字モード（：A）	数字モード（：1）
[1]	アイウエオァィゥェォ		1
[2]	カキクケコ	A B C a b c	2
[3]	サシスセソ	D E F d e f	3
[4]	タチツテトッ	G H I g h i	4
[5]	ナニヌネノ	J K L j k l	5
[6]	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
[7]	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
[8]	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
[9]	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
[0]	ワヲン		0
[#]	゛゜。「」、・ー	- . ＊ # ! ” , ; : ^ ` _ = / | ’ ? $ @ % &+ ( ) [ ] { } < >	
[*]	カナモード（：ア）→ 英字モード（：A）→ 数字モード（：1）→ カナモード（：ア）		

印刷できるレポートとリスト

本機で印刷できるレポートやリストには、次のような種類があります。詳しい説明については、該当するページをご覧ください。

レポート名またはリスト名	説明	参照
通信管理レポート	送受信したファクスの履歴です。20 通信ごとに自動的に印刷するかどうかを設定できます。また、手動で印刷することもできます。	98 ページ
電話帳	電話帳に登録されている番号と名前のリストです。	96 ページ
ユーザデータリスト	現在の設定と発信元情報のリストです。	99 ページ
原稿リスト	現在メモリに保存されている原稿のリストです。	106 ページ
送信結果レポート	ファクスの送信後に印刷されます。 このレポートを印刷するかどうか設定できます。また、エラーが発生したときだけ印刷するように設定することもできます。送信結果レポートの下に原稿の最初のページを印刷して、送信したファクスの内容がわかるように設定することもできます。	99 ページ
受信結果レポート	ファクスの受信後に印刷されます。 このレポートを印刷するかどうか設定できます。また、エラーが発生したときだけ印刷するように設定することもできます。	100 ページ
メモリクリアリスト	電源を入れなおすと自動的に印刷されます。メモリから削除された原稿のリストです。	146 ページ

通信管理レポート

工場出荷時の設定により、通信管理レポートは 20 回通信するごとに自動的に印刷されるようになっています。またこのレポートが印刷されないように設定することもできます。

設定については、177 ページをご覧ください。

通信管理レポートを印刷する

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◄] か [►] で、〈3. レポート／リスト〉を選びます。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
 3．レポ゜ート/リスト
```

3 [セット] を 2 回押します。

通信管理レポートが印刷されます。

ユーザデータリスト

ユーザデータリストには、現在の設定と発信元情報 （→ 91 ページ）が印刷されます。

ユーザデータリストを印刷する

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◄] か [►] で、〈3. レポート／リスト〉を選びます。

ファクス　シヨウ　セッテイ
　3 . レポ゜ート/リスト

3 [セット] を押します。

レポ゜ート/リスト
　1 . ツウシンカンリ　レポ゜ート

4 [◄] か [►] で、〈3. ユーザ データリスト〉を選びます。

レポ゜ート/リスト
　3 . ユーザ゛ デ゛ ータリスト

5 [セット] を押します。

ユーザデータリストが印刷されます。

送信結果レポート

原稿を送信したあとに、送信結果レポートを印刷することができます。送信結果レポートは、送信するたびに、またはエラーが発生したときだけ印刷されるように設定できます。また、このレポートが印刷されないように設定することもできます。

- 設定については、178 ページをご覧ください。
- 工場出荷時は〈エラージ ノミ プリント〉に設定されています。

受信結果レポート

原稿を受信したあとに、受信結果レポートを印刷することができます。受信結果レポートは、受信するたびに、またはエラーが発生したときだけ印刷されるように設定できます。また、このレポートが印刷されないように設定することもできます。

- 設定については、179 ページをご覧ください。
- 工場出荷時は〈プリント シナイ〉に設定されています。

FAXファクスを送信する

送信できる原稿

送信できる原稿の種類や条件、セットのしかたについては、2 章をご覧ください。

ファクス送信の流れ

本機からファクスを送信するまでの主な操作の流れを次に示します。

Step 1

送信したい原稿や写真を原稿台にセットします。

Step 2

画質や明るさを設定します。(→ 102 ページ)

Step 3

テンキーまたは電話帳(→ 105 ページ)を使ってダイヤルします。

Step 4

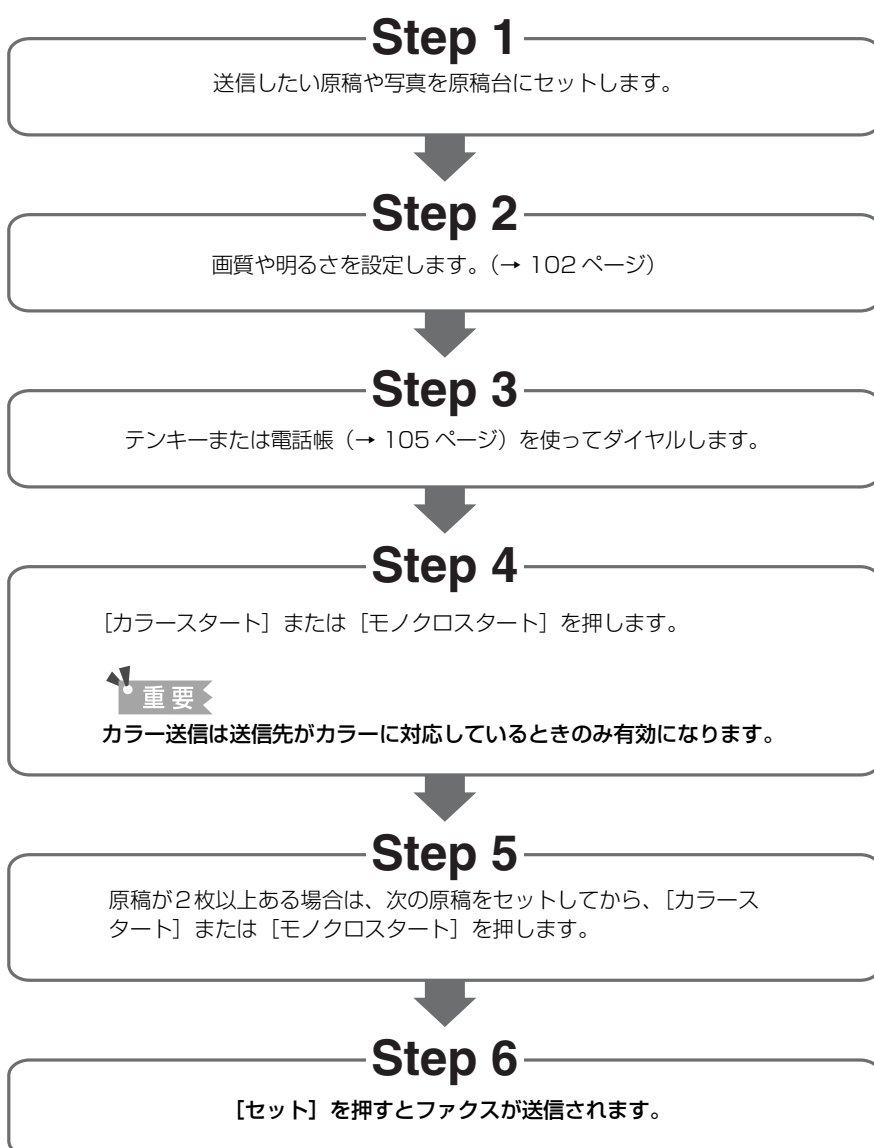
[カラースタート]または[モノクロスタート]を押します。

カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。

Step 5

原稿が2枚以上ある場合は、次の原稿をセットしてから、[カラースタート]または[モノクロスタート]を押します。

Step 6

[セット]を押すとファクスが送信されます。

原稿に合わせて画質や濃度を設定できます。

画質（解像度）をかえる

送信する原稿の画質を調整できます。解像度を高くすると、よりきれいに原稿を送信できますが、送信時間が長くなります。送信する原稿の種類に合わせて、画質を調整してください。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、［メニュー］を何回か押します。

例：
```
3.ファクス カイゾ゛ウド゛ セッテイ
◀      *ヒョウシ゛ュン      ▶
```

3 ［◀］か［▶］で、画質を選びます。

ヒョウジュン：　通常の文字だけの原稿に適しています。
ファイン：　高解像度の原稿に適しています。
シャシン：　写真の入った原稿に適しています。

4 ［セット］を押します。

濃度（明るさ）をかえる

濃度（明るさ）とは、原稿を印刷するときの濃さを意味します。濃度を濃くすると暗い部分はより黒く、明るい部分はより白くなります。また、濃度を薄くするほど暗い部分と明るい部分の差がなくなります。濃度は３段階に切りかえることができます。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］を押します。

2 次のメッセージが表示されるまで、[メニュー] を何回か押します。

例： 2.ファクス ヨミトリ ノウド
　　　ーウスク◖□■□◗ コク+

3 [◄] か [►] で、濃度を選びます。

[◄] を押すと薄くなり、[►] を押すと濃くなります。

4 [セット] を押します。

送信方法

ファクスを送信するには、次の 2 つの方法があります。
●本機からの送信（メモリ送信）
●パソコンからの送信（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
これらの方法について次で説明します。

本機からの送信（メモリ送信）

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。

原稿のセットのしかたについては、21 ページをご覧ください。

2 [ファクス] を押します。

3 必要に応じて、設定を調整します。

- 画質の選びかたは、102 ページをご覧ください。
- 濃度の選びかたは、102 ページをご覧ください。

4 **送信先のファクス番号をテンキー、または電話帳でダイヤルします。**

電話帳の使いかたは、105 ページをご覧ください。

5 **カラーファクスをする場合は［カラースタート］を押し、白黒ファクスをする場合は［モノクロスタート］を押します。**

最初の原稿が読み込まれたときにメッセージが表示されます。

ツギ゛ノ ヘ゜ージ゛　：スタート
ヨミトリ シュウリョウ　：セット

重要

カラー送信は送信先がカラーに対応しているときのみ有効になります。

6 **原稿が２枚以上ある場合は、次の原稿をセットしてから、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押します。**

重要

5 の操作で押したキーと 6 の操作で押したキーが同じでない場合は、読み取りが開始されません。

7 **送信を開始するときは、［セット］を押します。**

送信を中止するときは、［ストップ／リセット］を押してください。また送信中のときは［ストップ／リセット］を押したあとで、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。

PC パソコンからの送信

本機をパソコンに接続しファクスを送信することができます。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

電話帳の使いかた

電話帳にファクス／電話番号を登録しているとかんたんにダイヤルすることができます。

- 電話帳になにも登録されていないと〈デンワバンゴウ ミトウロク〉と表示されます。
- 電話帳に登録するときは、94 ページをご覧ください。

電話帳を使ってダイヤルする

次のように操作してください。

1 ［電話帳］を押します。

2 ［◄］か［►］で、登録した番号（01 ～ 40）を選びます。

メモリ送信のしかたについては、103 ページをご覧ください。

リダイヤルする

リダイヤルには、手動リダイヤルと自動リダイヤルの 2 つの方法があります。

手動リダイヤル

最後に送信したファクス番号にリダイヤルするには、［リダイヤル／ポーズ］を押します。

- メモリ送信のしかたについては、103 ページをご覧ください。
- 手動リダイヤルを中止するときは、［ストップ／リセット］を押します。

自動リダイヤル

メモリ送信で、送信先が話し中などでファクスを送信できなかったときは、間隔をあけて自動的にリダイヤルします。

- 自動リダイヤルの設定は、必要に応じて変更できます。
- 自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルが開始されたら、［ストップ／リセット］を押して、LCD ディスプレイの表示にしたがいます。
- メモリから原稿を消去することもできます。詳しくは 107 ページをご覧ください。

自動リダイヤルの設定を変更する

次の設定を変更できます。

●自動リダイヤル設定のオン / オフ
●リダイヤルの回数 （1 ～ 15 回）
●リダイヤルの間隔（2 ～ 99 分）

設定については 178 ページをご覧ください。

メモリに保存されているファクス

⚠ 注意

電源を切ると、メモリに保存されている原稿はすべて消去されます。電源を切るときは、必要な原稿を送信または印刷しておいてください。

メモリに保存されているファクスの一覧を印刷する

メモリに保存されているファクスの一覧 （原稿リスト）を印刷できます。一覧には、送受信したファクスの受付番号、送信 / 受信モード、相手先や枚数、日付、送受信したときの時刻が印刷されます。メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりするときは、受付番号を指定します。

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] → [セット] の順に押します。

2 [◀] か [▶] で、〈2. メモリ ショウカイ〉を選びます。

3 [セット] を押します。

メモリに何も保存されていないときは、〈チクセキガゾウガ アリマセン〉と表示され、もとの画面に戻ります。

4 [◀] か [▶] で、〈3. ゲンコウ リスト〉を選びます。

2 の操作で〈3. レポート／リスト〉を選んで〈4. ゲンコウ リスト〉からも印刷できます。
(→ 175 ページ)

5 [セット] を押します。

ファクスの一覧が印刷されます。

メモリに保存されているファクスを印刷、削除する

次のように操作してください。

1 メモリに保存されているファクスの一覧を印刷するの手順（→ 106 ページ）1～3の操作をします。

2 ［◀］か［▶］で、〈2. ゲンコウ プリント〉または〈4. ゲンコウ クリア〉を選びます。

〈1. ファクスサイシュツリョク〉を選び［セット］を押すと、メモリに保存されている印刷済みのファクス原稿を再度印刷することができます。

〈2. ゲンコウ プリント〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。
2. ［◀］か［▶］またはテンキーで、印刷したいファクスの受付番号を指定します。
   受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。（→ 106 ページ）
3. ［セット］を押します。
4. 最初のページだけを印刷するときは、［◀］を押し、すべてのページを印刷するときは、［▶］を押します。
5. 続けて別の原稿を印刷するときは、2. の操作に戻り、終了するときは、4の操作に進みます。

〈4. ゲンコウ クリア〉を選んだとき：

1. ［セット］を押します。
2. ［◀］か［▶］で、〈1. プリントズミ ゼンゲンコウ〉または〈2.1 ケンノゲンコウ〉を選びます。
   1. プリントズミ ゼンゲンコウ：メモリ内にある印刷済みファクスをすべて削除します。
   2.1 ケンノゲンコウ：メモリに保存されているファクスを1件だけ削除します。
3. 3の操作に進みます。

3 ［セット］を押します。

〈プリントズミ ゼンゲンコウ〉を選んだとき：

1. ［◀］を押します。
   ［▶］を押すとキャンセルされ、もとの画面に戻ります。

■〈1 ケンノゲンコウ〉を選んだとき：

1.［◀］か［▶］またはテンキーで、削除したいファクスの受付番号を指定します。

受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。（→ 106 ページ）

2.［セット］を押します。

3.［◀］を押します。

［▶］を押すとキャンセルされ、1. の LCD 表示に戻ります。

4. 続けて別の原稿を削除するときは、1. の操作に戻り、終了するときは、4 の操作に進みます。

4 ［ストップ／リセット］を押します。

メモリに保存されているファクスを確認する

メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりする前に、LCD ディスプレイでファクスの情報を確認できます。

例：
Ⓐ受付番号

●0001 ～ 4999 は、送信ファクスを指します。

●5001 ～ 9999 は、受信ファクスを指します。

Ⓑ受付番号の前にあるマーク

●何もマークがないものは、白黒原稿を指します。

●〈＊〉は、カラー原稿を指します。

●〈#〉は、送信中または印刷中の白黒原稿を指します。

●〈&〉は、送信中または印刷中のカラー原稿を指します。

詳しい情報を表示する

詳しい情報（受付番号、受付時刻、ファクス番号）を確認するときは、［⁎］または［#］を押します。

受付番号がわからないときは、原稿リストを印刷します。（→ 106 ページ）

外線へのダイヤル

本機を PBX（構内電話交換機）やほかの電話交換システムに接続しているときは、まず外線呼び出し番号をダイヤルしてから、相手のファクス／電話番号をダイヤルしてください。

一時的にプッシュ信号に切りかえる

銀行、航空券の予約、ホテルの予約などのプッシュホンサービスをダイヤル回線で利用するときは、プッシュ信号を使います。本機をダイヤル回線に接続しているときは、一時的にプッシュ信号に切りかえてください。

次のように操作してください。

1 ［ファクス］を押します。

2 受話器を取ります。

3 外付電話機のテンキーで、サービス先の電話番号をダイヤルします。

4 録音音声のメッセージが聞こえたら、［トーン（［*］)］を押して、プッシュ （トーン）信号に切りかえます。

5 メッセージにしたがって、テンキーで番号を入力します。

6 サービスの利用が終わったら、受話器を戻します。

ECM 方式による送受信

本機は、ECM（自動誤り訂正モード）方式で送受信するように設定されています。送信側と受信側で送受信状態を確認し合いながら通信を行い、回線のトラブルなどによるエラーを自動的に訂正します。

- 送信側または受信側のファクスが ECM に対応していないときは、標準モードで送受信されます。
- ECM 方式で送受信しないように設定することもできます。（→ 177、178 ページ）

FAX ファクスを受信する

ファクス受信の流れ

本機でファクスを受信するまでの主な操作の流れを次に示します。

Step 1

用紙トレイに用紙をセットします。（→ 30 ページ）

Step 2

受信方法を選択します。
●ファクスだけを受けたい、ファクス専用の電話回線がある
〈ジドウ ジュシン モード〉（→ 111 ページ）
●ファクスよりも電話のほうが多い、ファクスは手動で受信したい
〈シュドウ ジュシン モード〉（→ 111 ページ）
●電話のときは留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信したい
〈ルスTEL セツゾク モード〉（→ 111ページ）
●自動的にファクスと電話を切りかえたい
〈FAX/TEL キリカエ〉（→ 112 ページ）

- 手動受信モードや FAX/TEL 切りかえモードに設定する場合は、外付け機器接続部に電話機を接続する必要があります。
- 留守TEL接続モードに設定する場合は、外付け機器接続部に留守番電話機を接続する必要があります。

受信モードについて

本機には４つの受信モードがあります。お使いの用途に合わせて受信モードを選んでください。

- **本機は電源が入っていないとファクスを受信することができません。［電源］を押して電源を入れてください。**
- **ナンバーディスプレイ対応の電話機を使用する場合、本機には何も表示されません。**
- **ナンバーディスプレイを使用する場合は、〈ジドウ ジュシン モード〉、〈シュドウ ジュシン モード〉または〈ルスTEL セツゾク モード〉に設定してください。**

コピーモード（［コピー］を押したあとの状態）、ファクスモード（［ファクス］を押したあとの状態）、スキャンモード（［スキャン］を押したあとの状態）、フォトプリントモード＊（［フォトプリント］を押したあとの状態）のどのモードでもファクスを受信することができます。

＊ フォトプリントモードのとき、ファクスを受信すると［ファクス］が点滅します。［ファクス］を押して受信したファクスを印刷してください。

ファクスだけを受けたい、ファクス専用の電話回線がある

●〈ジドウ ジュシン モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：本機が自動的に受信します。
電話のとき：　電話を受けることはできません。

- ファクスのときは、呼び出し音は鳴りません。呼び出し音を鳴らしたいときは、本機に電話機を接続して、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定します。（→ 179 ページ）また、呼び出し音を鳴らす回数も設定できます。（→ 179 ページ）
- ナンバーディスプレイを使用する場合は、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定してください。

ファクスよりも電話のほうが多い、ファクスは手動で受信したい

●〈シュドウ ジュシン モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：　呼び出し音が鳴ります。受話器を取って、「ピー」という音が聞こえたら、本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］を押して、ファクスを受信します。
電話のとき：　呼び出し音が鳴ります。受話器を取って、相手と会話をします。
リモート受信をするとき：　本機が離れた場所にあるときは、電話機で 25（リモート受信 ID）をダイヤルするとファクスを受信します。

- 一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信することができます。（→ 179 ページ）
- リモート受信をしないように設定できます。また、リモート受信 ID は変更できます。（→ 179 ページ）
- 本機に留守番電話を接続しているときは、留守番電話を操作するための暗証番号がリモート受信 ID と同じ番号になっていることがあります。この場合は、リモート受信 ID の番号を変更してください。（→ 179 ページ）

電話のときは留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信したい

●〈ルスTEL セツゾク モード〉を選びます。

ファクスを受信するとき：　はじめに本機に接続した留守番電話が応答し、そのあと本機が受信します。
電話のとき：　本機に接続した留守番電話が応答します。

留守番電話を設定する

留守番電話は、次にように設定します。

●呼び出し音が 1 回か 2 回鳴ったところで応答するように設定してください。
●応答メッセージの長さは 15 秒以内にしてください。
●メッセージでは、ファクスの送信方法を説明してください。

自動的にファクスと電話を切りかえたい

●〈FAX/TEL キリカエ〉を選びます。

ファクスを受信するとき：	本機が自動的に受信します。
電話のとき：	本機から呼び出し音が鳴ります。受話器を取って相手と話します。

本機に接続した電話機の呼び出し音は鳴りません。

ファクスのときは、呼び出し音は鳴りません。呼び出し音を鳴らしたいときは、本機に電話機を接続して、〈チャクシン ヨビダシ〉を〈スル〉に設定します。（→ 179 ページ）また、呼び出し音を鳴らす回数も設定できます。（→ 179 ページ）

FAX/TEL 切りかえモードの詳細設定

FAX/TEL 切りかえモードでは、相手からの呼び出しに対して、本機がどのように対応するかを細かく設定できます。着信がファクスか電話かを判断するための時間、着信が電話だったときは、呼び出し音を鳴らす時間、設定した呼び出し時間が経過したあとの本機の対応を設定することができます。

設定については、178 ページをご覧ください。

受信モードを設定する

次のように操作してください。

1 ［ユーザモード］を押します。

2 ［セット］を 2 回 押します。

例：

```
ジ゛ュシンモード゛
        ジ゛ド゛ウ ジ゛ュシン モード゛
```

3 ［◄］か［►］で、受信モードを選びます。

ジドウ ジュシン モード：	自動的にファクスだけを受信します。（本機に電話機を接続している場合、接続した電話機の呼び出し音は鳴りません。）
シュドウ ジュシン モード：	ファクスのときも電話のときも呼び出し音が鳴ります。ファクスは手動で受信します。
ルスTEL セツゾク モード：	はじめに留守番電話が応答し、ファクスのときは自動的に受信します。

FAX/TEL キリカエ： 自動的にファクスと電話を切りかえます。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは本機の呼び出し音が鳴ります。（本機に接続した電話機の呼び出し音は鳴りません。）

4 ［セット］を押します。

受信モードが LCD ディスプレイの左下に表示されます。

例：

	2003 12/27 TUE 15:30
受信モード―	ジ゛ド゛ウ ヒョウジ゛ュン

受信を中止する

［ストップ／リセット］を押して、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。

メモリでの受信

ファクスを受信中に用紙がなくなったとき、インクが少なくなったとき、または紙づまりが発生したときは、印刷が済んでいないファクスは自動的にメモリに保存され、〈ダイコウ ジュシン シマシタ〉などのメッセージが表示されます。メモリに保存されたファクスは用紙の補給、インクタンクの交換、紙づまりが処理されたあとに自動的に印刷されます。

インクカウンタ（→ 132 ページ）が正しくリセットされないと〈ダイコウ ジュシン シマシタ〉などのメッセージが表示されず、うまく印刷されない場合があります。うまく印刷されない場合は、メモリから再出力してください。（→ 107 ページ）

- 本機のメモリには、約 200 ページ分 * のファクスが保存できます。
- 受信したファクスはメモリに保存されます。再度印刷したり、不要なファクスを削除することができます。詳しくは〈メモリ ショウカイ〉をご覧ください。（→ 175 ページ）
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手先に連絡して、もう一度送信してもらってください。

* キヤノン FAX 標準チャート No.1（標準モード）使用時

用紙のサイズと種類について

本機で受信したファクスを印刷するときは、A4 または LTR の用紙を用紙トレイにセットしてください。

- A4 または LTR 以外の用紙がセットされていると、そのサイズで 1 枚出力され、〈ダイコウ ジュシン シマシタ〉と表示されます。A4 または LTR の用紙に変更して［セット］を押してください。
- 用紙サイズの設定が A4 または LTR 以外の場合は、出力されず、〈ヨウシサイズ ヘンコウ（FAX ヨウ）〉と表示されます。A4 または LTR に変更して［セット］を押してください。（→34ページ）

相手が A3 や B4 など、A4 よりも大きいサイズの原稿を送信した場合、相手先のファクス機が自動的に縮小、分割、または一部分（A4 の範囲）だけを送信することがあります。

10章 PC 本機のソフトウェアについて知っておこう

パソコンと接続するにはインストールが必要です

本機とパソコンを接続してご利用になる場合は、本機付属のセットアップ CD-ROM に含まれているソフトウェアをインストールする必要があります。インストールの手順は、『セットアップガイド』または『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

ソフトウェアの機能についての詳細は、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

必要なシステム

ソフトウェアをインストールして使うには、お使いのパソコンが次の条件を満たしている必要があります。

●CD-ROM ドライブ、またはネットワーク上で共有されている CD-ROM ドライブ
●256 色対応の SVGA 以上のモニター（High Color 以上推奨）
●IBM PC/AT 互換機
●Microsoft Internet Explorer バージョン 4.01 以降（Service Pack* 2 以降）
●65MB 以上（150 MB 以上推奨）の空きがあるハードディスク
- MP ドライバ： 50 MB 以上の空き容量
- MP Toolbox： 15 MB 以上の空き容量

●USB2.0 Hi-Speed で使用する場合：
本機には USB2.0 Hi-Speed 対応のコネクタが装備されています。Hi-Speed モードは大幅に通信速度を向上させた高速USBモードです。ただし、使用する環境がUSB2.0 Hi-Speed に対応している必要があります。USB2.0 Hi-Speed モードでご使用の場合はパソコン本体に USB2.0 Hi-Speed インタフェースが標準で装備されているパソコンと接続してください。
USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 2.0 対応のケーブルを使用してください。

* Service Pack とは Windows 自体におけるトラブルを修正するためのプログラムで Microsoft 社から提供されております。Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

オペレーションシステム（OS） ＊日本語版のみ対応	CPU	必要なメモリ容量
Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack* 4 以降)	Pentium / Celeron 566MHz プロセッサ以上	128 MB 以上 (256 MB 以上を推奨)
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition (Service Pack* 1 以降)		

- USB2.0 Hi-Speed インタフェースを標準装備した PC のすべての動作を保証するものではありません。最新情報については、キヤノン PIXUS ホームページをご参照ください。
- USB2.0 Hi-Speed インタフェースは USB Full Speed（USB1.1 相当）に完全上位互換ですので、USB Full Speed（USB1.1 相当）としてもご使用いただけます。

- 自作 PC、ショップブランド PC では動作しない場合があります。
- Windows 2000/XPでご利用いただくためには、Windows 2000にはService Pack* 4以降が、Windows XP には Service Pack* 1 以降がインストールされている必要があります。

●USB Full Speed（USB1.1 相当）で使用する場合：
USB Full Speed で使用する場合は、パソコンが次の条件を満たしている必要があります。USB ケーブルは本機に付属されている USB ケーブル、または 5 m 以内の USB-IF 認定の USB ケーブルを使用してください。

オペレーションシステム（OS） **＊日本語版のみ対応**	**CPU**	**必要なメモリ容量**
Microsoft Windows 98	Pentium / Celeron 233MHz プロセッサ以上 （300MHz 以上を推奨）	64 MB 以上 （128 MB 以上を推奨）
Microsoft Windows Me		
Microsoft Windows 2000 Professional （Service Pack* 1 以降）		
Microsoft Windows XP Professional/Home Edition	Pentium / Celeron 300MHz プロセッサ以上	

Windows 2000 でご利用いただくためには、Windows 2000 に Service Pack* 1 以降がインストールされている必要があります。

* Service Pack とは Windows 自体におけるトラブルを修正するためのプログラムで Microsoft 社から提供されております。Service Pack の入手方法は、Microsoft 社にお問い合わせください。

パソコンに本機を接続して印刷または画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

Windows 2000/XP 使用時のユーザ権限について

Windows 2000 にソフトウェアをインストールするときは、Administrator としてログインするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP にインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。
詳しくは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

セットアップCD-ROMに含まれるソフトウェア

本機には、次のソフトウェアが含まれています。各ソフトウェアの機能については『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル)、または各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

MP ドライバ

●プリンタドライバ（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
印刷機能のある Windows アプリケーションから印刷するときに使います。

●ファクスドライバ（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
印刷機能のある Windows アプリケーションからファクスするときに使います。

●スキャナドライバ（ScanGear MP、WIA ドライバ（Windows XP のみ））（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
パソコンに画像を読み込むときに使います。

MP Toolbox

パソコンに画像を読み込んだり、保存するときに使います。

アプリケーション

●ZoomBrowser EX/PhotoRecord（ズームブラウザーイーエックス フォトレコード）

●Easy-PhotoPrint/Easy-PhotoPrint Plus（イージーフォトプリント イージーフォトプリント プラス）

●Easy-WebPrint（イージーウェブプリント）

●ArcSoft PhotoStudio（アークソフトフォトスタジオ）

●e.Typist エントリー（イータイピスト）

●Adobe Acrobat Reader（アドビアクロバットリーダー）

アプリケーションについては、9 ページをご覧ください。

画像の読み込みと設定はMP Toolboxで

デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］アイコンをダブルクリックすると、MP Toolbox が開きます。MP Toolbox を使うと、パソコンに文書や画像を読み込むことができ、アプリケーションで加工したり、保存したりすることができます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

MP Toolbox の機能や設定については、124 ページをご覧ください。

ソフトウェアのアンインストール（削除）と再インストール

MP Toolbox や MP ドライバが必要なくなった場合や、正しくインストールされなかったときは、アンインストール（削除）してください。
Windows 2000 からソフトウェアをアンインストールするときは、Administrator としてログインするか、Administrator 権限が必要です。Windows XP からアンインストールするときは、管理者としてログインする必要があります。

重要

MP ドライバを削除するときは、先に MP Toolbox を削除してください。MP ドライバを先に削除すると、スタートメニューのプログラムの中に Canon フォルダが残る場合があります。

MP Toolbox を削除するには

次のように操作してください。

1 MP Toolbox など、起動しているアプリケーションをすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

MP Toolbox は、画面の右上の［×］をクリックすると終了します。

2 タスクバーの［スタート］ボタンから、[（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox アンインストール］をクリックします。

3 表示される指示にしたがって操作します。

プログラムの修復、または削除の選択画面が開いたら、［削除］にチェックマークを付けて、［次へ］をクリックします。

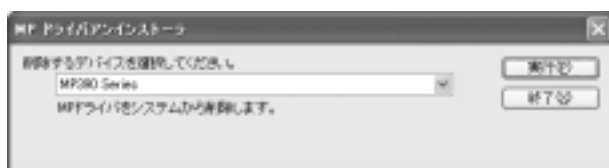
アプリケーションを削除してよいかをたずねるメッセージが表示されたら、［OK］をクリックしてください。パソコンが再起動します。

パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動してください。

MP ドライバを削除するには

次のように操作してください。

1. 起動しているアプリケーションはすべて終了します。ウイルスチェックプログラムも終了してください。

2. タスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP ドライバ］→［ドライバアンインストール］をクリックします。

3. 「削除するデバイスを選択してください。」と表示されたら、［MP390 Series］を選んで［実行］をクリックします。

4. 再起動を促すメッセージが表示されたら、パソコンを再起動します。

5. USB ケーブルをパソコンと本機から外します。

   Windows 2000 のときは、［デバイスの取り外しの警告］画面が表示されますので、［OK］をクリックしてください。本機やパソコンには影響ありません。

再インストールするには

MP Toolbox、MP ドライバの順に削除したあと、インストールの操作を行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

11章 PC パソコンから印刷しよう

印刷する前に

印刷前に次のことを確認してください。

ソフトウェア（MP ドライバ）はインストールされていますか？

まだインストールしていないときは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

本機を［通常使うプリンタ］に設定していますか？

アプリケーションで［プリンタ］画面を開くと、本機が［通常使うプリンタ］に設定されているか確認できます。通常使うプリンタに設定されていないときは、次のように操作してください。

1 **タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします。**

Windows XP のときは、［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

2 **［プリンタ］画面（Windows XP のときは、［プリンタと FAX］画面）で本機のプリンタのアイコンをクリックします。**

3 **［ファイル］メニューで、［通常使うプリンタに設定］をクリックします。**

用紙トレイに適切な用紙がセットされていますか？

詳しくは、3 章をご覧ください。

印刷する

MP ドライバをインストールすると、印刷機能があるアプリケーションから、印刷ができるようになります。印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、一般的な印刷の手順を説明します。実際の操作は、印刷に使うアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

重要

パソコンに本機を接続して印刷しているときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

ご使用のアプリケーションにより、表示される画面が異なる場合があります。
なお、本書では表示される画面の例として、Windows XP の画面を使用しています。

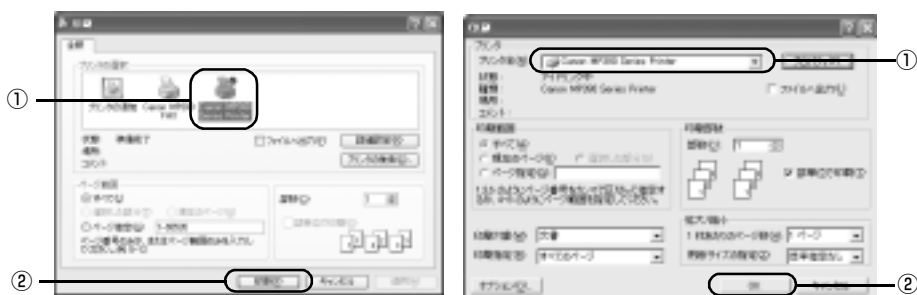
次のように操作してください。

1 用紙トレイに用紙をセットします。（→ 30 ページ）

2 アプリケーションで印刷したい文書を開き、印刷の操作をします。

通常、ファイルメニューまたはツールバーの［印刷］をクリックします。

3 ［印刷］画面で、プリンタの選択欄か、プリンタ名の欄に本機のプリンタ名が表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ドロップダウンメニューから本機のプリンタ名①を選んでください。

例：Word の場合

4 必要に応じて印刷設定を変更し、文書を印刷するボタン②をクリックします。

通常、印刷するボタンは［OK］または［印刷］です。

- 用紙トレイにセットする用紙は、アプリケーションで設定された用紙サイズに合わせてください。
- 設定の変更については『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

印刷を中止する

印刷を開始する前にキャンセルすることができます。また、印刷を開始したあとでも、キャンセルすることができます。

印刷が開始される前に中止する場合：

1. **［印刷］画面で、印刷を中止するボタンをクリックします。**
   通常、このボタンは［キャンセル］です。

印刷が開始されたあとに中止する場合：

1. **タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［プリンタ］をクリックします。**
   Windows XP のときは、［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。
2. **［プリンタ］画面（Windows XP のときは、［プリンタと FAX］画面）で本機のプリンタのアイコンをダブルクリックします。**
3. **中止したい印刷ジョブを右クリックしたあと、［印刷中止］（Windows 2000/XP のときは、［キャンセル］）をクリックします。**

印刷の設定をかえる

印刷の設定は、文書を印刷するときに細かく調整することができます。詳しくは、オンラインヘルプまたは『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

印刷設定には、次の 2 つの方法があります。

●**プリントアドバイザーを使って設定をかえる**
　画面に表示されるメッセージにしたがって順番に印刷設定を変更できます。

●**個別に設定をかえる**
　設定をかえたい項目を設定画面からさがして印刷設定を変更します。

プリントアドバイザーを使って印刷設定をかえる

次のように操作してください。

1 アプリケーションで文書を開き、印刷の操作をします。

通常、ファイルメニューまたはツールバーの［印刷］をクリックします。

2 ［印刷］画面で、［プロパティ］をクリックします。

3 ［プロパティ］画面の［基本設定］タブで、［プリントアドバイザー］をクリックします。

4 画面の表示にしたがって操作します。

個別に設定をかえる

次のように操作してください。

1 アプリケーションで文書を開き、印刷の操作をします。

通常、ファイルメニューまたはツールバーの［印刷］をクリックします。

2 ［印刷］画面で、［プロパティ］をクリックします。

3 ［プロパティ］画面で、変更したいタブや画面で設定を変更します。

変更したあとで、元の設定に戻したいときは、［標準に戻す］をクリックします。

4 変更を確定して画面を閉じるときは、[OK] をクリックします。

変更した設定が適用されて画面が閉じます。

変更を取り消して画面を閉じるときは、［キャンセル］をクリックします。

12章 PC パソコンに画像を読み込もう

画像の読み込みについて

原稿台ガラスから読み込んだ（スキャンした）画像を、印刷せずに電子データとしてパソコンに保存できます。スキャンした画像は、JPEG、TIFF、Bitmap などの一般的なファイル形式でパソコンに保存できます。パソコンに保存した画像データは、画像処理ソフトウェアでかんたんに加工できます。また、アプリケーション（OCR ソフトウェア）を利用すれば、読み込んだ文字原稿をテキストデータに変換することも可能です。

画像を読み込む前に

画像を読み込む前に、次のことを確認してください。

ソフトウェア（MP ドライバと MP Toolbox）はインストールされていますか？
まだソフトウェアをインストールしていないときは、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

スキャンする原稿は、原稿台ガラスにセットできる原稿の条件に合っていますか？
詳しくは、21 ページをご覧ください。

電源を入れたあとやパワーセーブ（→ 141 ページ）から復帰したあとすぐにスキャンすると、画像をきれいに読み込めないことがあります。1 分以上たってからスキャンしてください。

読み込みの３つの方法

パソコンに画像を読み込むには、次の 3 つの方法があります。

- MP Toolbox を使う（→ 124 ページ）
- TWAIN または WIA（Windows XP のみ）互換のアプリケーションを使う（→ 125 ページ）
- 本機の操作パネルを使って読み込む（→ 126 ページ）

これらの方法について、次で詳しく説明します。

パソコンに本機を接続して画像を読み込んでいるときや、パソコンがスリープモードまたはスタンバイモードのときに USB ケーブルを抜き差ししないでください。

MP Toolbox で読み込む

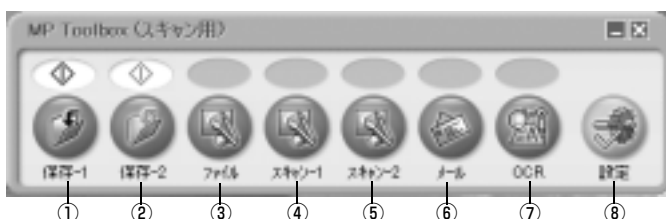
MP Toolbox に表示されているボタンを使って、原稿をパソコンに読み込んで加工したり、保存したりできます。MP Toolbox の詳しい使いかたについては、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。（→ 21 ページ）

2 デスクトップの［Canon MP Toolbox 4.1］をダブルクリックします。
またはタスクバーの［スタート］ボタンから、［（すべての）プログラム］→［Canon］→［MP Toolbox 4.1］→［Toolbox 4.1］をクリックします。

MP Toolbox が開きます。

3 目的に合った MP Toolbox のボタンをクリックします。

①保存 -1	原稿を白黒で読み込んで、保存します。
②保存 -2	原稿をカラーで読み込んで、保存します。
③ファイル	原稿を読み込んで、PDF ファイルとして保存します。
④スキャン -1	原稿を読み込んで、登録されたアプリケーションで表示します。
⑤スキャン -2	原稿を読み込んで、登録されたアプリケーションで表示します。
⑥メール	原稿を読み込んで、E メールソフトウェアで画像を添付したメールを作成します。
⑦ OCR	原稿を読み込んで、OCR ソフトウェア（文字読み取りソフトウェア）でテキストデータに変換します。
⑧設定	本機以外のスキャナをパソコンに接続している場合、使用するスキャナを変更できます。また、MP Toolbox のボタンと、スキャナの［モノクロスタート］キーと［カラースタート］キーの対応を設定します。

セットアップ CD-ROM に収録されているアプリケーションの一部は、インストールすると、MP Toolbox のボタンに登録されます。

［OCR］ボタン	e.Typist エントリー
［スキャン -1］ボタン	ArcSoft Photo Studio

4 設定画面が表示されたら、必要に応じて設定を行います。

ここで表示される画面の設定については、『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

例：［メール］ボタンの設定画面

5 ［実行］をクリックします。

原稿が読み込まれます。

参考

- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  - ［マイ　ドキュメント］フォルダの中に［マイ　ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  - ［マイ　ドキュメント］フォルダの中に［マイ　ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ　ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
- 3 の操作で［ファイル］や［スキャン -1］、［スキャン -2］、［メール］、［OCR］をクリックしたときは、読み込みが終わると、読み込んだ原稿がアプリケーションに表示されます。メールの送信やOCR の変換などの操作をしてください。セットアップ CD-ROM のアプリケーションをインストールしていないときや、［スキャン画像の渡し先］が設定されていないときは、原稿がアプリケーションに表示されません。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

アプリケーションから読み込む

TWAIN か WIA（Windows XP のみ）に対応したアプリケーションを操作しながら画像を読み込んで、その画像をアプリケーションで使うことができます。
この操作は、アプリケーションによって異なります。ここでは、一例として示します。
詳しい操作のしかたは、該当するアプリケーションの取扱説明書をご覧ください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。（→ 21 ページ）

2 アプリケーションで原稿を読み込むためのコマンド（「読み込み」、「イメージの取得」など）を選びます。

3 スキャナドライバを選びます。

Windows XP では、スキャナドライバとして、ScanGear MP（TWAIN）と WIA ドライバを使うことができます。

- ●ScanGear MP を使うときは、［Canon MP 390］を選びます。
- ●WIA ドライバを使うときは、［WIA Canon MP 390］を選びます。

4 必要に応じて、スキャナドライバの画面でスキャン結果を事前に確認（プレビュー）しながら、設定を細かく調整します。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

5 ［スキャン］をクリックします。

読み込みが終わると、アプリケーションの画像表示領域に読み込んだ画像が表示されます。

本機の操作パネルを使って読み込む

本機の［カラースタート］または［モノクロスタート］キーを押すだけで、原稿をパソコンに読み込むことができます。［カラースタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存-2］ボタンをクリックしたときと同じように読み込まれます。［モノクロスタート］キーを押すと、MP Toolbox の［保存 -1］ボタンをクリックしたときと同じように読み込まれます。［保存 -1］や［保存 -2］ボタンの設定をかえたり、他のボタンと同じ動作にすることもできます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 原稿台ガラスに原稿をセットします。（→ 21 ページ）

2 ［スキャン］を押します。

本機がスキャンモードに切りかわります。

3 カラースキャンをする場合は、［カラースタート］を押し、白黒スキャンをする場合は、［モノクロスタート］を押します。

原稿が読み込まれます。

- ［カラースタート］または［モノクロスタート］を押したあと、MP Toolbox とその設定画面が開きますが、［実行］ボタンをクリックしなくても画像は読み込まれます。
- これ以降の操作は、設定状況により異なります。
- 原稿が読み込まれる場所は、お使いのパソコンの環境により異なります。
  - ［マイ　ドキュメント］フォルダの中に［マイ　ピクチャ］フォルダがある場合は、そこに読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。
  - ［マイ　ドキュメント］フォルダの中に［マイ　ピクチャ］フォルダがない場合は、［マイ　ドキュメント］フォルダの中に読み込まれた日付のフォルダが作成され、その中に原稿が保存されます。

13章 お手入れ

インクタンクを交換する

インク残量警告

インクが少なくなると、LCD ディスプレイに〈クロインク スクナク ナッテイマス〉、〈カラーインク スクナク ナッテイマス〉、または〈カラー／クロインク スクナク ナッテイマス〉と警告が表示されます。インクがなくなる前に新しいインクタンクを準備してください。

コピーや写真プリント、受信したファクスの印刷などをしている途中で警告が表示され印刷が止まったときは、［セット］キーを押すと再度印刷できます。ただし、印刷できる枚数に限りがありますので注意してください（パソコンから印刷しているときは、この警告が表示されても印刷は止まりません）。

インクの残量はいつでも確認できます。（→ 134 ページ）

インク残量が少なくなっているのに（→ 134 ページ）、インク残量警告メッセージが表示されないときは、〈インク ザンリョウ ケイコク〉（→ 179 ページ）を〈スル〉にしてください。

インクタンクの交換時期

きれいに印刷されないとき、または何も印刷されないときは、インクタンクを交換してください。ただし、インクタンクを交換する前に、135 ページのフローチャートを見て、ほかに原因がないか調べてください。

使えるインクタンクの種類

次のインクタンクを使うことができます。

●ブラックインクタンク〈BCI-24 Black〉
●カラーインクタンク〈BCI-24 Color〉

⚠ 注意

- プリントヘッドとインクタンクはお子様の手が届かない場所に保管してください。もし誤って飲み込んだときは、ただちに医師の診断を受けてください。
- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクの使用をおすすめします。また、インクを詰めかえたインクタンクを使用することで発生した被害、損害などは、キヤノンでは保証しておりません。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。使いかけのインクタンクを装着すると、ノズルが詰まる原因になります。また、インクタンク交換時期を正しくお知らせできません。
- インクの品質を維持するため、インクタンクは購入後 1 年以内に使いきるようにしてください。また、本機にセットしたら 6 か月を目安に使いきってください。

- インクタンクを梱包している袋は、お使いになる直前まで開封しないでください。開封したインクタンクは6か月以内に使いきるようにしてください。
- 印刷後の用紙にぬれた手で触ったり、水などをこぼしたりしないようにしてください。インクがにじむことがあります。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。そのまま放置しておいたインクタンクを使うと、きれいに印刷できません。

使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJ カートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に 3000 拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJ カートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

インクタンクを交換する

ここでは、インクタンクを交換する方法について説明します。インクタンクを交換する前に、「インクタンクの交換時期」（→ 128 ページ）をご覧ください。
交換したあとは、なるべく早くインクカウンタをリセットしてください。（→ 132 ページ）交換してから何度か印刷したあとにリセットすると、インクタンクの交換時期を知らせるメッセージが適切に表示されなくなります。

⚠ 注意

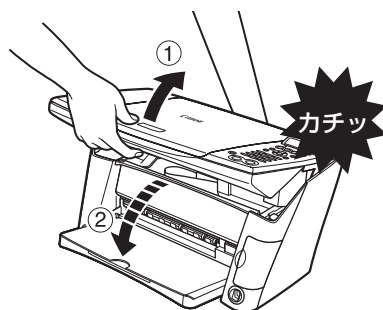
本機が動作中のときには、インクタンクを交換しないでください。

次のように操作してください。

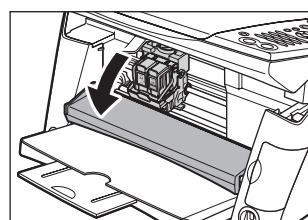
1 電源が入っていることを確認します。

2 スキャンユニットを止まるまで持ち上げます①。

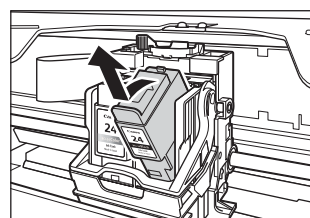
電源が入っているときは、スキャンユニットを持ち上げると自動的に排紙トレイが開きます②。排紙トレイが自動で開かないときは、左下にある排紙トレイオープンボタンを押して排紙トレイを開けます。

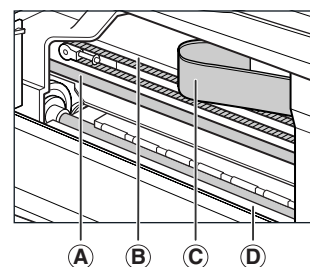
プリントヘッドホルダが中央へ移動します。

3 内カバーを開きます。

⚠ 注意

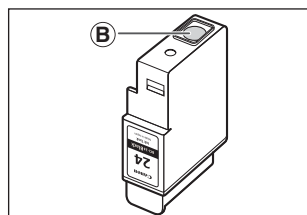
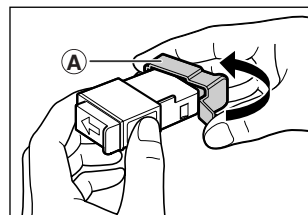
- プリントヘッドホルダを手で止めたり、無理に動かしたりしないでください。
- 本体内部の金属部分に触れないでください。

4 インクタンクの上部のつまみを引いて、空のインクタンクをプリントヘッドから取り外します。

⚠ 注意

- プリントヘッドは、取り外さないでください。
- インクタンクは、ひとつずつ取り外してください。
- 丸い軸Ⓐ、透明フィルムⒷ、フィルムケーブルⒸ、スポンジ部分Ⓓ、そのほかの金属部分には触れないでください。

重要

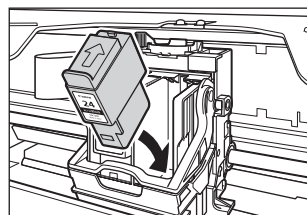
- 使用済みのインクタンクの処分については、「インクタンクの回収」（→ 129 ページ）をご覧ください。
- インクが衣類などに付くと落ちにくいので注意してください。

5 新しいインクタンクを袋から取り出し、オレンジ色の保護キャップⒶを外します。

▲ 注意

- インクの出口Ⓑには触れないでください。
- インクタンクをふったり落としたりしないでください。インクがもれて、服や手を汚すことがあります。
- 一度外した保護キャップは、再装着しないでください。

6 プリントヘッドにインクタンクを斜めに差し込みます。

カチッと音がするまでしっかりと押してください。

重要

- ブラック（クロ）インクタンクは、プリントヘッドの右側にセットしてください。
- カラーインクタンクは、プリントヘッドの左側にセットしてください。

7 もう片方のインクタンクを交換するときは、4～6の操作をくり返します。

8 内カバーを閉じます。

▲ 注意

内カバーの中央部をカチッと音がするまで押して閉じてください。

9 スキャンユニットをもとの位置に戻します。

LCD ディスプレイに、インクタンクを交換したかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

インクヲ　コウカン　シマシタカ?
ー　ハイ　　　　　　　イイエ　+

10 [◀] を押します。

ブラック (クロ) インクタンクを交換したかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

クロインクヲ　コウカン　シマシタカ?
ー　ハイ　　　　　　　イイエ　+

[◀] または [▶] 以外のキーは押さないでください。

11 ブラック (クロ) インクタンクを交換したときは、[◀] を押します。交換していないときは、[▶] を押します。

カラーインクタンクを交換したかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

カラーインクヲ　コウカン　シマシタカ?
ー　ハイ　　　　　　　イイエ　+

12 カラーインクタンクを交換したときは、[◀] を押します。交換していないときは、[▶] を押します。

これでインクカウンタはリセットされ、インクタンクの交換は完了しました。

- インクタンクのインク残量を確認したいときは、134 ページをご覧ください。
- [▶] を押すとインクカウンタがリセットされないので、インクタンクを交換したときは必ず [◀] を押してください。
- あやまって [▶] を押したときは、インクカウンタをリセットしてください。

インクカウンタをリセットする

インクカウンタは、インクタンクの使用量を記録しています。新しいインクタンクをセットしたときは、インクカウンタをリセットしてください。また、現在のインク残量を知りたいときは、LCD ディスプレイを見るとすぐにわかります。
インクタンクを交換すると、インクカウンタのリセットを指示するメッセージがLCDディスプレイに表示されます。インクタンクの交換時に、インクカウンタをリセットしなかった場合は、次のように操作して、インクカウンタをリセットしてください。

- PC インクカウンタは、パソコンからもリセットできます。(→『ソフトウェアガイド』(電子マニュアル))
- エラーランプ点灯中はインクカウンタのリセットはできません。

次のように操作してください。

1 [ユーザモード] を押します。

2 [◄] か [►] で、〈2. インク ザンリョウ〉を選びます。

```
ユーザ データ
 2.インク ザ ンリョウ
```

3 [セット] を押します。

```
インク ザ ンリョウ
 1.インク ザ ンリョウ ケイコク
```

4 [◄] か [►] で、〈2. インクカウンタ リセット〉を選びます。

```
インク ザ ンリョウ
 2.インクカウンタ リセット
```

5 [セット] を押します。

ブラック (クロ) インクタンクを交換したかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

```
クロインクヲ コウカン シマシタカ?
 ー ハイ             イイエ +
```

6 ブラック (クロ) インクタンクを交換したときは、[◄] を押します。交換していないときは、[►] を押します。

カラーインクタンクを交換したかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

```
カラーインクヲ コウカン シマシタカ?
 ー ハイ             イイエ +
```

参考

[◄] または [►] 以外のキーは押さないでください。

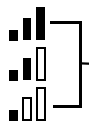
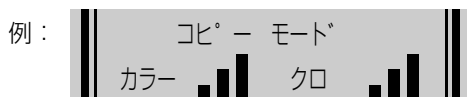
13 お手入れ

7 カラーインクタンクを交換したときは、[◀] を押します。交換していないときは、[▶] を押します。

これでインクカウンタはリセットされました。

［ストップ／リセット］を押して、もとの画面に戻ります。

インクの残量を調べる

インクタンクの取り付け、または交換をした直後にインクカウンタをリセットしておくと、現在のインクの残量を正確に確認することができます。
［コピー］、［ファクス］、［スキャン］、または［フォトプリント］を押すことにより、インク残量を確認することができます。LCD ディスプレイに次の表示が約 3 秒間表示されます。

例：
インクタンクのおおよその量を示します。

？　インクカウンタがリセットされていないことを示します。（→ 179 ページ）

〈インクザンリョウ ケイコク〉（→ 179 ページ）を〈シナイ〉にするとメッセージは表示されません。

プリントヘッドのメンテナンス

ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認してから、プリントヘッドをクリーニングしたり、プリントヘッドの位置を調整したりします。

メンテナンス操作の流れ

Step 1

ノズルチェックパターンを印刷する。
プリントヘッドのノズルから正常にインクが出ているか、プリントヘッドの位置がずれていないかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンの印刷のしかたとパターンの見かたについては、136、137 ページをご覧ください。

パターンがきれいに印刷されないとき

Step 2

プリントヘッドをクリーニングする。
(→ 138 ページ)

パターンがきれいに印刷されないとき

Step 3

プリントヘッドをより強力にクリーニングする。(→ 138 ページ)

パターンがきれいに印刷されないとき

Step 4

新しいインクタンクに交換する。
(→ 129 ページ)

パターンがきれいに印刷されないとき

A～K列のパターンに縦すじが目立つとき

Step 2

プリントヘッドの位置を調整する。
(→ 139 ページ)

パターンがきれいに印刷されないとき

Step 3

新しいインクタンクに交換する。
(→ 129 ページ)

パターンがきれいに印刷されないとき

プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターに連絡してください。

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドの状態を調べるときは、ノズルチェックパターンを印刷します。

PC ノズルチェックパターンは、パソコンからも印刷できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットします。

2 [ユーザモード] を押します。

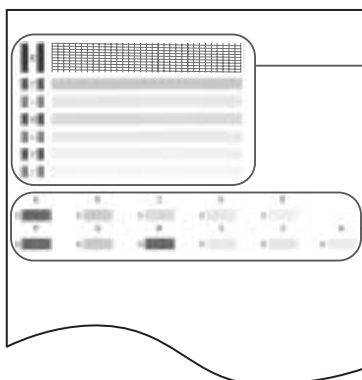
3 [◀] か [▶] で、〈3. メンテナンス〉を選びます。

ユーザ データ
3 . メンテナンス

4 [セット] を押します。

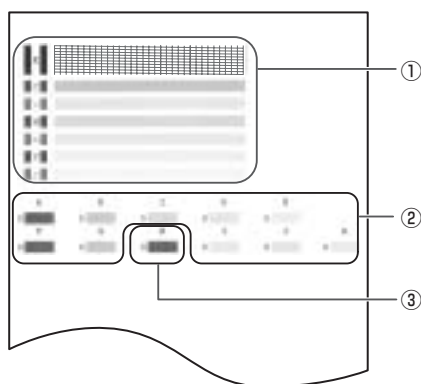
メンテナンス
1 . プリンタ ノズル チェック

5 [セット] を押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

ノズルチェックパターン
ノズルチェックパターンの確認については 137 ページをご覧ください。

プリントヘッドの位置
パターンの確認については 137 ページをご覧ください。

ノズルチェックパターンを確認する

ノズルチェックパターンの説明をします。

インク残量が少ないとノズルチェックパターンが正しく印刷されません。インク残量が少ない場合はインクタンクを交換してください。（→ 129 ページ）

パターン①で線が欠けていたり、白いすじがある場合：

1. プリントヘッドのクリーニングが必要です。（→ 138 ページ）

線が欠けている場合　　　　白いすじがある場合

パターン②にむらがある場合：

1. プリントヘッドの位置調整が必要です。（→ 139 ページ）

むらがある場合　　　　むらがない場合

パターン③に白い縦すじが目立つ場合：

1. プリントヘッドの位置調整が必要です。（→ 139 ページ）

縦すじがある場合

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンが乱れたり欠けたりしているとき、または特定の色が印刷されないときは、プリントヘッドをクリーニングします。

- プリントヘッドのクリーニングは、少量のインクを消費します。ひんぱんにクリーニングすると、インクの減りが早くなります。
- コンセントを差し込んだときにも、プリントヘッドのクリーニングが行われます。また、電源が入っている状態でも定期的にクリーニングが行われます。
- PC パソコンからもプリントヘッドのクリーニングを行えます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 **［ユーザモード］を押します。**

2 **［◀］か［▶］で、〈3. メンテナンス〉を選びます。**

3 **［セット］を押します。**

4 **［◀］か［▶］で、〈2. ヘッド クリーニング〉または〈3. ヘッドリフレッシング〉を選びます。**

例：

```
メンテナンス
 2.ヘッド゛クリーニング゛
```

ヘッドクリーニング：　プリントヘッドをクリーニングします。
ヘッドリフレッシング：　より強力にプリントヘッドをクリーニングします。

5 **［セット］を押します。**

例：

```
ヘッド゛クリーニング゛
```

ヘッドクリーニングをしてもきれいに印刷できないときは、ヘッドリフレッシングを行ってください。

プリントヘッドの位置を調整する

ノズルチェックパターンを印刷した結果（→ 137 ページ）、パターンが均一でないときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

PC パソコンからもプリントヘッド位置を調整できます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

次のように操作してください。

1 用紙トレイに A4 サイズの用紙をセットします。

2 [ユーザモード] を押します。

3 [◄] か [►] で、〈3. メンテナンス〉を選びます。

4 [セット] を押します。

5 [◄] か [►] で、〈4. ヘッド イチ チョウセイ〉を選びます。

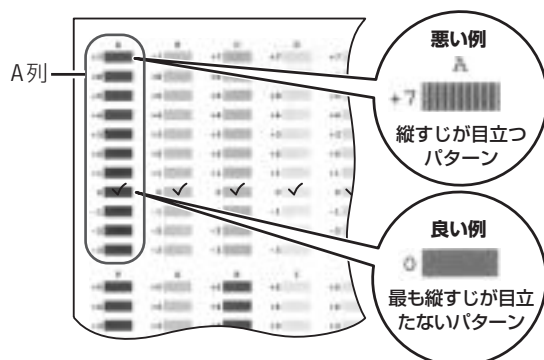
メンテナンス
 4.ヘッド゛ イチ チョウセイ

6 [セット] を押します。

ヨコ ホウコウ パ゜ターン
フ゜リント シ゛ュンヒ゛チュウ...

パターンが印刷されます。

13
お手入れ

7 印刷されたパターンのA列から順に、最も縦すじが目立たないパターンにチェックマークを付けてください。

8 印刷されたパターンのA列から順番に、**7** でチェックしたパターン番号を［◄］か［►］で選びます。

例：
9 ［セット］を押します。

例：

ヨコ　ホウコウ　チョウセイ
B　　0

10 **8** と **9** の操作をくり返して、B ～ K 列を調整します。

コピーやスキャン結果の色合いを調整する

コピーやスキャンされた写真などの色合いが原稿と違うときは、キャリブレーション機能を使って印刷結果の色合いを調節することができます。

次のように操作してください。

1 ［ユーザモード］を押します。

2 ［◄］か［►］で、〈3. メンテナンス〉を選びます。

3 ［セット］を押します。

4 ［◄］か［►］で、〈6. キャリブレーション〉を選びます。

メンテナンス
　6．キャリブ゛レーション

5 ［セット］を押します。

キャリブ゛レーションチュウ．．．

色合いの調整が始まります。

調整が終わると、もとの画面に戻ります。

パワーセーブタイマーを設定する

パワーセーブとは、読み込みランプが消えている状態のことをいいます。
この機能で、パワーセーブに入るまでの時間を設定することができます。
パワーセーブから復帰したあとすぐにご使用になると、画像をきれいに読み込めないことがあります。頻繁にご使用になる場合は、パワーセーブタイマーを 4 時間または 8 時間に設定することをおすすめします。

重要

- パワーセーブから復帰したあとにコピー、スキャン、またはファクスを送信するときは、1 分以上たってからご使用ください。
- 工場出荷時の設定は 1 時間になっています。

次のように操作してください。

1 ［ユーザモード］を押します。

2 ［◄］か［►］で、〈8. パワーセーブ タイマーセット〉を選びます。

ユーザ゛デ゛ータ
　8．パ゜ワーセーブ゛　タイマーセット

3 ［セット］を押します。

例：

パ゜ワーセーブ゛　タイマーセット
1　シ゛カン

4 ［◄］か［►］で、パワーセーブが開始される時間を選びます。

1 ジカン：　操作パネルのキーを 1 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。
4 ジカン：　操作パネルのキーを 4 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。
8 ジカン：　操作パネルのキーを 8 時間以上押さない状態が続くとパワーセーブモードになります。

5 ［セット］を押します。

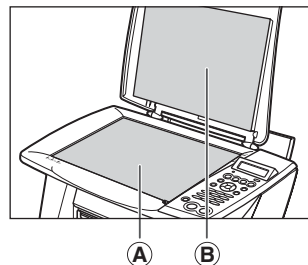
清掃する

ここでは、清掃のしかたについて説明します。

⚠ 注意

- 清掃する前に、電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 電源を切ると、メモリに保存されている原稿はすべて消去されます。電源を切るときは、必要な原稿を印刷しておいてください。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。部品に紙の粉が付き、静電気の原因になることがあります。部品を傷つけないように、必ず柔らかい布を使ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の化学薬品は使わないでください。故障の原因になります。

原稿台ガラスおよび原稿台カバーの清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を用意してください。水に浸し、固くしぼってから、原稿台ガラスⒶと原稿台カバーの裏側（白い部分）Ⓑの汚れや、ほこりを拭き取ります。そのあと、乾いた柔らかい布で水気を拭き取ります。とくにガラス面は、拭いたあとが残らないように十分拭き取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めて使ってください。

外側の清掃

きれいで柔らかく、糸くずの出ない布を水に浸し、固くしぼってからていねいに本体外側を拭きます。

ローラの清掃

用紙がうまく送られないときは、ローラを清掃してください。

次のように操作してください。

1 用紙トレイから用紙を取り除きます。

2 [ユーザモード] を押します。

3 [◄] か [►] で、〈3. メンテナンス〉を選びます。

4 [セット] を押します。

5 [◄] か [►] で、〈5. キロク ローラ クリーニング〉を選びます。

メンテナンス
5．キロク　ローラ　クリーニング

6 [セット] を押します。

キロク　ローラ　クリーニング

ローラの清掃が行われます。

7 クリーニングが終わったら、2から6の操作を 2 回くり返します。

8 用紙トレイにA4の普通紙をセットして、2から6の操作を3回くり返します。

13
お手入れ

14章 困ったときには

◆ 用紙が詰まったとき

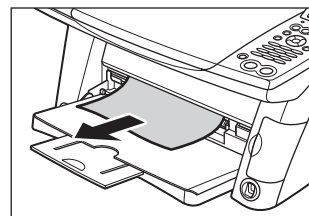
詰まった用紙の取り除きかた

LCD ディスプレイに〈カミヅマリヲ トリノゾイテクダサイ〉、〈セットキーヲ オシテクダサイ〉と表示されたときは、次のように操作して、詰まった用紙を取り除いてください。ファクスの受信中に用紙が詰まったときは、受信したファクスはメモリに保存されます。詰まった用紙を取り除いて、［セット］を押すと、印刷されます。

排紙口で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 排紙口から、詰まっている用紙をゆっくり引き出します。

排紙口から用紙が見えていないときは、本体内部から用紙を取り除いてください。

2 ［セット］を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

用紙トレイ側で用紙が詰まったとき

次のように操作してください。

1 詰まった用紙を用紙トレイ側からそっと引き出します。

2 ［セット］を押します。

PC アプリケーションから印刷していたときは、パソコンの画面表示にしたがってください。

紙づまりがたびたび起きるとき

ローラに不具合がある場合、または用紙のセットのしかたに問題がある場合に、紙づまりがよく起こります。次の点に注意して、用紙をセットしなおしてください。

チェック項目	チェックポイント	対処方法
ローラ	ローラが汚れていませんか？	ローラを清掃してください。（→ 143 ページ）
	ローラは動いていますか？	ローラが正しく動作していないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。
用紙	用紙どうしがくっ付いていませんか？	用紙をよくさばいてください。
	用紙の端はそろっていますか？	用紙の端をそろえてください。
	用紙ガイドは用紙にぴったりと沿っていますか？	用紙ガイドの位置を正しく調整してください。
	用紙トレイにセットできる最大枚数を超えていませんか？	最大用紙量のマークを超えないように用紙をセットしてください。（→ 30 ページ）
	種類の異なる用紙を一度にセットしていませんか？	同じ種類の用紙だけをセットしてください。
	本機で使用できる用紙をセットしていますか？	条件に合っている用紙を使ってください。（→ 22 ページ）

◆ カバーがしまらないとき

内カバーがしまらないとき

原因	対処方法
スキャナユニットを先に閉めてしまった	スキャンユニットを止まるまで持ち上げ、内カバーの中央部をカチッと音がするまで押して閉じてから、スキャンユニットを元の位置に戻してください。

排紙トレイがしまらないとき

原因	対処方法
内カバーをきちんと閉じていない	スキャンユニットを止まるまで持ち上げ、内カバーの中央部をカチッと音がするまで押してください。

排紙トレイが開かない

原因	対処方法
本機をかたむけて設置している	本機を平らな場所に設置してください。

◆ 予期せず電源が切れたとき

停電や誤って電源コードをコンセントから抜いてしまった場合でも、内蔵されている電池により、ユーザデータや電話帳の設定は保持されます。ただし、メモリに保存されていた原稿はすべて消えます。

電源が切れると、本機は次のような状態になります。
・ファクスの送受信やコピーはできません。
・本機に電話が接続されていれば、電話を受けることはできます。
・電話をかけることができるかどうかは、電話機によって異なります。

電源を入れると、メモリクリアリスト（電源が切れたときにメモリに保存されていた原稿のリスト）が自動的に印刷されます。

用紙サイズが、A4、LTR、または LGL 以外に設定されていた場合、あるいは用紙やインクが切れていた場合、メモリクリアリストは印刷されません。
電源を入れたときにインクが切れていたり、用紙トレイに用紙がセットされていないときは、LCD ディスプレイに〈インクガ アリマセン〉または〈ヨウシガ アリマセン〉と表示されます。このように表示されたら、［セット］を押して、もとの画面に戻してください。この場合、インクを交換したり、用紙を補充してもメモリクリアリストは印刷されません。

◆ LCD ディスプレイになにも表示されないとき（電源が入らないとき）

電源コードを本機とコンセントに接続し、［電源］キーを押すと、本機の電源が入り、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。

エラーランプが点滅している間は、本機を初期化しているので、その間はご使用になれません。エラーランプの点滅が止まるまでお待ちください。

LCD ディスプレイに何も表示されないときは、次の表の中から原因を探し、対処してください。

原因	対処方法
電源コードが正しく接続されていない	電源コードを本機とコンセントにしっかりと接続してください。
［電源］キーを押していない	電源コードを接続し、［電源］キーを押すと、電源が入り、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。
コンセントに電流が流れていない	コンセントにほかの電気製品を接続して、コンセントが正常かどうか確認してください。
テーブルタップや OA タップ延長コードなどに電源コードを接続して使っている	テーブルタップや OA タップ延長コードなどを使っているときは、それらを外して電源コードを直接コンセントに接続してください。直接接続して電源が入る場合は、それらが断線していると思われるので、交換してください。また、それらに電源スイッチがあるときは、電源が入っていることを確認してください。
電源コードが断線している	別の電源コードに交換するか、テスターを使って、電源コードが断線していないか確認してください。

◆ うまく印刷されないとき

まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき

コピーしているときやパソコンから印刷しているとき、またはファクスの印刷をしているとき

原因	対処方法
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 162 ページ）をご覧ください。
インクタンクが正しくセットされていない	スキャンユニットを止まるまで持ち上げ、内カバーを開けてインクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。また、インクタンクが正しい位置にセットされているかも確認してください。（→ 129 ページ）
正常にインクが出ていない、またはプリントヘッドの位置がずれている	ノズルチェックパターンを印刷してください。（→ 136 ページ）
用紙が厚すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。（→ 22 ページ）
用紙トレイにセットできる最大枚数を超えている	用紙が最大枚数、または最大用紙量のマークを超えているときは、用紙を減らしてください。（→ 22 ページ）
用紙が正しくセットされていない	用紙が用紙トレイに正しくセットされていて、用紙ガイドが正しく調整されているか確認してください。（→ 30 ページ）
用紙が折れたり反ったり（カール）している	折れた用紙は使えません。反った用紙は反りをなおしてからセットしてください。
ローラが汚れている	ローラを清掃してください。（→ 143 ページ）
用紙トレイに異物が入っている	確認して、異物があるときは取り除いてください。
インクが少なくなっている、またはなくなっている	インク残量を確認し、必要な場合は交換してください。
紙間選択レバーが正しくセットされていない	誤った位置に紙間選択レバーをセットした状態で、インクを大量に使用する原稿をたくさんコピーまたはパソコンから印刷するときは、印刷面がこすれたり、丸まったりします。用紙の種類に合わせて、紙間選択レバーを正しい位置に調整してください。（→ 28 ページ）
おすすめの用紙を使っていない	おすすめの用紙を使ってください。（→ 22 ページ）
本機またはパソコンから設定した用紙の種類と、セットした用紙の種類が異なる	本機の操作パネルで、セットした用紙の種類を設定してください。（→ 34 ページ）

プリントヘッドが汚れている	プリントヘッドをクリーニングしてください。(→ 138 ページ)
本機の内部が汚れている	内部がインクや紙粉で汚れていると、印刷面がこすれたり、インクで汚れたりします。清掃してください。(→ 142 ページ)

コピーしているとき

原稿が正しくセットされていない	原稿が、原稿台ガラスに正しくセットされているか確認してください。(→ 21 ページ)
コピーしたい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、原稿に合わせて画質を調節してください。(→ 36 ページ)
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	コピーする面を下にして原稿台ガラスにセットしてください。
本機で印刷したものを原稿としてセットしている	本機で印刷した原稿をコピーすると、きれいに印刷されないことがあります。メモリカードから印刷しなおすか、パソコンから印刷しなおしてください。
原稿台ガラスと原稿台カバーの裏側が汚れている	原稿台ガラスと原稿台カバーの裏側を清掃してください。(→ 142 ページ)

用紙が丸まってしまったとき

原因	対処方法
用紙が薄すぎる	64 g/m^2 ～ 105 g/m^2 の用紙を使ってください。(→ 22 ページ)
セットする前から用紙が反っている(カールしている)	反りをなおしてからセットしてください。
インクを大量に使う印刷をしている	高品位専用紙やキヤノン光沢紙など厚めの用紙を使ってください。

印刷が途中で止まるとき

コピーしているときやパソコンから印刷しているとき、またはファクスの印刷をしているとき

原因	対処方法
用紙がうまく送られない	「まったく印刷されない、きれいに印刷されないとき」(→ 147 ページ) をご覧ください。

長い時間、連続して印刷している	長時間、印刷を続けていると、プリントヘッドが過熱し、プリントヘッドを保護するため、印刷が一時的に停止します。しばらくすると印刷が再開されます。区切りのいいところで印刷を中断し、電源を切って 15 分以上お待ちください。 ⚠ 注意 プリントヘッドの周りはたいへん熱くなっているので、触らないでください。

コピーしているとき

写真やイラストなどが多く入っている原稿をコピーしている	データ処理に時間がかかり、止まったように見えます。処理が終わるまでお待ちください。コピーする部分が多い原稿や 2 部以上のコピーを行うと、インクを乾かす時間をとるために印刷が止まることがあります。

◆ メモリカード使用時のトラブル

メモリカードが認識されない

原因	対処方法
メモリカードがカードスロットに正しく差し込まれていない	・ メモリカードをしっかり差し込んでください。(→ 60 ページ) ・ メモリカードを正しいカードスロットに入れなおしてください。(→ 60 ページ) ・ メモリカードのおもて面（ラベル面）が外側になるように、カードスロットに差し込んでください。(→ 60 ページ)
xD Picture カードをカードスロットに直接差し込んでいる	xD Picture カードは CF カードアダプタに差し込んでからカードスロットに差し込んでください。
メモリカードまたは CF カードアダプタ（xD Picture カードの場合）が壊れている	別のメモリカードで試してみてください。別のメモリカードで問題なく印刷できるときは、メモリカードが壊れている可能性があります。このような場合は、デジタルカメラでメモリカードをフォーマットすると回復することがあります。メモリカードをフォーマットすると、メモリカードのデータはすべて消去されます。パソコンで画像データを読めるときは、画像データをコピーしてから、フォーマットしてください。 別のメモリカードを使っても問題が解決しないときは、CF カードアダプタが壊れているか、メモリカードが本機でうまく動作していません。

メモリカード内の画像が認識されない

原因	対処方法
メモリカードに画像が入っていない	メモリカードに画像データが入っているかどうか、デジタルカメラかパソコンで確認してください。

メモリカードの中に無効な画像データが入っている	LCD ディスプレイに < メモリカードニ ファイルガアリマセン > と表示されているときは、メモリカードの中に無効な画像データしかありません。また、メッセージが表示されているときは、166 ページをご覧ください。

メモリカードからうまく印刷できない

原因	対処方法
インデックスに「？」が印刷される	画像データが DCF に対応されていなかったり、JPEG 形式ではない可能性があります。デジタルカメラかパソコンでデータを確認してください。また画像データが大きすぎる可能性があります。本機から印刷できないときは、パソコンから印刷してみてください。

PC メモリカードに書き込めない

原因	対処方法
〈カード カキコミ キンシ〉が〈スル〉になっている、またはフォトプリントモードになっている	ユーザモードから〈カード カキコミ キンシ〉を〈シナイ〉にします。フォトプリントモード以外にしてから USB ケーブルを外し、もう一度接続しなおしてください。
SD メモリカードに書き込めない	SD メモリカードの場合、差し込みかたによっては、まれに書き込み禁止のロックがかかってしまいます。このような場合は SD メモリカードのロックを解除したあと、書き込み禁止がロックされないように注意して、差し込んでください。

PC Windows エクスプローラに［リムーバブルディスク］が表示されない

原因	対処方法
ローカルボリュームと CD-ROM ドライブの次に空いているドライブをネットワークドライブに割り当てている	次のように操作してください。 1. ネットワークドライブに別のドライブを割り当てる。 2. パソコンを再起動する。

PC ［取り外し］アイコンが表示されない（Windows 2000）

原因	対処方法
複合機の場合は、電源を切ったり、USB ケーブルを外したりしたときに表示される［デバイスの取り外しの警告］画面で、［タスクバーに［取り外し］アイコンを表示する］にチェックマークを付けても、Windows2000 では［取り外し］アイコンは表示されない	本機の電源を切ったり、USB ケーブルを外したりしたときに、［取り外し］アイコンを使って取り外しの操作をする必要はありません。

PC［ハードウェアの追加と削除］画面の［ハードウェアデバイス］欄に本機が表示されない（Windows 2000）

原因	対処方法
複合機の場合は、［ハードウェアの追加と削除］画面の［ハードウェアデバイス］欄に本機が表示されない	［デバイスの取り外しの警告］画面で、「次のデバイスを取り外すには、コントロールパネルの［ハードウェアの追加と削除］を使用して、デバイスを停止してください。」と表示されますが、本機の電源を切ったり、USB ケーブルを外したりするときに、［ハードウェアの追加と削除］を使って取り外しの操作をする必要はありません。

PC Windows エクスプローラで［縮小版］表示できない（Windows 2000）

原因	対処方法
〈カード カキコミ キンシ〉が〈スル〉になっている、またはフォトプリントモードになっている	ユーザモードから〈カード カキコミ キンシ〉を〈シナイ〉にします。フォトプリントモード以外にしてから USB ケーブルを外し、もう一度接続しなおしてください。

PC メモリカードがリムーバブルディスク以外のドライブとして認識されてしまう

原因	対処方法
メモリカードをセットしたままパソコンを起動している	パソコンによっては、このような現象が起こる場合があります。メモリカードを取り出してから、パソコンを起動しなおしてください。

PC パソコンが起動しない

原因	対処方法
メモリカードをセットしたまま、パソコンを起動した	パソコンによっては、このような現象が起こる場合があります。本機にメモリカードをセットしてパソコンに接続していると、パソコンが起動しないことがあります。メモリカードを取り出してからパソコンを起動してください。 パソコンの BIOS の設定で、Windows を起動するハードディスクの起動順序を、USB デバイスより先にするとメモリカードをセットしたままでもパソコンを起動できるようになります。BIOS の設定のしかたについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

◆ PC インストール・アンインストールがうまくいかないとき

MP ドライバ /MP Toolbox 共通

原因	対処方法
『セットアップガイド』の手順に沿ってインストールしていない	手順をまちがえているときは、インストールをやりなおしてください。 エラーが発生してインストールが途中で終わってしまったときは、パソコンを再起動してからインストールをやりなおしてください。

ほかのアプリケーションが起動している	ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションが起動しているときは、すべて終了させてから、インストールをやりなおしてください。

古いMultiPASSのソフトウェアがインストールされている（スタートメニューの［プログラム］に「Canon MultiPASS」で始まるものが登録されている）	古い MultiPASS のソフトウェアは、そのソフトウェアの取扱説明書にしたがってアンインストール（削除）してから、インストールをやりなおしてください。

MP Toolbox のみ

原因	対処方法
何らかの原因で、インストールが途中で止まり、不要なファイルが残っている	次の手順にしたがってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） 1. 強制上書きインストールの準備をするために、デスクトップの［マイ　コンピュータ］をダブルクリックし、CD-ROM アイコンを開いて、 ¥MP¥Japanese¥Toolbox¥Setup¥FrcInst.exe をダブルクリックします。 2. ひとつ上の階層（フォルダ）に戻り、 ¥MP¥Japanese¥Toolbox¥Setup.exe をダブルクリックして、上書きインストールします。

MP ドライバのみ

原因	対処方法
Windows 2000 Service Pack1（SP1）がインストールされていない	Windows 2000 Service Pack1 以降をインストールしてください。Service Pack の入手方法は Microsoft 社にお問い合わせください。

アンインストールに時間がかかる（Windows XP）

ほかのアプリケーションが起動している	ウイルスチェックプログラムなどのアプリケーションが起動していると、アンインストールに時間がかかることがあります。アンインストールするときは、ウイルスチェックプログラムやそのほかのアプリケーションを終了させてから、アンインストールを実行してください。

アンインストールしたのに、スタートメニューに［Canon］のフォルダが残っている

MP Toolbox より先に MP ドライバを削除した	スタートメニューから［タスクバーとスタートメニューのプロパティ］画面を開いて、［Canon］フォルダを削除してください。

「バージョンの競合」という画面が表示された（Windows 98）

パソコンに Photoshop がインストールされている	インストールの途中で、「バージョンの競合」、「Windows 98 のファイルとは言語または ...」という画面が表示されたときは、［はい］か［いいえ］をクリックしてください。どちらをクリックしてもこのあとのインストールの操作を問題なく続けられます。インストールされた MP ドライバは、問題なくご使用になれます。

Windows XP にアップグレードしたら、ソフトウェアが使えなくなった

原因	対処方法
本機のソフトウェアがインストールされている Windows 98/Me/2000 を、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）しないで、Windows XP にアップグレードした	本機のソフトウェアをアンインストールし、インストールしなおしてください。（→ 117 ページ）

［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される（Windows Me）

原因	対処方法
［デバイスマネージャ］に緑の［?］マークが表示される	Windows Me では、［デバイスマネージャ］の［USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ］の［USB 互換デバイス］に緑の［?］マークが表示されますが、問題はありません。そのままお使いください。

セットアップ CD-ROM に付属している、ArcSoft PhotoStudio や e.Typist エントリーをインストールしたが、MP Toolbox に登録されない

原因	対処方法
MP Toolbox が起動しているときにアプリケーションをインストールした	設定画面の［初期設定に戻す］をクリックすると登録されます。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

◆ PC パソコンからうまく印刷できない

原因	対処方法
BJ ステータスモニタのイラストの背景が黄色や赤になっている	BJ ステータスモニタのメッセージにしたがって対処してください。 （→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）） 「サービスエラー 5100」と表示されているとき： 詰まった用紙など、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除き、パソコンで印刷を中止してから［セット］キーを押してください。 （→ 144 ページ） それでも、メッセージが消えないときは、本機の電源を切ってから、もう一度、電源を入れてください。
DOS で印刷しようとしている	Windows でのみ印刷できます。DOS では印刷できません。
パソコンに「アプリケーションエラー」、「一般保護違反」と表示されているときは、印刷に使っているアプリケーションが、OS に対応していない	アプリケーションのパッケージや取扱説明書で調べてください。ご使用の OS に対応していない場合は、印刷はできません。
アプリケーションに十分なメモリが割り当てられていない	ほかのアプリケーションが開いているときは、それらを閉じて使用可能なメモリ容量を増やしてください。アプリケーションに必要なメモリ容量は、アプリケーションの取扱説明書で調べてください。
アプリケーションのページ設定や印刷設定が間違っている	正しい設定にしてから、もう一度印刷してください。
ハードディスクに十分な空き容量がない	不要なファイルを削除して空き容量を増やしてください。

プリンタドライバに不具合がある	MP ドライバをいったんアンインストール（削除）してから、インストールしなおしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
ケーブルが長すぎる	5 メートル以内の USB ケーブルをお使いください。
印刷の濃度が濃い	プリンタドライバで濃度を高く設定して印刷すると、用紙が波打つことがあります。プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［色調整］で［マニュアル調整］を選んでください。そのあと［設定］をクリックし、［濃度］のスライドバーをドラッグして、低い設定にしてください。
特定の文書を印刷するときにだけ、意味不明な文字や記号が印刷される	その文書を作成しなおして印刷してみてください。改善されないときは、アプリケーションに問題がある可能性があります。アプリケーションの製造元にお問い合わせください。
コート紙に印刷している	プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブで、［印刷品質］を［きれい］に設定してください。
印刷可能領域の外側に印刷している	文書が、推奨されている印刷可能領域におさまるように、アプリケーションで余白の設定をかえてください。
［用紙の種類］の設定が間違っている	プリンタのプロパティ画面の［基本設定］タブにある［用紙の種類］を、印刷する用紙に合わせて設定してください。印刷内容によっては設定が適切でも印刷面がこすれることがあります。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

PC 共有プリンタで印刷できない

原因	対処方法
サーバ（本機が接続されているパソコン）の電源が入っていない	サーバの電源を入れてください。
サーバでプリンタ共有が設定されていない	サーバでプリンタ共有を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
クライアントから共有プリンタへのアクセスを許可するように、サーバで設定されていない	サーバで、クライアントから共有プリンタへアクセスできるように設定してください。

◆ FAX ファクス受信のトラブル

FAX ファクスが受信されない、印刷されない

原因	対処方法
電源が入っていない	［電源］キーを押し、電源を入れてください。
電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）が電話回線用の接続端子 L に接続されている	☎ に接続しなおしてください。（→『セットアップガイド』）正しく接続されると本機からノイズが聞こえなくなります。
手動受信モードのとき、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押さないで、あるいはリモート受信 ID の番号をダイヤルしないで受話器を戻した	これらの操作を行わずに受話器を戻すと、電話が切れてしまいます。受話器を戻す前に、［カラースタート］または［モノクロスタート］を押すか、リモート ID の番号をダイヤルしてください。
受信モードにしたがった操作をしていない	受信モード（LCD ディスプレイの左下の表示）を確認し、受信モードにしたがった操作をしてください。（→ 110 ページ） 2003 12/03 THU 15:00 ジドウ ヒョウジュン 受信モード
メモリがいっぱいになっている	メモリに保存されている原稿を印刷するか削除して（→ 107 ページ）メモリを空けてから、もう一度送信してもらってください。
受信中にエラーが発生している	●LCD ディスプレイのエラーメッセージを確認してください。（→ 163 ページ） ●通信管理レポートを印刷して、エラーが起きていないか確認してください。（→ 98 ページ）
モジュラージャックコードが正しく接続されていない	モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください。（→『セットアップガイド』）

FAX ファクスを自動的に受信できない

原因	対処方法
受信モード（LCDディスプレイの左下の表示）が〈ジドウ〉、〈ルスTEL〉、または〈FAX/TEL〉になっていない	受信モードが〈シュドウ〉になっているときは、受話器をとって、[カラースタート] または [モノクロスタート] を押すか、リモートIDの番号をダイヤルしないとファクスを受信できません。 ファクスが送られてきたときに、自動的に受信したいときは、受信モードを〈ジドウ〉（自動受信モード）か〈ルスTEL〉（留守TEL接続モード）か〈FAX/TEL〉（FAX/TEL切りかえモード）に設定してください。 （→ 112ページ）留守TEL接続モードのときは、本機に留守番電話を接続し（→『セットアップガイド』）、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。

FAX 電話とファクスの受信が自動的に切りかわらない

原因	対処方法
受信モード（LCDディスプレイの左下の表示）が〈ルスTEL〉または〈FAX/TEL〉になっていない	受信モードを〈ルスTEL〉（留守TEL接続モード）か〈FAX/TEL〉（FAX/TEL切りかえモード）に設定していないと電話とファクスは自動的に切りかわりません。〈ルスTEL〉のときは、本機に留守番電話を接続し（→『セットアップガイド』）、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください。
CNG信号（ファクスであることを示す信号）を送れない機器から送信されている	ファクス機によっては、CNG信号を送れないものがあります。この場合は、手動受信モードにしてファクスを受信してください。（→ 112ページ）

FAX 受信したファクスの画質が悪い

原因	対処方法
「ECM 受信」の設定が〈シナイ〉になっている	「受信機能設定〈ジュシン キノウ セッテイ〉」の「ECM受信〈ECM ジュシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 178ページ）
送信側のファクスが汚れている	ファクスの画質は、主に送信側のファクス機によって決まります。送信側に連絡して、読み取り部分が汚れていないか確認してもらってください。

FAX ECM（自動誤り訂正モード）方式で受信できない

原因	対処方法
「ECM 受信」の設定が〈シナイ〉になっている	「受信機能設定〈ジュシン キノウ セッテイ〉」の「ECM受信〈ECM ジュシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 178ページ）
送信側のファクスはECMに対応していない	送信側のファクスがECMに対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで受信されます。

FAX 受信時にたびたびエラーが発生する

原因	対処方法
受信開始速度〈ジュシン スタート スピード〉が速い設定（33600bps）になっている	受信開始速度の設定を遅くしてください。（→ 179 ページ）電話回線や接続の状態がよくないときは、受信開始速度を遅くすると、エラーが解消されることがあります。
送信側のファクスが正常に動作していない	送信側に連絡して、ファクスが正常に動作しているか確認してもらってください。

◆ FAX ファクス送信のトラブル

FAX ファクスを送信できない

原因	対処方法
エラーランプが点滅している	エラーが発生しているので、「エラーランプが点滅したら」（→ 162 ページ）をご覧ください。
電話回線（モジュラージャックコード）が ☎ に接続されている	L に接続しなおしてください。（→『セットアップガイド』）正しく接続すると本機からノイズが聞こえなくなります。また何も聞こえないときは、電話回線に問題があります。電話会社に連絡してください。
電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていない	電話回線の種類が誤っていても、ファクスの受信はできます。受信できるのに送信できないときは、電話回線の種類を確認して設定をかえてください。（→ 91 ページ）
電話帳に正しくファクス番号が登録されていない	電話帳を使用してダイヤルしたときは、ファクス番号が正しく登録されているか確認してください。（→ 96 ページ）
ダイヤルした番号が間違っている	番号を確認して、もう一度ダイヤルしなおしてください。
送信中にエラーが発生している	●LCD ディスプレイのエラーメッセージを確認してください。（→ 163 ページ） ●通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください。（→ 98 ページ）
送信先のファクスが G3 に対応していない	送信先のファクスが G3 に対応しているか確認してください。対応していないと送信できません。
ADSL モデムを使っている	電話回線の種類が自動的に正しく設定されないことがあります。手動で設定してください。（→ 177 ページ）

FAXきれいにファクスが送信できない

原因	対処方法
原稿が正しくセットされていない、または原稿台ガラスと原稿台カバーの裏側が汚れている	●一度原稿を取り出し、原稿台ガラスにきちんとセットしてください。（→ 21 ページ） ●コピーをとってみてください。きれいにコピーできるときは、送信先のファクスが原因だと思われます。送信先に問い合わせて、確認してもらってください。きれいにコピーできないときは、本機を清掃してください。（→ 142 ページ）
送信したい原稿に合わせて画質を調節していない	本機の操作パネルで、セットした原稿に合わせて画質（解像度）を調節してください。（→ 102 ページ）
送信したい原稿に合わせて濃度を調節していない	本機の操作パネルで、セットした原稿に合わせて濃度（明るさ）を調節してください。（→ 102 ページ）
原稿の裏表の向きが正しくセットされていない	ファクスする面を下にして原稿台ガラスにセットしてください。
原稿の端まで読み込まれない	原稿を原稿台ガラスの手前側と右側の端から約 3 mm 離してセットしてください。
原稿が原稿台ガラスに密着していない	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。
厚い原稿（最大 20 mm）やカールしている原稿をファクスしようとしている	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。

FAXECM（自動誤り訂正モード）方式で送信できない

原因	対処方法
「ECM 送信」の設定が〈シナイ〉になっている	「送信機能設定〈ソウシン キノウ セッテイ〉」の「ECM 送信〈ECM ソウシン〉」を〈スル〉に設定してください。（→ 177 ページ）
送信先のファクスが ECM に対応していない	送信先のファクスが ECM に対応していないときは、エラーをチェックしない標準モードで送信されます。

FAX送信時にたびたびエラーが発生する

原因	対処方法
送信開始速度〈ソウシン スタート スピード〉が速い設定（33600bps）になっている	送信開始速度の設定を遅くしてください。（→ 178 ページ）電話回線や接続の状態がよくないときは、送信開始速度を遅くすると、エラーが解消されることがあります。

◆ FAX 電話しようとしたが

FAX ダイヤルできない

原因	対処方法
モジュラージャックコードが正しく接続されていない	モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください。(→『セットアップガイド』)
電話回線の種類（プッシュ回線／ダイヤル回線）が正しく設定されていない	電話回線の種類を確認し、設定をかえてください。(→ 91 ページ)

FAX 通話中に電話が切れてしまう

原因	対処方法
電話線、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）がしっかり差し込まれていない	テーブルタップや OA タップ、延長コードに接続しているときは、それらが正しく接続され、それらに電源スイッチがあるときはオンになっていることを確認してください。また電話線、電話機（外付け電話、留守番電話、パソコンのモデムなどの周辺機器）がしっかり差し込まれていることも確認してください。

◆ PC スキャンがうまくできない

原因	対処方法
USB ハブや中継器が故障している	USB ケーブルを直接パソコンに接続して画像が読み込めるときは、USB ハブや中継器が故障しています。正常なものと交換してください。
USB ハブに接続している	USB ハブを使わずに直接パソコンに接続してください。USB ハブ経由で接続したいときは、次の操作で、INI ファイルを書きかえてください。あらかじめ、1. で開くファイルを、他のフォルダにコピーするなどして、書きかえる前のファイルを保存することをおすすめします。 1. メモ帳などのテキストエディタで、次のファイルを開きます。 ● Windows 98/Me のとき Windows¥System¥CNCMP51.ini ● Windows 2000 のとき WINNT¥system32¥CNCMP51.ini ● Windows XP のとき WINDOWS¥SYSTEM32¥CNCMP51.ini 2. 最後の行の下に次の 2 行を追加して、保存します。 このとき、他の部分を書きかえないように注意してください。 [Scan] ReadSize=16
本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールした	本機のソフトウェアをインストールしたあとで、TWAIN 準拠のアプリケーションをインストールすると、TWAIN システムファイルが適切でないものと置きかわり、画像を読み込めなくなることがあります。このような場合は、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールしなおしてください。(→ 117 ページ)

症状	対処
Windows のコントロールパネルの［スキャナとカメラ］で本機が認識されていない	次の手順で、［コントロールパネル］の［スキャナとカメラ］に本機のアイコンがあるか確認してください。 1. USB ケーブルが接続されていることを確認してからパソコンを起動してください。 2. タスクバーの［スタート］ボタンから、［設定］→［コントロールパネル］をクリックします。（Windows XP のときは、タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロールパネル］をクリックします。） 3. ［スキャナとカメラ］をダブルクリックします。（Windows XP のときは、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックして、［スキャナとカメラ］をクリックします。） 4. ［スキャナとカメラ］の中に［Canon MP390］（Windows XP のときは、［WIA Canon MP390］）があれば、認識されています。ないときは、本機のソフトウェアをアンインストール（削除）し、インストールしなおしてください。（→ 117 ページ）
メモリが足りない	起動しているほかのソフトウェアを終了してからやりなおしてください。
ハードディスクの空き容量が不足している	とくにデータが大きくなってしまう文書を高解像度で読み込むときは、ハードディスクに十分な空きがあるかどうか確認してください。たとえば、A4 判の文書をカラー 600dpi で読み込むときは、最低 300MB の空きが必要です。十分な空き容量を確保できないときは、解像度を下げて読み込んでください。
スキャン解像度が低い	画像が粗いときは、スキャン解像度を上げてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
アプリケーションの表示倍率が等倍に設定されていない	画像を表示しているアプリケーションの表示倍率を等倍（100%）にしてください。アプリケーションによっては、小さく表示すると画像がきれいに表示されないものがあります。
印刷物をスキャンすると縞模様が出る	ScanGear MP の［モアレ低減］をクリックしてください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
ディスプレイの表示色が少ない	画面のプロパティで、ディスプレイの表示色を「High Color（16 ビットまたは 24 ビット）」以上に設定してください。
スキャンする範囲が指定されていない	ScanGear MP の［マルチスキャン］をクリックすると、原稿が自動的に範囲指定されます。 写真など、原稿の周囲に白いフチがあるときやトリミングしたい（一部分だけを読み込みたい）ときは、ご自分で範囲を指定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
原稿の端まで読み込まれない	原稿を原稿台ガラスの手前側と右側の端から約 3 mm 離してセットしてください。
プレビュー画面の色合いが原稿と違う	スキャンした画像が正しい色合いになるように、キャリブレーションを行ってください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））
上記以外の原因が考えられる	パソコンを再起動してください。

マルチページ PDF を作成しようとしたが、複数の原稿が読み込めない

原因	対処方法
ScanGear MP（拡張モード）の、［詳細設定］画面の設定が誤っている（［スキャン終了後に ScanGear MP を自動的に閉じる］にチェックマークが付いているため、複数の原稿が読み込めない）	次の手順で設定を変更してください。 1. MP Toolbox の各スキャンボタン（［設定］ボタンを除く）をクリックします。ボタンの種類に応じて設定画面が表示されます。 2. ［スキャナドライバで詳細な設定を行う］にチェックマークを付けてから、ScanGear MP を開く。 3. ［設定］タブ、［詳細設定］の順にクリックします。［詳細設定］画面が開きます。 4. ［スキャン終了後 ScanGear MP を自動的に閉じる］のチェックマークを外して［OK］をクリックしたあと、原稿を読み込む。

MP Toolbox のボタンをクリックすると別のアプリケーションが起動してしまう

原因	対処方法
MP Toolbox で、リンクさせたいアプリケーションが設定されていない	MP Toolbox の各スキャンボタンをクリックして表示される設定画面で、［設定］ボタンを押してリンク先に起動したいアプリケーションを設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

［スキャナとカメラ］のアイコンからプロパティ画面を開いて設定したが、その設定にならない（Windows 2000）

原因	対処方法
パソコンを再起動していないため、設定が有効にならない	設定が終わったら、パソコンを再起動してください。

マルチスキャンで、うまく読み込めない

原因	対処方法
原稿を置く位置や置きかたが正しくない	次の条件を満たすように原稿を置いてください。 ●原稿台ガラスの端と原稿の間は、1cm 以上離す ●原稿と原稿の間は、1cm 以上離す ●原稿は 10 枚まで ●まっすぐに置く（傾きは 10 度以内）
原稿が原稿台ガラスに密着していない	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。
2枚以上の画像を連続して受け取れないアプリケーションを使用している	アプリケーションの取扱説明書で調べるか、アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

厚い原稿（最大 20 mm）やカールしている原稿をスキャンしようとしている	原稿台カバーを手で押さえて読み込んでください。
原稿が 1cm 角の正方形より小さい	1 cm×1 cm の正方形より小さい原稿はマルチスキャンでは読み込めません。1 枚ずつ読み込んでください。
長い辺が、短い辺の 4 倍以上の細長い原稿をスキャンしようとしている	長い辺が、短い辺の 4 倍以上の細長い原稿はマルチスキャンでは読み込めません。1 枚ずつ読み込んでください。

読み込んだ画像が、パソコンの画面で大きく（小さく）表示される

原因	対処方法
アプリケーションで、画像を大きく（小さく）表示させている	アプリケーションで、画像表示を拡大（縮小）してください。
解像度が高すぎる、または低すぎる	解像度を高くすると大きく表示され、低くすると小さく表示されます。目的の大きさに表示されるように、解像度を設定してください。（→『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル））

◆ エラーランプが点滅したら

印刷中に紙づまりなどが起きたときにエラーランプが点滅します。次の中から原因を探し、対処してください。

メッセージが表示されているとき

1 LCD ディスプレイに表示されているメッセージを確認してください。

2 メッセージにしたがって問題を解決してください。

LCD メッセージについては、163 ページを参照してください。

3 [セット] キーを押して操作を続けます。

エラーランプが消えます。

問題を解決できないときは、本機の電源を切り、電源コードを抜いて 15 秒間待ってから電源コードを接続し、電源を入れてください。

メッセージが表示されていないとき

1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。

2 5 秒間待ってから、もう一度電源コードを差し込み、電源を入れてください。

問題が解決していれば、エラーランプは点滅しません。

もう一度電源を入れなおしても、エラーランプが点滅するとき

お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

◆ LCD メッセージ

本機でエラーが発生すると、LCD ディスプレイにメッセージが表示されます。次のメッセージ一覧を参考にしてエラーの原因を確認し、対処してください。

メッセージ	原因	対処方法	参照ページ
ECM ジュシン	ECM モード（エラー再送モード）でファクスを受信中です。	ECM モードで受信すると、通常の受信より時間がかかることがあります。速く受信したいときや、電話回線に問題がないときは、ECM を〈シナイ〉に設定してください。	178 ページ
ECM ソウシン	ECM モードでファクスを送信中です。	ECM モードで送信すると、通常の送信より時間がかかることがあります。速く送信したいときや、電話回線に問題がないときは、ECM を〈シナイ〉にしてください。	177 ページ
アイテ オウトウナシ	送信先のファクスが応答しません。	番号が正しかったか確認してください。しばらく待ってから、送信してください。	−
インクヲ コウカン シマシタカ？	スキャンユニットを元の位置に戻したあとで表示されます。	インクタンクを交換したときは〈ハイ〉を、交換していないときは〈イイエ〉を選んでください。	129 ページ
ウケツケ バンゴウ 0000	ファクスにこの番号が付けられました。	必要に応じて、この番号を書き留めてください。	108 ページ
カードノ データガ ヨミトレマセン カードヲ セットシナオシテクダサイ	メモリカードの中のデータにアクセスできません。	デジタルカメラでメモリカード内のデータを確認してください。	−

カードノ データガ ヨミトレマセン デンゲンヲ イレナオシテクダサイ	カードスロットに問題があります。	別のモードに切りかえるか、本機の電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。それでもメッセージが表示されるときは、キヤノンお客様相談センターに連絡してください。	ー
カードリーダー シヨウチュウ	パソコンでカードスロットが使われているときに、写真プリントしようとしました。	パソコン側のカードスロットの使用が終わるまでお待ちください。	ー
カートリッジガ アリマセン	本機にプリントヘッドが取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けてください。	セットアップガイド
カートリッジ ジャム	プリントヘッドが動きません。紙づまりが原因です。	詰まっている紙を取り出すか、プリントヘッドホルダの動きを妨げているものを取り除いてから、[セット] キーを押してください。プリントヘッドホルダは手で動かさないでください。	144 ページ
カバーガ シマッテイマセン	動作中にスキャンユニットが持ち上げられました。	スキャンユニットをもとの位置に戻してください。	ー
カミヅマリヲ トリノゾイテクダサイ セットキーヲ オシテクダサイ	用紙が詰まっています。	詰まっている紙を取り除いて、用紙トレイに用紙をセットしてから、[セット] キーを押してください。	144 ページ
カラーインク スクナク ナッテイマス	カラーインクタンクのインクの残りが少なくなっています。	インクがなくなったときのために、新しいカラーインクタンクを用意してください。印刷が途中で止まったときは、[セット] キーを押すと、再度印刷できます。このメッセージが表示されると、インクはすぐになくなります。きれいに印刷できなくなったときや、何も印刷されなくなったときは、新しいカラーインクタンクに交換してください。	129 ページ
カラーインクヲ コウカン シマシタカ?	カラーインクタンクを交換したかどうかを確認するためのメッセージです。	カラーインクタンクを交換したときは〈ハイ〉を、交換していないときは〈イイエ〉を選んでください。	129 ページ
カラースタートキーヲ オシテクダサイ	[モノクロスタート] が押されました。	[カラースタート] を押してください。	ー

クロインク スクナク ナッテイマス	ブラックインクタンクのインクの残りが少なくなっています。	インクがなくなったときのために、新しいブラックインクタンクを用意してください。 印刷が途中で止まったときは、［セット］を押すと、再度印刷できます。このメッセージが表示されると、インクはすぐになくなります。 きれいに印刷できなくなったときや、何も印刷されなくなったときは、新しいブラックインクタンクに交換してください。	129 ページ
クロインクヲ コウカン シマシタカ？	ブラックインクタンクを交換したかどうかを確認するためのメッセージです。	ブラックインクタンクを交換したときは〈ハイ〉を、交換していないときは〈イイエ〉を選んでください。	129 ページ
ジドウ リダイヤル	ファクスの送信先が話し中か、応答がなかったので、リダイヤル待機中です。	自動的にリダイヤルするまで待ちます。自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルの呼び出しが始まったら、［ストップ／リセット］を押し、LCD ディスプレイの表示にしたがってください。メモリから原稿を消去することもできます。	105ページ、178 ページ
ジュワキヲ　オイテ クダサイ	外付電話機の受話器が外れています。	受話器をきちんと戻してください。	－
シロクロモードデ　ヤリナオシ	送信先のファクスがカラーの送受信に対応していないファクスです。	［モノクロスタート］を押して送信しなおしてください。	－
ストップキーガ オサレマシタ	［ストップ／リセット］を押したので、送受信が中止されました。	必要に応じて、送受信をやり直してください。	－
ダイコウ ジュシン シマシタ	用紙やインクがないか、紙づまりなどのため受信したファクスを印刷できず、メモリに保存しました。	用紙トレイに用紙をセットするか（→『セットアップガイド』）、インクタンクを交換するか、詰まった紙を取り除いてください。	30 ページ、129ページ、144 ページ
ツカエナイカードガ セット サレマシタ デンゲンヲ イレナオシテクダサイ	本機に対応していないメモリカードか、または破損したメモリカードが、カードスロットにセットされました。	カードスロットからメモリカードを取り出し、本機の電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。	59 ページ
デンワバンゴウ ミトウロク	電話帳にファクス番号（電話番号）が登録されていません。	電話帳にファクス／電話番号を登録してください。	94 ページ
ドウサチュウ デス デンゲン OFF デキマセン	［電源］キーを押しても、本機の電源は切れません。	本機が動作中です。処理が終了するまで待ってから、電源を切ってください。	－

ハイインクガ イッパイニ ナリマス	本機に内蔵されている廃インク吸収体がいっぱいです。	本機の［ストップ／リセット］を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご連絡ください。	ー
ハナシチュウ デシタ	送信先に電話がかからなかったか、送信先が話し中でした。	しばらく待ってからダイヤルしてください。	ー
フメイナ カートリッジ デス	プリントヘッドが正しく取り付けられていません。	プリントヘッドを取り付けなおしてください。それでも問題が解決されないときは、プリントヘッドが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターに連絡してください。	セットアップガイド
プリンタヲ テンケン シテクダサイ	何らかの理由で本機が動かなくなっています。	本機の電源を切ってから、もう一度、電源を入れてください。それでも問題が解決されないときは、修理受付窓口に連絡してください。	ー
ムコウ デス	無効なキーが押されたか、無効な設定が選ばれました。	押したキー、または選んだ設定を確認してください。	ー
メモリガ イッパイデス	一度に何枚もの原稿、内容が細かい原稿をコピーしようとしたため、メモリがいっぱいになっています。	原稿をいくつかに分けてコピーしてください。	ー
	メモリカードから印刷できる画像データの容量を超えているため、本機で印刷することはできません。	パソコンから印刷してください。	ー
	枚数が多い原稿、内容が細かい原稿を受信したため、メモリがいっぱいになっています。	相手先に連絡し、分割して送信しなおしてもらってください。	ー
	受信原稿やリダイヤル待ち原稿でメモリがいっぱいになっている状態で、フォトプリントモードで画像を印刷しようとしました。	メモリに保存された原稿を必要に応じて印刷し、メモリをクリアしてから、もう一度やりなおしてください。	106 ページ
メモリカードニ ファイルガ アリマセン	メモリカードの中に有効なデータがありません。	画像データが適切な形式でメモリカードに保存されていることを確認してください。	59 ページ
メモリカード ヲ セットシテクダサイ	カードスロットにメモリカードが入っていません。	写真プリント機能を使うときは、メモリカードをカードスロットに差し込んでください。	59 ページ
メモリニ ゲンコウガ アリマス デンゲン OFF デキマセン	メモリに原稿が保存されているときに［電源］キーを押しても本機の電源は切れません。	本機が動作中です。処理が終了するまで待ってから、電源を切ってください。	ー

モノクロスタートキーヲ オシテクダサイ	[カラースタート] が押されました。	[モノクロスタート] を押してください。	ー
ヨウシサイズ ヘンコウ (FAXヨウ)	用紙サイズが、A4 またはレターサイズ以外に設定されています。	用紙選択でサイズを、A4 またはレターサイズに設定してください。	ー
ヨウシガ アリマセン (カミヲ ホキュウシテ セットキーモシクハ スタートキー ヲ オシテクダサイ)	用紙トレイに用紙が入っていません。	用紙トレイに用紙をセットしてください。用紙の量が最大用紙量のマークを超えないように注意してください。セットしたら、[カラースタート] キーか [モノクロスタート] キー、または [セット] キーを押してください。	30 ページ
ヨウシノ サイズヲ チェック セットキーヲ オシテクダサイ	用紙トレイにセットされている用紙のサイズと、用紙選択で指定したサイズが違っています。	正しいサイズの用紙をセットするか、用紙選択のサイズ設定を変更し、[セット] キーを押してください。	34 ページ

◆ デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラから直接印刷を行ったときに、デジタルカメラやデジタルビデオカメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は次のとおりです。

- 本機と接続して直接印刷できるのは、“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。
- 接続した状態での操作時間が長すぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎたりする場合は、通信タイムエラーとなり印刷できないことがあります。そのときは、接続ケーブルを抜いてから [リセット] ボタンを押し、再度ケーブルを接続してください。自動で電源が入らないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。
- デジタルカメラやデジタルビデオカメラでは、インク残量を表示することはできません。
- インクタンクを交換したときには、いったんデジタルカメラとの接続を中止し、操作パネルでインクカウンタをリセットしてください。(→ 132 ページ)
- インクカウンタをリセットしない場合は、インク残量が正しく表示されません。
- 表示されるエラーや対処方法については、デジタルカメラやデジタルビデオカメラに付属の取扱説明書も併せて参照してください。

その他、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ側のトラブルについては、各機器のご相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	原因	対処方法
プリンターは使用中です	パソコンから印刷中です。	印刷が終わるまでお待ちください。
プリンターは準備中です	印刷の準備中です。	準備動作が終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません	用紙トレイに用紙がセットされていません。	本機に用紙をセットして、本機の［セット］を押してください。
ペーパーが詰まりました	用紙が詰まっています。	用紙を取り除き、用紙をセットして［セット］を押してください。
プリンターカバーが開いてます	スキャンユニットが持ち上がっています。	スキャンユニットをもとの位置に戻してください。
プリントヘッド未装着	●プリントヘッドが装着されていません。 ●プリントヘッドが故障している可能性があります。	●プリントヘッドを取り付けてください。（→『セットアップガイド』） ●修理受付窓口にご連絡ください。
廃インクタンクが満杯です	廃インクタンクがほぼ満杯です。	本機の[ストップ／リセット]を押してエラーを解除します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めに修理受付窓口にご連絡ください。
紙間レバー位置が不正です	紙間選択レバーの設定位置が違います。	紙間選択レバーを左側（普通紙）に設定してください。
プリンタートラブル発生	サービスが必要なエラーが起こっています。	いったん本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、15 秒後にもう一度電源を入れ直してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

◆ どうしても問題が解決しないとき

この章の説明にしたがって対処しても、どうしてもうまくいかないときは、お買い求めの販売店かキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

⚠ 警告

本機をお客様ご自身で修理したり、分解したりすると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡する前に、次のことを確認してください。

- 製品名 PIXUS MP390
- シリアルナンバー（機体番号）本機の背面のラベルに書かれています。
- トラブルの詳しい状況
- トラブルの解決のために対処したことと、その結果

⚠ 注意

本機から変な音や煙が出ていたり、変なにおいがするときは、すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。絶対にご自分で修理したり、分解したりしないでください。

15章 付録

この章では、本機の設定のしかたや設定項目、本機の仕様について説明します。

設定のしかたと設定項目

設定を変更する前に、ユーザデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます。詳しくは、99 ページをご覧ください。

設定をかえる

設定を変更するときは、次のように操作してください。

1 次のページ以降にある表を見て、変更したい設定を探します。

2 設定に関する詳しい説明は、参照先①をお読みください。参照ページがないときは、操作パネルのキー②とメニュー③の下にある項目、内容、および設定を確認します。

項目	内容	設定	参照先
2 in 1	1 枚の用紙に 2 枚の原稿が入るように縮小してコピーします（A4、LTRのみ）。	－	45 ページ
エハガキ プリント	ハガキサイズに縮小してコピーします。	－	47 ページ
レイアウト	はがき全体にコピーするか、上半分にコピーするかを選びます。	**ゼンタイ** ハンブン	
フチ	フチ付きでコピーするかを選びます。	**アリ** ナシ	
メイシ プリント	縦にセットした名刺を、A4		50 ページ

次ページ以降の表の見方

3 変更したい設定に応じて、操作パネルのキー②（[コピー]、[ファクス]、[フォトプリント]、[ユーザモード]）のどれかを押します。

[コピー]、[ファクス]、[フォトプリント] を押した場合：

1. 変更したい設定のあるメニュー③が表示されるまで［メニュー］を何回か押します。
2. ［◀］か［▶］で、変更したい設定を選びます。
3. **4** の操作に進みます。

［ユーザモード］を押した場合：

1. 変更したい設定のあるメニュー③が表示されるまで［◀］か［▶］で設定を選びます。
2. 4 の操作に進みます。

4 ［セット］を押します。

ここで実行されるメニューもあります。それ以外の場合は 5 の操作に進みます。

5 設定をスクロールするときや、設定を登録するときは、次のように操作してください。

- 設定をスクロールするときは、［◀］か［▶］を押します。
- 設定を登録するときや、さらに細かい設定に進むときは、［セット］を押します。また、さらに細かい設定に進むときは、この動作をくり返します。
- 設定を間違えたときは、［ストップ／リセット］を押して 3 の操作からやり直してください。

6 操作が終了したら必要に応じて［ストップ／リセット］を押します。

選択されている設定の左側には＊が表示されます。

設定

設定を変更するときは、次のメニューをご覧ください。

太字は工場出荷時の設定です。

コピー

メニュー：〈カクダイ／シュクショウ〉

項目	内容	設定	参照先
テイケイ ヘンバイ	原稿とコピーの用紙サイズで拡大縮小率を指定します。	25% サイショウ 47% A4 →ハガキ 70% A4 → A5 86% A4 → B5 **100%** 115% B5 → A4 141% A5 → A4 200% ハガキ→ A4 400% サイダイ	38 ページ

項目	内容	設定	参照先
ズーム	拡大縮小率をパーセントで指定します。	25 ～ 400%	39 ページ
ジドウ ヘンバイ	用紙にあわせて自動的に倍率が設定されます。	－	40 ページ

メニュー：〈ヨウシ センタク〉

→ 34 ページ

メニュー：〈ノウド〉

→ 37 ページ

メニュー：〈コピー ガシツ〉

→ 36 ページ

メニュー：〈オモシロ コピー〉

項目	内容	設定	参照先
2 in 1	1 枚の用紙に 2 枚の原稿が入るように縮小してコピーします（A4 または LTR のみ）。	－	41 ページ
エハガキ プリント	はがきサイズに縮小してコピーします。	－	43 ページ
レイアウト	はがき全体にコピーするか、上半分にコピーするかを選びます。	**ゼンタイ** ハンブン	
フチ	フチ付きでコピーするかを選びます。	**アリ** ナシ	
メイシ プリント	縦にセットした名刺を、A4 の専用の用紙に 10 枚コピーします。	－	46 ページ
シール プリント	L 判サイズの写真などを、専用の用紙にコピーします。	－	48 ページ
ヨミトリハンイ	画像全体をコピーするか、中央部分だけコピーするかを選びます。	**シャシン ゼンメン** シャシン チュウオウ	
シールタイプ	シールの種類を選びます。	**4 × 4** 3 × 3 2 × 2 2 × 1	

項目	内容	設定	参照先
フチナシ コピー	フチなしでコピーします。	–	50 ページ
イメージ リピート	1 枚の用紙に原稿の画像をくり返してコピーします。	–	52 ページ
ジドウ	くり返す回数が自動的に設定されます。	–	
シュドウ	くり返す回数を指定します。	–	
タテ	縦方向にくり返す回数を選びます。	1/**2**/3/4	
ヨコ	横方向にくり返す回数を選びます。	1/**2**/3/4	
ミラー プリント	原稿の画像を鏡に映したように左右反転して印刷します。	–	55 ページ
ゼンメン ガゾウ	選んだ用紙サイズにおさまるように原稿の画像を縮小して印刷します。	–	56 ページ

ファクス

メニュー：〈ヨウシ センタク〉

→ 113 ページ

メニュー：〈ファクス ヨミトリ ノウド〉

→ 102 ページ

メニュー：〈ファクス カイゾウド セッテイ〉

→ 102 ページ

フォトプリント

メニュー：〈フォトプリント〉

項目	内容	設定	参照先
インデックス	メモリカードに入っている写真と画像番号の一覧を印刷します。	−	71 ページ
ヨウシ サイズ センタク	インデックスを印刷する用紙のサイズを選びます。	**A4**/LTR/L バン /2L バン / ハガキ	
ヨウシ シュルイ センタク	インデックスを印刷する用紙の種類を選びます。	**プロフォト** フツウシ *1 コウヒンイ センヨウシ *1 スーパーフォトペーパー コウタク *1 ソノタ フォトペーパー フツウシハガキ *2 インクジェットハガキ *2 フォト　ハガキ *2	
ヒヅケ インサツ	日付を印刷するかどうかを選びます。	スル **シナイ**	
VIVID フォト プリント	青や緑をより鮮明にするかどうかを選びます。	スル **シナイ**	
ゼンガゾウ	メモリカードに入っている写真をすべて印刷します。	−	66 ページ
1 ガゾウ	メモリカードに入っている写真を、1 枚だけ選んで印刷します。	−	73 ページ
ハンイ シテイ	メモリカードに入っている写真の一部を、範囲を指定して印刷します。	−	78 ページ
DPOF	デジタルカメラで DPOF の設定をした写真を印刷します。	−	82 ページ

*1 用紙サイズが A4/LTR のときだけ選択できます。
*2 用紙サイズがはがきのときだけ選択できます。

ユーザモード

メニュー：〈ファクス シヨウ セッテイ〉

メニュー：〈ジュシンモード〉

項目	内容	設定	参照先
ジドウ ジュシン モード	受信モードを「自動受信モード」に切りかえます。	–	112 ページ
シュドウ ジュシン モード	受信モードを「手動受信モード」に切りかえます。	–	112 ページ
ルスTEL セツゾク モード	受信モードを「留守 TEL 接続モード」に切りかえます。	–	112 ページ
FAX/TEL キリカエ	受信モードを「FAX/TEL 切りかえモード」に切りかえます。	–	112 ページ

メニュー：〈メモリ ショウカイ〉

項目	内容	設定	参照先
ファクスサイシュツリョク	印刷されたすべてのファクスを再度印刷します。	–	–
ゲンコウ プリント	メモリ内のファクスを選択して印刷します。	–	107 ページ
1 ページ ノミ シュツリョク？	印刷するページを設定します。〈ハイ〉を選ぶと、最初のページのみが印刷され、〈イイエ〉を選ぶと、すべてのページが印刷されます。	ハイ＝（–） イイエ＝（+）	
ゲンコウ リスト	メモリ内のファクスをリストにして印刷します。	–	106 ページ
ゲンコウ クリア	メモリからファクスを削除します。	–	107 ページ
プリントズミ ゼンゲンコウ	メモリ内にある印刷済みファクスをすべて削除します。	–	
1 ケンノゲンコウ	メモリに保存されているファクスを 1 件だけ削除します。	–	

メニュー：〈レポート / リスト〉

項目	内容	設定	参照先
ツウシンカンリ レポート	通信管理レポートを印刷します。	–	98 ページ

項目	内容	設定	参照先
デンワチョウ	電話帳を印刷します。	−	96 ページ
ソート シュツリョク	リストの並び順を設定します。〈ハイ〉を選ぶと、名前の 50 音順（アルファベット順）で印刷され、〈イイエ〉を選ぶと電話帳の番号順(01 〜 40)で印刷されます。	ハイ＝（−） イイエ＝（+）	−
ユーザデータリスト	ユーザデータリストを印刷します。	−	99 ページ
ゲンコウ リスト	メモリ内のファクスをリストにして印刷します。	−	106 ページ

メニュー：〈デンワバンゴウ トウロク〉

項目	内容	設定	参照先
01 - 40	電話帳に登録する番号です。電話番号と名前を登録します。	−	94 ページ
デンワバンゴウ	電話番号を登録します。	−	
ナマエ	名前を登録します。	−	

メニュー：〈キホン セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
ヒヅケ / ジコク セット	現在の日付 / 時刻を設定します。	−	91 ページ
ヒヅケ / ジコク タイプ	LCD ディスプレイ、または送信ファクスに印刷される日付の表示形式を選びます。	**YYYY MM/DD** MM/DD/YYYY DD/MM YYYY	−
ユーザ TEL トウロク	送信ファクスに印刷されるファクス／電話番号を登録します。	−	92 ページ
ユーザ リャクショウ トウロク	送信ファクスに印刷される名前を登録します。	−	92 ページ

項目	内容	設定	参照先
ハッシンモト キロク	ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷するかどうかを選びます。	**ツケル** ツケナイ	–
ハッシンモト キロク イチ	発信元情報を印刷する位置（画像領域の外または画像領域の内）を選びます。	**ガゾウノ ソトニ ツケル** ガゾウノ ナカニ ツケル	
デンワバンゴウ マーク	発信元情報のファクス／電話番号の前に付ける文字を選びます。	**FAX** TEL	
オフフックアラーム	電話機の受話器がはずれているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。	**ナラス** ナラサナイ	–
オンリョウ チョウセイ	呼び出し音量と通信音量を設定します。	–	–
ヨビダシ オンリョウ	呼び出し音が鳴るように設定されているとき、呼び出し音を調整します。	1/**2**/3	
ツウシン オンリョウ	ダイヤル中の音を調整します。	0/1/**2**/3	
ヨビダシオン オンシツ	呼び出し音の音質を調整します。	**タカイ** フツウ	–
カイセンシュベツ ジドウ	本機に接続されている電話回線の種類を自動で判別します。〈シナイ〉を選ぶと電話回線の種類を選択できます。	**スル** シナイ	–
カイセン シュルイ センタク	本機に接続している電話回線に合わせて選びます。〈ダイヤル カイセン〉を選ぶとダイヤルスピードを選択できます。	**ダイヤル カイセン** プッシュ カイセン	
ダイヤル スピード センタク	ダイヤルスピードを選びます。	**20PPS** 10PPS	
ツウシンカンリ レポート	20 件の通信ごとに、自動的に通信管理レポートを印刷するかどうかを選びます。	**ジドウプリント スル** ジドウプリント シナイ	–

メニュー：〈ソウシン キノウ セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
ECM ソウシン	ECM 送信するかどうかを設定します。	**スル** シナイ	109 ページ
ポーズ ジカン セット	［リダイヤル／ポーズ］を押して指定するポーズひとつ分の長さを設定します。	1～15ビョウ (**2**ビョウ)	–

15 付録

項目	内容	設定	参照先
ジドウ リダイヤル	自動的にリダイヤルするかどうかを選びます。	**スル** シナイ	105 ページ
リダイヤル カイスウ	何回リダイヤルするかを指定します。	1～15カイ(**2**カイ)	
リダイヤル カンカク	ダイヤルしてから次にリダイヤルするまでの間隔を指定します。	2～99フン(**2**フン)	
ソウシン スタート スピード	ファクスの送信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps	－
ソウシンケッカ レポート	送信したあとに、自動的に送信結果レポートを印刷するかどうかを選びます。	**エラージ ノミ プリント** プリント スル プリント シナイ	－
ソウシン ガゾウ	〈エラージ ノミ プリント〉または〈プリント スル〉を選んだときは、送信ファクスの最初のページをレポートの下に印刷するかどうか選びます。	**ツケル** ツケナイ	

メニュー：〈ジュシン キノウ セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
ECM ジュシン	ECM 受信するかどうかを設定します。	**スル** シナイ	109 ページ
FAX/TEL キリカエ	受信モードを〈FAX/TEL キリカエ〉に設定しているときは、詳細を設定できます。	－	－
ヨビダシ カイシ ジカン	着信がファクスか電話かを本機が判断するための時間を指定します。	0～30ビョウ （**8**ビョウ）	
ヨビダシ ジカン	電話のとき、何秒呼び出し音を鳴らすかを指定します。	10～300ビョウ （**17**ビョウ）	
ヨビダシゴノ ドウサ	設定した呼び出し時間が経過したあと、ファクスを受信するかどうかを選びます。	**ジュシン** シュウリョウ	

項目	内容	設定	参照先
チャクシン ヨビダシ	自動受信モードまたは FAX/TEL 切りかえモードで、呼び出し音を鳴らすかどうかを選びます。(呼び出し音を鳴らすには、電話機を本機に接続しておく必要があります。)	**シナイ** スル	ー
ヨビダシ カイスウ	〈スル〉を選んだとき、何回呼び出し音を鳴らすか指定します。	1～99カイ (**2**カイ)	
ジドウ ジュシン キリカエ	手動受信モードまたは留守番電話接続モードのとき、一定の時間呼び出し音を鳴らしたあと、自動的にファクスを受信するかどうかを選びます。	**シナイ** スル	ー
ヨビダシ ジカン	〈スル〉を選んだとき、何秒呼び出し音を鳴らすか指定します。	5～99ビョウ (**15**ビョウ)	
リモート ジュシン	リモート受信ができるようにするかどうか選びます。	**スル** シナイ	ー
リモート ジュシン ID	〈スル〉を選んだとき、リモート受信 ID を変更できます。	00 ～ 99 (**25**)	
ガゾウ シュクショウ	セットした用紙サイズにおさまるように、受信ファクスを自動的に縮小するかどうかを選びます。	**スル** シナイ	ー
シュクショウ ホウコウ センタク	縮小する方向を選びます。	**タテ ノミ** タテ ヨコ トモ	
ジュシン スタート スピード	ファクスの受信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps	ー
ジュシンケッカ レポート	受信したあとに、自動的に受信結果レポートを印刷するかどうかを選びます。	エラージ ノミ プリント プリント スル **プリント シナイ**	ー

メニュー：〈インク ザンリョウ〉

項目	内容	設定	参照先
インク ザンリョウ ケイコク	インクタンクのインクが少なくなったとき、LCD ディスプレイに警告メッセージを表示するかどうかを選びます。	**スル** シナイ	128 ページ

項目	内容	設定	参照先
インクカウンタ リセット	インクタンクのインクカウンタをリセットします。	－	132 ページ
クロインクヲ コウカン シマシタカ？	ブラック（クロ）インクタンクのインクカウンタをリセットするかどうかを選びます。	ハイ イイエ	
カラーインクヲ コウカン シマシタカ？	カラーインクタンクのインクカウンタをリセットするかどうかを選びます。	ハイ イイエ	

メニュー：〈メンテナンス〉

項目	内容	設定	参照先
プリンタ ノズル チェック	ノズルチェックパターンを印刷します。	－	136 ページ
ヘッド クリーニング	プリントヘッドをクリーニングします。	－	138 ページ
ヘッド リフレッシング	プリントヘッドを強力にクリーニングします。	－	138 ページ
ヘッド イチ チョウセイ	プリントヘッドの位置を調整します。	－	139 ページ
ヨコ ホウコウ パ ターン	横方向パターンを印刷します。	－	
ヨコ ホウコウ チョウセイ	パターンが均一でないときにヘッド位置を調整します。	A、B、C、D、E： -3 ～ +7 F、G、H、I、J、K： -5 ～ +5	
キロク ローラ クリーニング	ローラをクリーニングします。	－	143 ページ
キャリブレーション	コピーやスキャンの色と印刷結果の差を少なくします（色補正）。	－	140 ページ

メニュー：〈シズカニ インサツ〉

項目	内容	設定	参照先
－	印刷中の音を静かにするかどうかを選びます。	スル **シナイ**	141 ページ

メニュー：〈フチナシ ハミダシリョウ〉

項目	内容	設定	参照先
−	フチなし全面印刷のとき、はみ出し量を指定します。	**チイサイ** オオキイ	84 ページ

メニュー：〈ブザーノ セッテイ〉

項目	内容	設定	参照先
キー タッチ オンリョウ	操作パネルのキーを押したときの音量を調整します。	0/1/**2**/3	−
アラーム オンリョウ	エラー警告音の音量を調整します。	0/1/**2**/3	−

メニュー：〈カード カキコミ キンシ〉

項目	内容	設定	参照先
−	パソコンからメモリカードに書き込みできるようにするかどうかを選びます。	**スル** シナイ	ソフトウェアガイド

メニュー：〈パワーセーブ タイマーセット〉

項目	内容	設定	参照先
−	パワーセーブが開始される時間を設定します。	**1 ジカン** 4 ジカン 8 ジカン	141 ページ

◆ 用紙の種類の設定対応表

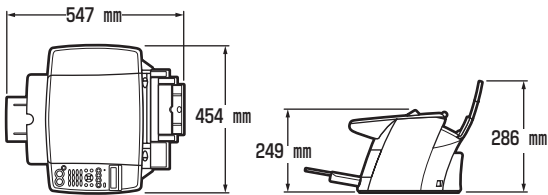
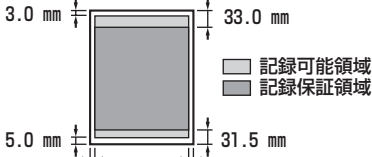
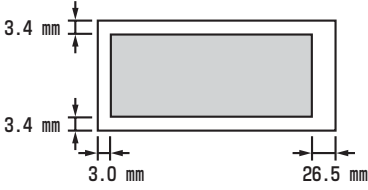
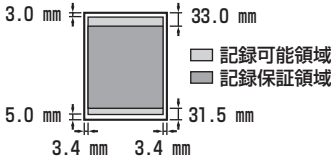
コピーする場合

LCD に表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
フツウシ	普通紙に適しています。
コウタク	キヤノン光沢紙、エコノミーフォトペーパー、フォトシールセット、または BJ 名刺カードに適しています。
コウヒンイ	高品位専用紙または T シャツ転写紙に適しています。
OHPフィルム	OHPフィルムに適しています。
プロフォト	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
スーパーフォト	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキーに適しています。
ソノタ フォト	マットフォトペーパーに適しています。また、上記用紙以外のフォト紙のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
LCD に表示される用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
インクジェット	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢はがきに適しています。
フツウシ	普通紙タイプのはがきに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにコピーしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをお勧めします。

フォトプリントをする場合

LCD に表示される用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
プロフォト	プロフェッショナルフォトペーパーに適しています。
フツウシ	普通紙に適しています。
コウヒンイ センヨウシ	高品位専用紙に適しています。
スーパーフォトペーパー	スーパーフォトペーパー、スーパーフォトペーパー・シルキーに適しています。
コウタク	キヤノン光沢紙に適しています。
ソノタ フォトペーパー	マットフォトペーパーに適しています。また上記用紙以外のとき、または記録用紙の種類がよくわからないときに選択してください。
LCD に表示される用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
フツウシハガキ	普通紙タイプのはがきに適しています
インクジェットハガキ	インクジェット官製はがきに適しています。
フォト　ハガキ	プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢はがきに適しています。

用紙の種類によっては最適な印刷結果が得られないこともありますので、写真をきれいにプリントしたい場合は、キヤノン純正のプロフェッショナルフォトペーパーかスーパーフォトペーパーをお勧めします。

フォトナビシートで印刷する場合

ナビシートは白い普通紙で作成してください。再生紙等の 白色度が低い記録用紙でナビシートを作成すると正しく読み取れない場合があります。

フォトナビシートで選択できる用紙の種類（はがき以外のサイズ）	対応する用紙について
普通紙	普通紙に適しています。
フォト紙	プロフェッショナルフォトペーパー、スーパーフォトペーパーに適しています。
フォトナビシートで選択できる用紙の種類（はがきサイズ）	**対応する用紙について**
普通紙	普通紙タイプのはがきに適しています。
フォト紙	インクジェット官製はがき、プロフェッショナルフォトはがき、フォト光沢はがきに適しています。

◆ 本機の仕様

装置の概要	
電源	AC 100V　50/60 Hz
消費電力	最大：約 48.0W スタンバイ状態：約 16.0W
質量（部品を含む）	8.5 kg
外形寸法	454 mm（横）× 358 mm（奥行き）× 249 mm（高さ） ※用紙トレイ、排紙トレイが閉じている場合 454 mm（横）× 547 mm（奥行き）× 286 mm（高さ） ※用紙トレイ、排紙トレイを開け、各補助トレイを引き出した場合 547 mm　454 mm　249 mm　286 mm
使用環境	温度：15 ～ 27.5 ℃ 湿度：20% ～ 80%
LCD ディスプレイ	20 桁 × 2 行
用紙トレイ容量	普通紙（64g/m^2）：　約 100 枚（高さ 10 mm） 官製はがき：　40 枚 ※その他の用紙の容量については 22 ページをご覧ください。
用紙に印刷できる範囲	A4：　203.2 mm × 289 mm レター：203.2 mm × 271.4 mm A5：　141.2 mm × 202 mm B5：　175.2 mm × 249 mm L 判：　82.2 mm × 119 mm 2L 判：　120.2 mm × 170 mm 3.0 mm　33.0 mm　記録可能領域　記録保証領域　5.0 mm　31.5 mm A4、B5、A5、L判、2L判　：3.4 mm　レター　：6.4 mm A4、B5、A5、L判、2L判　：3.4 mm　レター　：6.3 mm 参考 フチなし全面印刷をすると、全面に印刷することができます。 ただし、用紙の上下の端がきれいに印刷されないことがあります。
封筒に印刷できる範囲	洋形 4 号：98.2 mm × 205.5 mm 洋形 6 号：91.2 mm × 160.5 mm 長形 3 号：113.2 mm × 205.5 mm 長形 4 号：83.2 mm × 175.5 mm 3.4 mm　3.4 mm　3.0 mm　26.5 mm
はがきに印刷できる範囲	はがき：93.2 mm × 140 mm 3.0 mm　33.0 mm　記録可能領域　記録保証領域　5.0 mm　31.5 mm　3.4 mm　3.4 mm

◆ システム要件

→ 114 ページ

インク仕様	
インク色 / 印刷可能枚数	ブラック（BCI-24 Black）： 約 320 枚 *、約 580 枚 ** カラー（BCI-24 Color）： 約 160 枚 **

* Windows 2000/XP ドライバで、JEITA 標準パターン JI を普通紙に連続印刷した場合
** Windows 2000/XP ドライバで、ISO JIS-SCID No.5 を普通紙に連続印刷した場合

コピー仕様	
コピー速度	白黒コピー： 〈ハヤイ〉約 18 ページ／分（A4） カラーコピー：〈ハヤイ〉約 12 ページ／分（A4） （キヤノン標準パターンに基づく）
コピー部数	最大 99 枚
濃度調整	9 段階
拡大 / 縮小率	25% ～ 400%

ファクス仕様	
運用回線	加入電話回線（PSTN）
直流抵抗値	約 327Ω（電話回線の抵抗値の合計が 1700Ω を超える場合など、電話回線や地域などの条件によっては通信できないことがあります。このようなときは、お買い上げの販売店にご相談ください。）
互換性	G3
データ圧縮システム	MH、MR、MMR、JBIG、JPEG
モデムの種類	ファクスモデム
モデム速度	33600/14400/9600/7200/4800/2400bps 自動フォールバック
電送速度	• 白黒原稿：約 3 秒 / ページ（33.6kbps）、ECM-MMR、メモリから送信 （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時） • カラー原稿：約 1 分 / ページ（33.6kbps）、ECM-JPEG、メモリから送信 （キヤノンカラーファクステストシート使用時）
読み取り画像処理	• GENESIS • ハーフトーン：グレー 64 階調 • 濃度調整：3 段階
メモリ	送受信：約 200 ページ （キヤノン FAX 標準チャート No.1 標準モード使用時）
ファクス解像度	• 白黒〈ヒョウジュン〉：8pels/mm × 3.85lines/mm • 白黒〈ファイン〉、〈シャシン〉：8pels/mm × 7.7lines/mm • カラー：200 × 200dpi
ダイヤル	• 自動ダイヤル 電話帳を使用するダイヤル（最大 40 件） • 手動ダイヤル（[リダイヤル／ポーズ] 使用）

ファクス仕様	
ネットワーキング	• 自動受信 • FAX/TEL 自動切りかえ • 電話機によるリモート受信（工場出荷時のリモート受信 ID：25） • 着信音なしの受信 • ECM の有効 • 通信管理レポート（20 通信ごとに印刷） • エラー送信レポート • 発信元情報

電話仕様	
接続	電話機 / 留守番電話（CNG 信号）/ データモデム

フォトプリント仕様	
インタフェース	カードスロット USB ポート
用紙	• 普通紙 • インクジェット官製はがき • フォト光沢はがき KH-201N • プロフェッショナルフォトはがき PH-101 • プロフェッショナルフォトペーパー PR-101/PR-101 L/PR-101 2L • フォトシールセット PSHRS
レイアウト	• 普通紙 A4/ レター：フチあり / なし、インデックス（最大 70 画像） • インクジェット官製はがき、フォト光沢はがき、プロフェッショナルフォトはがき： はがき：フチあり / なし、全体 / 半分、インデックス（最大 15 画像） • プロフェッショナルフォトペーパー： A4/L 判 /2L 判：フチあり / なし、インデックス A4（最大 70 画像）、L 判（最大 12 画像）、2L 判（最大 24 画像） • フォトシールセット： 2 × 1（2 面）、2 × 2（4 面）、3 × 3（9 面）、4 × 4（16 面）
印刷モード	• フチなし全面印刷 • 日付印刷 • VIVID 写真印刷 • DPOF 対応（インデックス印刷、枚数指定、画像指定、日付印刷、画像番号印刷） • カメラダイレクトプリント • フォトナビシート印刷

仕様は、予告なく変更することがあります。

プリンタ仕様	
印字方式	インクジェット
給紙方法	自動給紙
用紙の質量と最大積載枚数	普通紙（64g/m^2）：　約 100 枚（高さ 10 mm） 官製はがき：　40 枚 ※その他の用紙の容量については 22 ページをご覧ください。
推奨用紙	推奨用紙については 22 ページをご覧ください。
印刷速度	• 白黒印字　高速：18 ページ／分 標準：11.6 ページ／分 • カラー印字　高速：12 ページ／分 標準：4.9 ページ／分 （キヤノン標準パターンに基づく）
最大印字幅	203.2 mm
解像度	4800（横）× 1200（縦）dpi

スキャナ仕様	
互換性	TWAIN / WIA（Windows XP のみ）
読み込み速度	• 白黒／グレースケール（300dpi）：　最短速 5.8 秒／ページ（A4）* • カラー（150dpi）：　最短速 17.4 秒／ページ（A4）*
有効読み込み幅	214 mm
読み込み解像度	• 光学 1200 × 2400 dpi • 最高 9600 dpi
読み込み画像処理	• ハーフトーン：グレー 256 階調 • カラー：　16,777,216 色

* 転送時間は含みません。

◆ 索引

へ

ま

み

む

め

も

ゆ

よ

り

れ

ろ

お問い合わせの前に

本書または『ソフトウェアガイド』（電子マニュアル）の「困ったときには」の章を読んでもトラブルの原因がはっきりしない、また解決しない場合には、次の要領でお問い合わせください。

本機の故障の場合は？

どのような対処をしても本機が動かなかったり、深刻なエラーが発生して回復しない場合は、本機の故障と判断されます。

お買い上げいただいた販売店またはお近くの修理受付窓口に修理を依頼してください。
別紙の「サービス＆サポートのご案内」をご覧ください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本機の動作が正常に動作し、MP ドライバのインストールも問題なければ、USB ケーブルやパソコン（OS 、メモリ、ハードディスク、インタフェースなど）に原因があると考えられます。

パソコンを購入された販売店もしくは、パソコンメーカーとご相談ください。

アプリケーションの問題のようだけど？

特定のアプリケーションで起きるトラブルは、アプリケーション固有の問題と考えられます。

アプリケーションメーカーの相談窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号

0570―01―9000
商品該当番号：【33】

修理の依頼方法について

- 修理窓口へお持ちいただく場合
  お買い上げいただいた販売店、または弊社修理受付窓口にお持ち込みください。
- 修理窓口へ宅配便で送付していただく場合
  本機が輸送中の振動で損傷しないように、なるべくご購入いただいたときの梱包材をご利用ください。他の箱をご利用になるときは、丈夫な箱にクッションを入れて、本機がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

お願い：保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、必ず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。

使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJ カートリッジの回収を推進しています。
この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。
つきましては、“キヤノンによる環境保全と資源の有効利用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJ カートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。
キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に 3000 拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。
また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。
回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。
キヤノンサポートページ　canon.jp/support
事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJ カートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。

お問い合わせのシート

ご相談の際にはすみやかにお答えするために予め下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。
また、かけまちがいのないよう電話番号はよくご確認ください。

[プリンタの接続環境について]

プリンタと接続しているパソコンの機種（　　　　　　　　　　　　　　　　）

内蔵メモリ容量（　　　　　　　MB）／ハードディスク容量（　　　　　　　MB ／ GB）

使用している OS：Windows □ XP □ Me □ 2000 □ 98（Ver.　　　　）

パソコン上で選択しているプリンタドライバの名称（　　　　　　　　　　　　）

ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン（　　　　　　　　　　　　）

接続方法：□直結　□ネットワーク（種類：　　　　　　　）□その他（　　　　　）

接続ケーブルメーカー（　　　　　　　　）／品名（　　　　　　　　　　　）

[プリンタの設定について]

プリンタドライバのバージョン NO.（　　　　　　　　　　　　　　　　）

パソコン上のプリンタ設定でバージョン情報が確認できます。

[エラー表示]

エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　　　）

エラー表示の場所：□パソコン　□プリンタ

キヤノン販売株式会社　〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6

●キヤノンPIXUSホームページ canon.jp/pixus

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。
※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS・BJプリンタ・複合機に関する ご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

お客様相談センター
全国共通電話番号

0570-01-9000（商品該当番号:33）

【受付時間】〈平日〉9:00～20:00、〈土日祝日〉10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

※自動車電話・PHSをご使用の方、海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9631をご利用ください。
※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

本機で使用できるインクタンク番号は、以下のものです。

※インクタンクの交換については、129ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをコピーやプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

HT1-1166-000-V.1.0

PRINTED IN THAILAND